

GloBE情報申告書（第2の柱）XMLスキーマ・ユーザー・ガイド**2025年1月****序文**

この文書は、グローバル・ミニマム課税（Global Minimum Tax）実施の一環として、GloBE情報申告書（GIR）情報の自動的な情報交換をサポートするGIR XMLスキーマのユーザー・ガイドである。このXMLスキーマは、主に税務当局間のGIR情報の交換を容易にするために設計されたものであるが、関連する国又は地域の国内法で認められている限り、国内のGIR申告にも使用することができる。

略語と頭字語

CBC	Country-by-Country
CbCR	CbCレポート
CE	構成事業体
CFC	被支配外国会社
ETR	実効税率
GIR	GloBE情報申告書
GIR MCAA	GloBE情報申告書の交換に関する多数国間当局間合意
GloBE	Global Anti-Base Erosion
IIR	所得合算ルール
JV	ジョイント・ベンチャー
LTCE	軽課税構成事業体
MNE	多国籍企業
MOCE	被少数保有構成事業体
OECD	経済協力開発機構（OECD）
PE	恒久的施設
POPE	一部親会社
QDMTT	適格国内ミニマムトップアップ税額
QIIR	適格所得合算ルール
QUTPR	適格軽課税所得ルール
SBIE	実質ベース所得除外
TIN	納税者番号
UPE	最終親事業体
UTPR	軽課税所得ルール
XML	拡張可能マークアップ言語

はじめに

背景

Global Anti-Base Erosion（GloBE）モデル・ルールは、GloBEルールに基づいてMNEグループが行った税額計算に関する情報を提供するGloBE情報申告書（GIR）の年次申告を義務付けている。

2023年7月、BEPS包摂的枠組み（Inclusive Framework on BEPS）は、GIR申告要件の一貫した実施の利点を認識し、公開協議プロセスを経て、全ての実施国又は地域が依拠すべき標準化されたGloBE情報申告書（GIR）テンプレートと、その実施国又は地域間でGIRの内容を普及させるためのアプローチに合意した。

GloBEモデル・ルールの実施を容易にするための作業の一環として、また、GIR情報を取得するための一貫性のある標準化されたアプローチを確保する観点から、BEPS包摂的枠組みは、拡張可能マークアップ言語（XML）によるスキーマと、対応するユーザー・ガイドを策定した。

GIR XMLスキーマとユーザー・ガイドは、適切な場合には、国内でのGIR申告を容易にし、税務当局間でGIR情報を交換するための技術的なフォーマットとなるよう設計されている。

GIR XMLスキーマとユーザー・ガイドの構造

GloBE情報申告書（GIR）ユーザー・ガイドに従った交換のためのスキーマは、スキーマに基づく論理的なセクションに分かれており、特定のデータ要素と、各データ要素について記述する属性に関する情報を提供する。

GIRスキーマ・ユーザー・ガイドの主なセクションは次のセクションから構成される。

- I. 送信者、受信者、メッセージ・タイプ、報告会計年度を含むMessage Header
- II. CE、JV、JV子会社及びUPEに関連する識別情報並びにTIN情報を提供するために使用されるID及びTIN Type
- III. 以下の5つのサブセクションを含むGloBE Body
 - a. Filing Info : GIRのセクション1.1及び1.2に相当し、申告CE及びMNEグループを識別する情報を含む。
 - b. General Section（留意点：この用語の範囲はGIR MCAAにおける定義と比較して限定されている。）：GIRのセクション1.3に相当し、MNEグループの企業構造に関する情報を含む。
 - c. Summary : GIRのセクション1.4に相当し、GloBE情報の概要を含む。
 - d. Jurisdiction Section : GIRのセクション2及び3（セクション3.4.3を除く。）に相当し、関連するセーフ・ハーバーと除外、ETR計算、トップアップ税額計算（必要に応じて）、及びトップアップ税額が発生する場合にはその配分に関する情報を含む。
 - e. UTPR Attribution : GIRのセクション3.4.3に相当し、UTPRが適用される場合の関連する国又は地域間でのトップアップ税額の帰属に関する情報を含む。

GIR XMLスキーマは、GloBE情報申告書の交換に関するGIR MCAA又はその他の適格当局間合意に基づいて交換関係を有効にした権限ある当局間で、GIRに基づいて報告された情報を交換するために使用されるよう設計されている。

必要に応じて、各国又は地域は、それぞれの申告CEから必要な情報を収集する目的で、国内でスキーマを使用することも検討できる。

各データ要素とその属性の要件フィールドでは、その要素がそのスキーマにおいて検証又はオプションのいずれであるかを示す。全ての要素はそのスキーマにおいてどちらか一方である。

「検証」要素は、ファイル内の全てのデータ・レコードに対して必要であり、自動検証チェック

を実行できる。送信者は、XMLツールを使用してデータ・ファイル内容の技術的チェックを実行し、全ての検証要素が存在することを確認する必要がある。存在しない場合には、ファイルを修正しなければならない。受信者も同様にチェックすることができ、もし誤っている場合には、ファイルを拒否することができる。

検証親の下に2つの検証要素の選択肢があり、1つのみが必要とされる場合には、これは「検証（選択）」と表示される。

そのスキーマ内のオプションである要素については、異なるビジネスルールがある可能性がある：

- ・ オプション・フィールドの中には、「オプション（必須）」と表示されるものがある。これは、GloBEモデル・ルールが入力を求める場合に、入力が必要となる任意の要素である。必須要素はほとんどの（ただし、全てでない。）状況で存在する可能性があるため、これらをチェックするための単純なIT検証プロセスは存在しない。例えば、IntShippingIncome要素は、国際海運業所得除外が適用される場合（すなわち、MNEグループが国際海運業所得を有する場合）にのみ入力しなければならない。
- ・ オプション要素は提供することができるが、入力する必要はない。

「xsd:boolean」として定義された入力データ型については、真及び偽の状態を表すために認識され、使用される特定の値がある。これらの値は標準化されており、適切なデータ検証と処理のために遵守されなければならない。

真の値＝「1」又は「true」

偽の値＝「0」又は「false」

金額を入力する場合には、小数点以下を四捨五入しなければならないが、これはGIR報告上に限る。関連するGloBE計算においては、四捨五入されていない金額を使用しなければならない。

全ての選択年度と取消年度については、その年の初日を基準に情報を入力しなければならない。
（例：01-01-2027）

<globe:percentage>タイプはパーセンテージを10進数で表すのに使われ、0から1までの値を持つ。0は0%、1は100%を表す。その要素は小数点以下4桁までで、0から1までの値を使用することができ、最大文字数は6である。例えば、0.25と入力することは25%に等しく、0.9876は98.76%を表す。

このタイプの有効範囲は0から1までである。負の値や1より大きい数値のような、この範囲外の

数値は無効とみなされる。さらに、そのシステムは小数点以下4桁まで使用できるため、ユーザーはパーセンテージを細かい粒度で表現することができる。例えば、0.50のような値は50%を表し、0.1234は12.34%を表す。この範囲や精度を守らない値は受け付けられない。

ユーザー・ガイドとGIRテンプレート間の整合性を保つため、ユーザー・ガイドの各要素には、関連するGIRの説明ガイダンスへの参照が含まれている。

ユーザー・ガイドの付録には、GIR XMLスキーマをその全ての要素とともに図式化したものが掲載されている。

GIR XMLスキーマ・ユーザー・ガイド

Message Header

Message Headerの情報は、メッセージを送信する権限ある当局と、メッセージを受信する権限ある当局を識別する。これは、メッセージが作成された日時、報告書の対象期間（すなわち、報告会計年度）及び報告書の性質（原本、修正、補足など）を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
SendingEntityIN		1～200文字	stf:StringMin1Max200_Type	オプション

権限ある当局間のGloBE情報の交換には使用されないが、このデータ要素は、このスキーマが構成事業体による自国の税務当局への国内報告用に義務付けられている場合に使用することができる。このような場合、国内的に定義された識別番号により、メッセージを送信する構成事業体を識別する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TransmittingCountry		2文字	ISO:CountryCode_Type	検証

このデータ要素は、メッセージを送信する権限ある当局の国又は地域を識別する。ISO 3166-1 Alpha 2標準に基づいて、2文字のアルファベットによる国コード及び国リストを使用する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ReceivingCountry		2文字	ISO:CountryCode_Type	検証

このデータ要素は、メッセージの指定受信者である権限ある当局の国又は地域を識別する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
MessageType			globe:MessageType_EnumType	検証

このデータ要素は、送信するメッセージのタイプを示す。このフィールドに入力できる唯一のエントリは、「GIR」である。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Warning			stf:StringMin1Max4000_Type	オプション

このデータ要素は、GIRメッセージ内容の使用についての特定の注意事項（例えば、データ交換の根拠となる法律文書又は条約の規定など）を入力できるフリー・テキスト・フィールドである。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

Contact		1～4000文字	stf:StringMin1Max4000_Type	オプション
---------	--	----------	----------------------------	-------

このデータ要素は、メッセージの送信者についての特定の連絡先情報を入力できるフリー・テキスト・フィールドであり、国内報告に限り、MNEグループ内の国内報告を行う構成事業体に属する個人である可能性がある。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
MessageRefID		1～170文字	stf:StringMin1Max170_Type	検証

このデータ要素は、送信する特定のメッセージを識別する送信者の一意のメッセージ識別子（送信者によって作成される）を取得する、フリー・テキスト・フィールドである。この識別子によって、疑義又は修正が生じた場合に、送信者と受信者の両方が、後で特定のメッセージを識別することができる。権限ある当局間の交換の場合、最初の部分は送信元の国又は地域の国コード、2番目の部分はそのデータが関連する報告会計年度（報告対象期間の開始年であることが理想的だが、終了年であってもよい）、3番目の部分は送信元の国又は地域で作成された一意の識別子の前に受信先の国又は地域の国コード（「国内部分」）としなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
MessageTypeIndic			globe:MessageTypeIndic_EnumType	検証

このデータ要素で、送信者が送信するメッセージのタイプを定義できる。この要素は、データが新規又は修正のいずれであるかを識別する（後述の修正プロセスに関するガイダンスを参照）。メッセージは、全ての新規又は修正／削除のデータを含まなければならない、又は報告するデータがないことを知らせなければならない。

使用可能な値は次のとおり：

- GIR101 - メッセージには新規情報のみが含まれる。
- GIR102 - メッセージには、以前に送信した情報の修正／削除が含まれる
- GIR103 - メッセージには、報告するデータがない

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ReportingPeriod			xsd:date	検証

このデータ要素では、YYYY-MM-DD形式で、メッセージに関連する報告会計年度の最終日を識別する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Timestamp			xsd:dateTime	検証

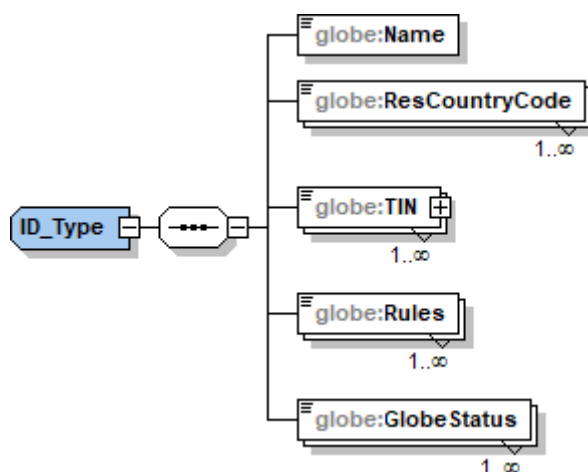
このデータ要素は、メッセージが編集された日付及び時間を識別する。この要素は通常、ホス

ト・システムによって自動的に入力される。使用する形式は、YYYY-MM-DD'T'hh:mm:ss.nnn.である。秒未満の値が使用されることもある。（その場合ミリ秒は、上記形式の“.nnn”のとおり3桁で示される。）例：2027-03-15T09:45:30又は2027-03-15T09:45:30.789（ミリ秒有り）。時間は24時間形式で入力しなければならない。

ID Type, Excluded UPE ID Type, TIN Type, and Additional Data Point

以下の複合要素は、ユーザー・ガイド全体で再利用され、このセクション内で全て表示されている。ユーザー・ガイドで使用される場合には、親要素のみが表示される。

ID Type



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ID			globe:ID_Type	検証

IDタイプは、構成事業体、JV及びJV子会社に関連するGIR XMLスキーマに含まれる識別情報を定義する。これは、GIR XMLスキーマ内の複数の場所で使用され、常に以下の構造に従っている。

これは以下の要素（TINタイプを含む）で構成されており、詳細は後述する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Name		1～200文字	stf:StringMin1Max200_Type	検証

Name要素は、構成事業体、JV及びJV子会社の正式名称を示す。

[注1.3.1.3及び1.3.2.1.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ResCountryCode		2文字	ISO:CountryCode_Type	検証

繰返し可能なResCountryCode要素は、GloBEの適用上、構成事業体（UPEを除く。）、JV又はJV子会社が所在する国又は地域の国コードを示す。ResCountryCodeは、ISO 3166-1国リストに基づくとともに、無国籍構成事業体についてはX5コードで補完する。

[注1.3.1.1及び1.3.2.1.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Rules			globe:IDTypeRules_EnumType	検証

Rules要素は、報告会計年度においてCE国又は地域がQIIR、QUTPR及び／又はQDMTTを施行しているかどうかを示す。使用可能な値は次のとおり：

- GIR201 - 他の国又は地域に所在する軽課税構成事業体のみに適用されるQIIR
- GIR202 - 他の国又は地域に所在する軽課税構成事業体と親事業体の国又は地域に所在する軽課税構成事業体の両方に適用されるQIIR
- GIR203 - QUTPR
- GIR204 - QDMTT
- GIR205 - 適用なし

複数の選択肢が該当する場合には、該当する全ての選択肢を選択しなければならない。

[注1.3.1.2及び1.3.2.1.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
GlobeStatus			globe:IDTypeGloBESStatus_EnumType	検証

繰返し可能なGlobe Status要素は、GloBE適用上の構成事業体のステータスを示す。使用可能な値は次のとおり：

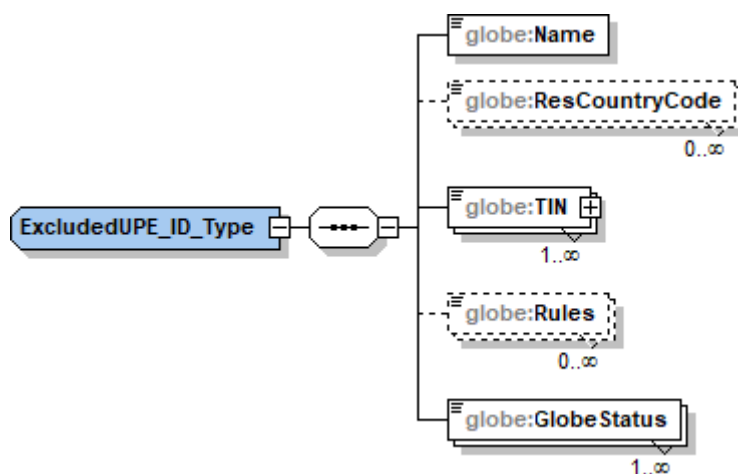
- GIR301 - 構成事業体
- GIR302 - フロースルー事業体 - 課税上透明
- GIR303 - フロースルー事業体 - リバース・ハイブリッド
- GIR304 - ハイブリッド事業体
- GIR305 - 恒久的施設
- GIR306 - 主要事業体
- GIR307 - 被少数保有親事業体
- GIR308 - 被少数保有子会社
- GIR309 - 被少数保有構成事業体
- GIR310 - 投資事業体
- GIR311 - 保険投資事業体
- GIR312 - 証券化事業体
- GIR313 - JV

- GIR314 - JV 子会社
- GIR315 - 非重要構成事業体
- GIR316 - 除外事業体
- GIR317 - 第 10.3.5 条に基づいて QIIR の適用が求められる親事業体
- GIR318 - 非グループメンバー

複数の選択肢が該当する場合は、該当する全ての選択肢を選択しなければならない。申告構成事業体は、構成事業体、JV又はJV子会社のステータスがGloBE Status要素で報告されたステータスと異なる構成事業体オーナー（もしあれば）に関して、個別にID要素を入力しなければならない（例えば、フロースルー事業体が、構成事業体オーナーの一方によって課税上透明事業体として扱われ、他方によってリバース・ハイブリッド事業体として扱われている場合には、申告構成事業体は、同一のフロースルー事業体についてID要素を2回入力しなければならない。つまり、1回はフロースルー事業体を課税上透明事業体として扱うオーナーについて、もう1回はリバース・ハイブリッド事業体として扱うオーナーについて入力する。）

[注1.3.1.6及び1.3.2.1.7]

Excluded UPE ID Type



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ExcludedUPEID			globe:ExcludedUPE ID_Type	検証

UPE IDタイプは、UPEに関するGIR XMLスキーマに含まれる識別情報を定義する。これはGIR XMLスキーマ内の複数の場所で使用され、常に以下の構造に従っている。

これは以下の要素（TINタイプを含む）で構成されており、詳細は後述する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

Name		1～200文字	stf:StringMin1Max200_Type	検証
------	--	---------	---------------------------	----

Name要素は、UPEの正式名称を示す。

[注1.3.1.3及び1.3.2.1.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ResCountryCode		2文字	ISO:CountryCode_Type	オプション（必須）

繰返し可能なResCountryCode要素は、GloBEの適用上、UPEが存在する国又は地域の国コードを示す。この情報は除外事業体であるUPEに関しては報告する必要はない。ResCountryCodeは、ISO 3166-1国リストに基づくとともに、無国籍構成事業体についてはX5コードで補完する。

[注1.3.1.1及び1.3.2.1.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

TIN要素は、以下に定めるTINタイプに従う。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Rules			globe:IDTypeRules_EnumType	オプション（必須）

Rules要素は、UPE国又は地域が報告会計年度においてQIIR、QUTPR及び／又はQDMTTを施行しているかどうかを示す。使用可能な値は次のとおり：

- GIR201 - 他の国又は地域に所在する軽課税構成事業体にのみ適用されるQIIR
- GIR202 - 他の国又は地域に所在する軽課税構成事業体と親事業体の国又は地域に所在する軽課税構成事業体の両方に適用されるQIIR
- GIR203 - QUTPR
- GIR204 - QDMTT
- GIR205 - 適用なし

複数の選択肢が該当する場合は、該当する全ての選択肢を選択しなければならない。

この情報は、除外事業体であるUPEに関しては報告する必要はない。

[注1.3.1.2及び1.3.2.1.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
GlobeStatus			globe:IDTypeGloBESStatus_EnumType	検証

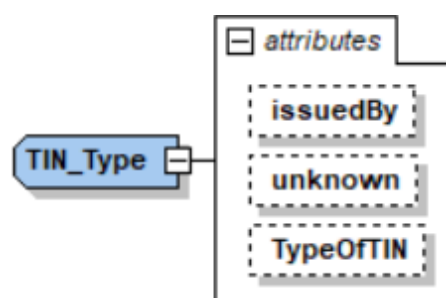
繰返し可能なGlobe Status要素は、GloBE適用上のUPEのステータスを示す。使用可能な値は次のとおり：

- GIR301 - 構成事業体
- GIR302 - フロースルー事業体 - 課税上透明

- GIR303 - フロースルー事業体 - リバース・ハイブリッド
- GIR304 - ハイブリッド事業体
- GIR305 - 恒久的施設
- GIR306 - 主要事業体
- GIR307 - 被少数保有親事業体
- GIR308 - 被少数保有子会社
- GIR309 - 被少数保有構成事業体
- GIR310 - 投資事業体
- GIR311 - 保険投資事業体
- GIR312 - 証券化事業体
- GIR313 - JV
- GIR314 - JV子会社
- GIR315 - 非重要構成事業体
- GIR316 - 除外事業体
- GIR317 - 第10.3.5条に基づいてQIIRの適用が求められる親事業体
- GIR318 - 非グループメンバー

[注1.3.1.6および1.3.2.1.7]

TIN Type



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

TINタイプは、GloBEの適用上、UPE、構成事業体、JV又はJV子会社が所在する国又は地域において、対象租税のために使用されるUPE、構成事業体、JV若しくはJV子会社の納税者番号、又はその事業体がTINを有しない場合には、企業／会社登録コード／番号などの機能的同等物を示す。無国籍構成事業体の識別のために、申告構成事業体は、その事業体が設立された国又は地域において、対象租税のために使用されるTIN又はその機能的同等物を報告しなければならない。これはGIR XMLスキーマ内の複数の場所で使用され、常に以下の構造に従っている。

TINタイプはまた、申告が行われる国又は地域（「申告国又は地域」）によりUPE、構成事業体、JV又はJV子会社に対して交付されたTIN（もしあれば）を示す。これは以下の要素で構成される。事業体がTINを有しない場合には、NOTIN値を提供する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN	issuedBy	2文字	iso:CountryCode_Type	オプション（必須）

この属性はTINを交付した国又は地域を説明する。その要素が「unknown」とフラグ付けされない限り、常に提供しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN	unknown	1文字	xsd:Boolean	オプション（必須）

TINが存在しない場合には、この属性は真「1」として提供することができる。

unknownとフラグ付けされたTINについて提供された値は全て破棄される。

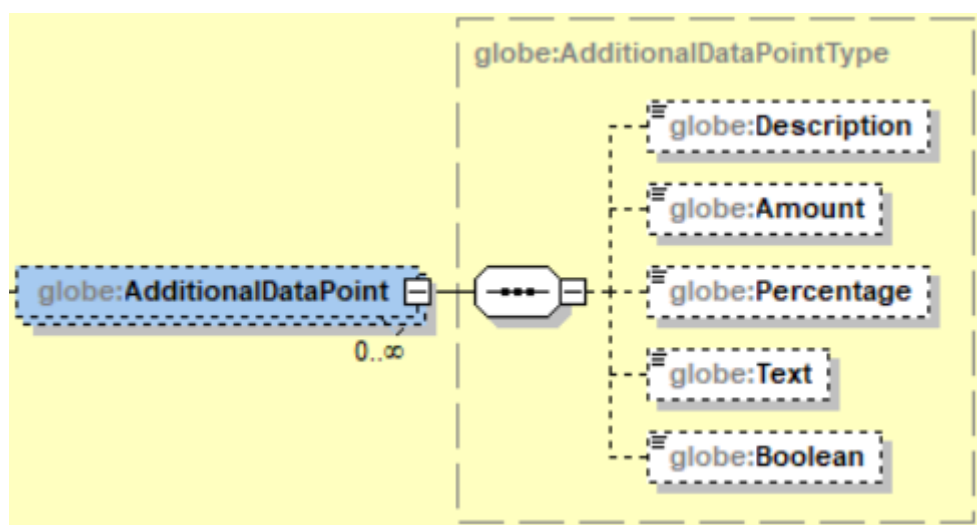
[注1.3.1.4、1.3.1.5、1.3.2.1.5及び1.3.2.1.6]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN	TypeOfTIN		globe:TIN_EnumType	オプション（必須）

TIN Type要素は、提供されるTIN又は同等の番号のタイプのタイプを定める。使用可能な値は次のとおり：

- GIR3001 - 納税者番号
- GIR3002 - 機能的同等物
- GIR3003 - 合意されたGIR指定番号
- GIR3004 - 報告不要

Additional Data Point



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdditionalDataPoint				オプション

繰り返し可能なAdditionalDataPoint要素は、Description、Amount、Percentage及びText要素で構成される。各要素と対応する値は後述されており、承認された政府のガイダンスに基づいて、そこで提供された指示に従ってのみ入力されるべきである。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Description		1～170文字	stf:StringMin1Max170_Type	オプション

description要素は、提供される追加データポイントを説明するために使用される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Amount			xsd:integer	オプション

amount要素は、追加データポイントが金額又は数値である場合に使用される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Percentage		1～6文字	globe:percentage	オプション

Percentage要素は、パーセンテージを示すために使用される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Text		1-4000文字	stf:StringMin1Max4000_Type	オプション

text要素は、追加データポイントがテキスト形式で提供される場合に使用される。

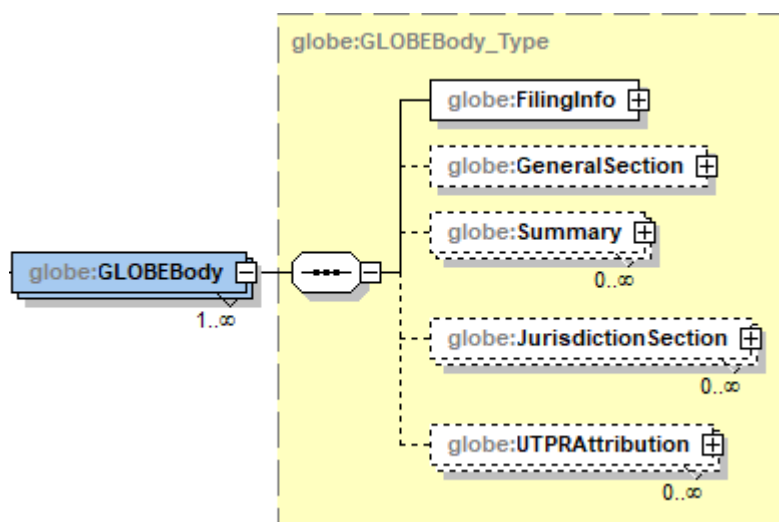
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

Boolean		1文字	xsd:boolean	オプション
---------	--	-----	-------------	-------

boolean要素は、追加データポイントが真か偽の回答を要する場合に使用される。

GloBE Body

GloBE Body要素には、GIRの申告構成事業体、General Section、Summary、Jurisdiction Section及びUTPRAttributionに関する情報が含まれる。



この観点から、GloBE Body要素は以下の5つの要素で構成されている：

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
FilingInfo			globe:FilingInfo	検証

Filing Info要素は、GIRに関連する申告構成事業体、MNEグループ、会計情報、報告会計年度を識別する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
GeneralSection			globe:GeneralSectionType	オプション（必須）

オプションのGeneral Section要素（留意点：GIR MCAAの定義に比べ、この用語の範囲は限定されている。）には、グループの企業構造に関する情報が含まれる。

この要素はまた、情報交換目的での関連するGeneral Sectionの受信国又は地域を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Summary			globe:SummaryType	オプション（必須）

オプションの繰返し可能なSummary要素は、GIRのセクション1.4に相当し、GloBE情報の概要を含む。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
JurisdictionSection			globe:JurisdictionSectionType	オプション（必須）

オプションの繰返し可能なJurisdiction Sectionの要素は、GloBEモデル・ルールのセクション2及び3（3.4.3を除く。）に相当し、MNEグループが事業を行っている全ての国又は地域の国別の情報を含む。セーフ・ハーバーや除外が適用されない国又は地域については、Jurisdiction Sectionには、国別のETR計算、必要な場合にはトップアップ税額計算、及びトップアップ税額がある場合にはその配分が含まれる。関連するセーフ・ハーバー及び除外が適用される国又は地域については、より限定的な情報が反映される。

Jurisdiction Sectionはまた、セーフ・ハーバーとみなされる要件を満たすQDMTTに基づいて行われた計算を報告する目的でも使用される。

この要素はまた、情報交換のため、関連する各Jurisdiction Sectionの受信先の国又は地域を示す。

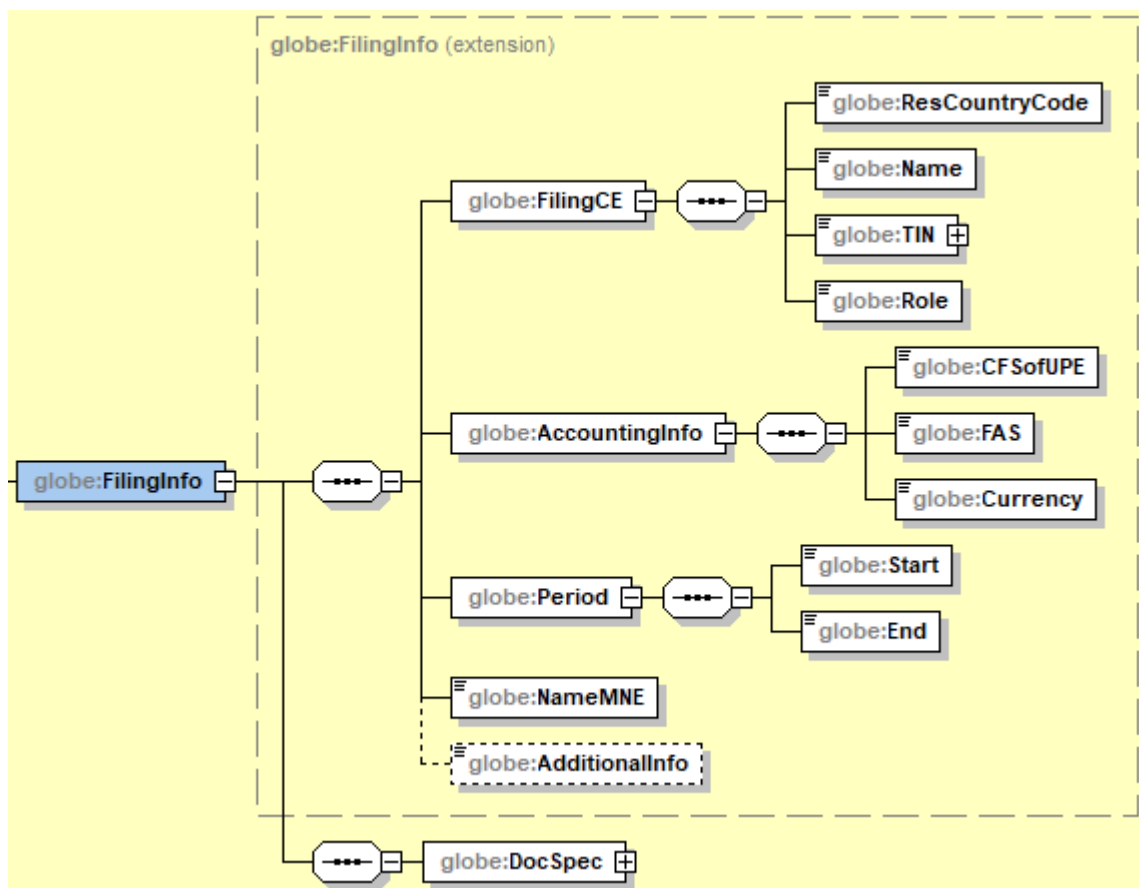
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UTPRAttribution			globe:UTPRAttributionType	オプション（必須）

オプションの繰返し可能なUTPRAttribution Section要素は、GIRのセクション3.4.3に相当し、UTPRが適用される場合の、関連する国又は地域間でのトップアップ税額の帰属に関する情報を含む。

[注1.4.4]

Filing Info

Filing Info要素は、FilingCE、AccountingInfo、Period及びNameMNEの4つのコア要素で構成される。



Filing CE

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
FilingCE				検証

このFiling CE要素は、GloBE情報申告書を提出する申告構成事業体を識別する。複数の申告構成事業体がGloBE情報申告書を提出する場合には、各申告構成事業体は個別のGloBE情報申告書を提出しなければならない。これは、以下の4つの要素で構成される。

[注1.1.1および1.1.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ResCountryCode		2文字	ISO:CountryCode_Type	検証

ResCountryCode要素は、申告構成事業体が所在する国又は地域のISO 3166- 1 Alpha 2標準に基づく2文字のアルファベットの国コードを示す。

[注1.1.5]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Name		1～200文字	stf:StringMin1Max200_Type	検証

Name要素は、申告構成事業体の正式名称を示す。

[注1.1.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

TIN要素は、申告構成事業体の納税者番号を示す。申告構成事業体は、申告国又は地域において、対象租税のために使用されるTIN、又はTINが利用できない場合には、企業／会社登録コード／番号などの機能的同等物を識別しなければならない。

[注1.1.3]

TINが入力されない場合には、NOTIN値を提供する必要がある。

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Role			globe:FilingCERole_EnumType	検証

Role要素は、申告構成事業体の役割を示す。使用可能な値は次のとおり：

- GIR401 - 最終親事業体
- GIR402 - 指定申告事業体
- GIR403 - 指定地方事業体
- GIR404 - 構成事業体
- GIR405 - その他

この要素の値として「GIR0403」又は「GIR0404」が選択される場合には、GIRはローカル・ファイリングによって提供されるものとみなされる。

[注1.1.4]

Accounting Info

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AccountingInfo				検証

AccountingInfo要素は、UPEに関する会計情報を反映し、以下の3つの要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
CFSofUPE			globe:FilingCECofUPE_EnumType	検証

CFSofUPE要素は、UPEの連結財務諸表に適用される、第10.1条の連結財務諸表の定義の関連するサブパラグラフ(a)、(b)、(c)、(d)を示す。(d)項が適用される場合には、申告構成事業体は、UPEの識別のために合理的な注意と誠実な努力を払わなければならない。この観点から、使用可能な値は次のとおり：

- GIR501 - サブパラグラフ a
- GIR502 - サブパラグラフ b
- GIR503 - サブパラグラフ c
- GIR504 - サブパラグラフ d

[注GIRの1.2.2.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
FAS		1～200文字	stf:StringMin1Max200_Type	検証

FAS要素は、UPEの連結財務諸表に使用される財務会計基準を示す。UPEが連結財務諸表を作成していない場合には、申告構成事業体は、公認財務会計基準（許容財務会計基準又は重要な競争上の歪みを防止するために調整された他の財務会計基準）を報告しなければならない。

[注1.2.2.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Currency		3文字	iso:currCode_Type	検証

Currency要素は、UPEの連結財務諸表に使用されるiso:currCode_Typeを反映する。UPEが連結財務諸表を作成していない場合には、申告構成事業体は、GloBE規則の適用上、使用される通貨のISOコードを報告しなければならない。その金額は、完全な単位、すなわち小数点以下なしで入力しなければならない。その値が表現される通貨のコードは、ISOコードリスト4217から取得し、属性currCodeに追加しなければならない。

[注1.2.2.3]

Period

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Period				検証

この要素は、報告会計年度の開始日と終了日を示し、以下の2つの要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Start			xsd:date	検証

start要素は報告会計年度の開始日を示す。

[注1.2.1.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
End			xsd:date	検証

end要素は報告会計年度の終了日を示す。

[注1.2.1.3]

Name MNE

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
NameMNE		1～200文字	stf:StringMin1Max200_Type	検証

Name MNE要素は、連結財務諸表作成時に一般的に使用されるMNEグループの名称を示す。

[注1.2.1.1]

Additional Info

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdditionalInfo		1～4000文字	stf:StringMin1Max4000_Type	オプション

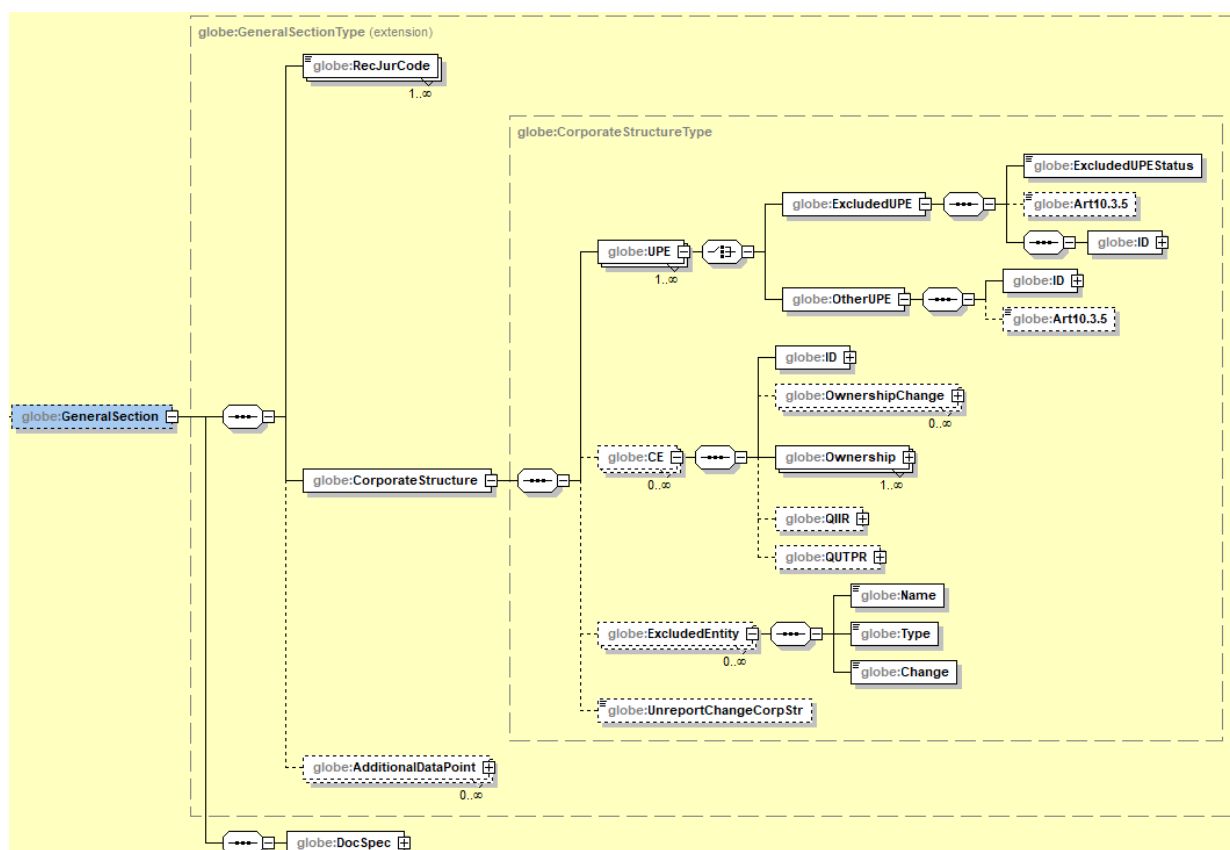
オプションのAdditionalInfo要素は、税務当局のためにGIRに関する特別な追加説明を提供するために使用することができ、一般的にその趣旨で発行される執行ガイダンスに基づいてのみ使用するべきである。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DocSpec			stf:docspec_type	検証

DocSpecは、送信されるGIRメッセージ内の特定のレポートを識別する。これにより、修正が必要なレポートを識別することができる（詳しいガイダンスについては、後述のCorrectionsセクションを参照のこと）。

General Section

General Section要素は、RecJurCodeとCorporateStructureで構成される。オプションのGeneral Section要素には、グループの企業構造に関する情報及び合意された全ての追加データ・ポイントが含まれる。



Receiving Jurisdiction Code

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RecJurCode		2文字	ISO:CountryCode_Type	検証

繰返し可能なRecJurCodeは、情報交換のため、関連するGeneral Sectionの受信先の国又は地域を示す。MNEグループがGIRのローカル・ファイリングを意図している場合には、自国の国コードをこの要素に入力しなければならない。

申告構成事業体は、第8.1.2条に基づいて、情報交換を通じて構成事業体の申告義務を満たすことを意図している国又は地域を識別しなければならない。

[注1.1.6]

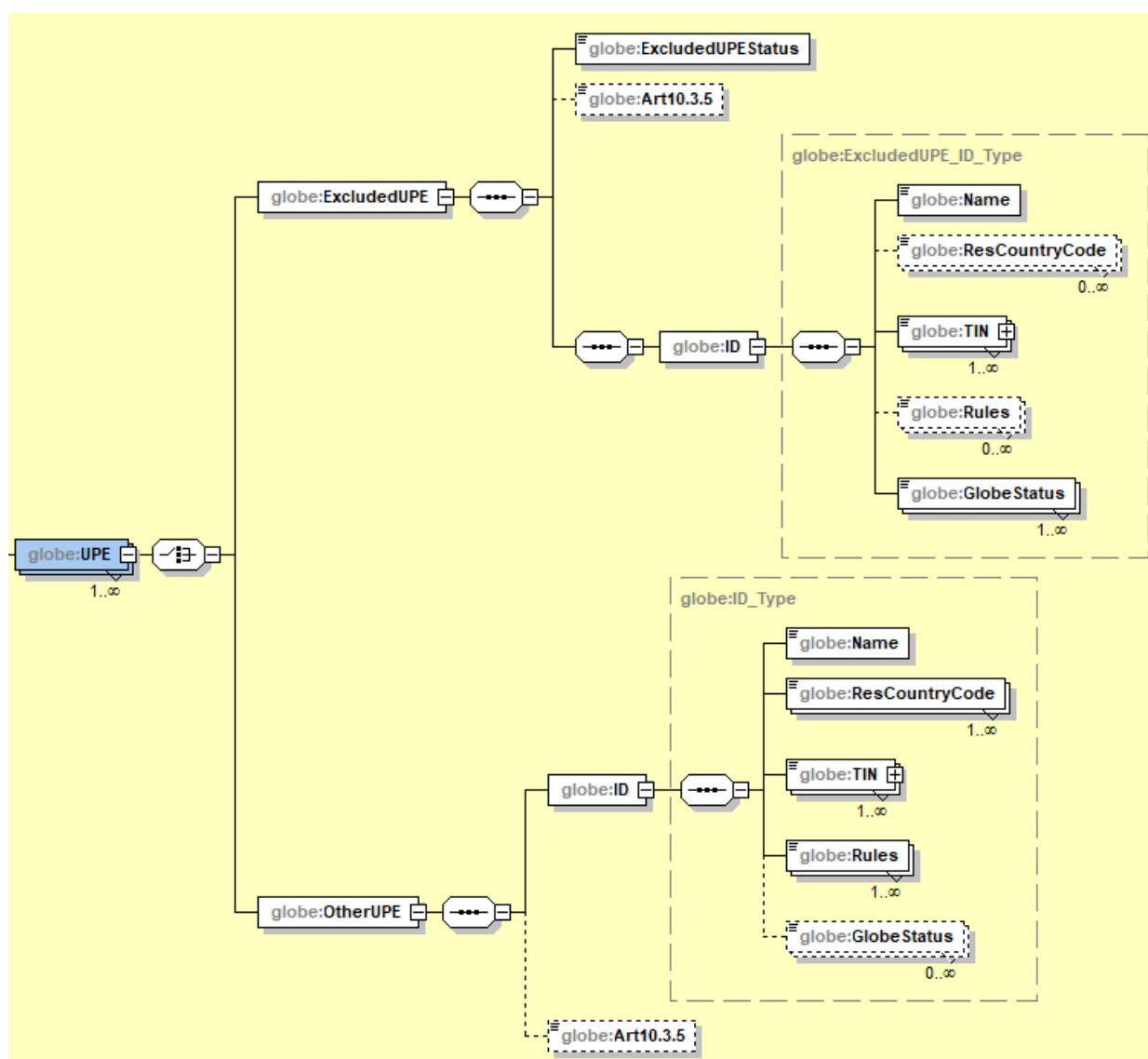
Corporate Structure

Corporate Structure要素は、UPE、CE、Excluded Entity及びUnreportChangeCorpStr要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
CorporateStructure			globe:CorporateStructureType	検証

CorporateStructure要素には、MNEグループの企業構造に関する情報が含まれる。

UPE



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UPE				検証

繰返し可能なUPE要素には、UPEに関する識別情報が含まれる。この要素では、列挙リストに

よる除外UPEの識別、又はIDTypeを含むOtherUPEの識別を選択できる。

MNEグループが複数親MNEグループである場合には、申告構成事業体は、各UPEについてこのUPE要素を入力しなければならない。

[注1.3.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ExcludedUPE				検証（選択）

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ExcludedUPEStatus		1～200文字	globe:ExcludedUPE_EnumType	検証（選択）

UPEが除外事業体の場合には、このフィールドはそのタイプを反映する。使用可能な値は次のとおり：

- GIR601 - 政府機関
- GIR602 - 国際機関
- GIR603 - 非営利団体
- GIR604 - 年金基金
- GIR605 - UPEである投資ファンド
- GIR606 - UPEである不動産投資ビークル

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art10.3.5		2文字	ISO:CountryCode_Type	オプション（必須）

このデータ要素は、親事業体が、GloBEの適用上、別の国又は地域に所在する場合であったとしても、第10.3.5条に基づいて、QIIRの適用を親事業体に求める国又は地域を識別する。

ISO 3166-1 Alpha 2標準に基づいて、2文字のアルファベット国コードと国名リストを使用する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ID			globe:ExcludedUPE_ID_Type	検証

ID要素には除外UPEに関する識別情報が含まれ、上述のIDタイプに従う。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
OtherUPE				検証（選択）

OtherUPE要素は、除外UPE以外のUPEを識別する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art10.3.5		2文字	iso:CountryCode_Type	オプション（必須）

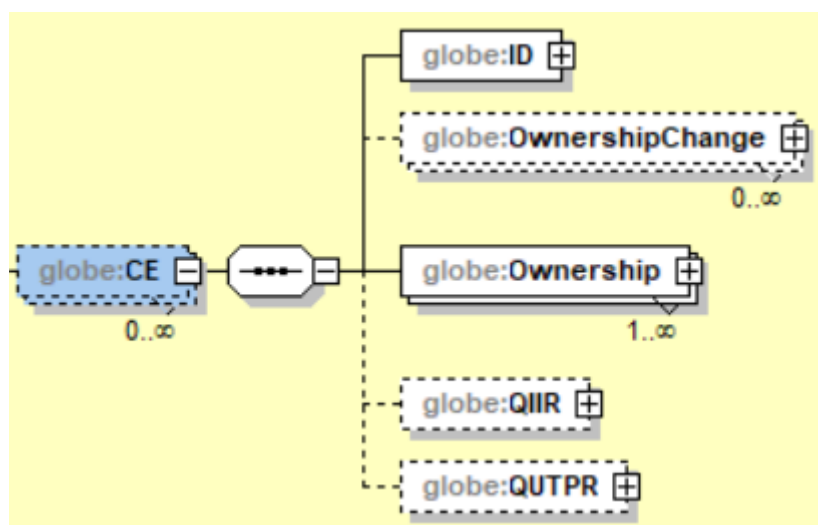
このデータ要素は、親事業体が、GloBEの適用上、別の国又は地域に所在する場合であったとしても、第10.3.5条に基づいて、QIIRの適用を親事業体に求める国又は地域を識別する。

ISO 3166-1 Alpha 2標準に基づいて、2文字のアルファベット国コードと国リストを使用する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ID			globe:ID_Type	検証

ID要素には他のUPEIに関する識別情報が含まれ、上述のIDタイプに従う。

CE and members of JV Groups



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
CE				オプション（必須）

繰返し可能なCE要素には、MNEグループのCE及びJVグループメンバーに関する識別情報及び所有持分情報が含まれる。これは、以下の5つの要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ID			globe:ID_Type	検証

ID要素には、各CE及びJVグループメンバーの識別情報が含まれ、上述のIDTypeに従う。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
OwnershipChange				オプション（必須）

繰返し可能なOwnership Change要素には、報告会計年度中に生じた構成事業体（又はMNEグループの他の事業体）及びJVグループメンバーの企業構造の変更に関する情報が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Ownership				検証

繰返し可能なOwnership要素には、構成事業体（又はMNEグループの他の事業体）及びJVグループメンバーの企業構造に関する情報が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
QIIR				オプション（必須）

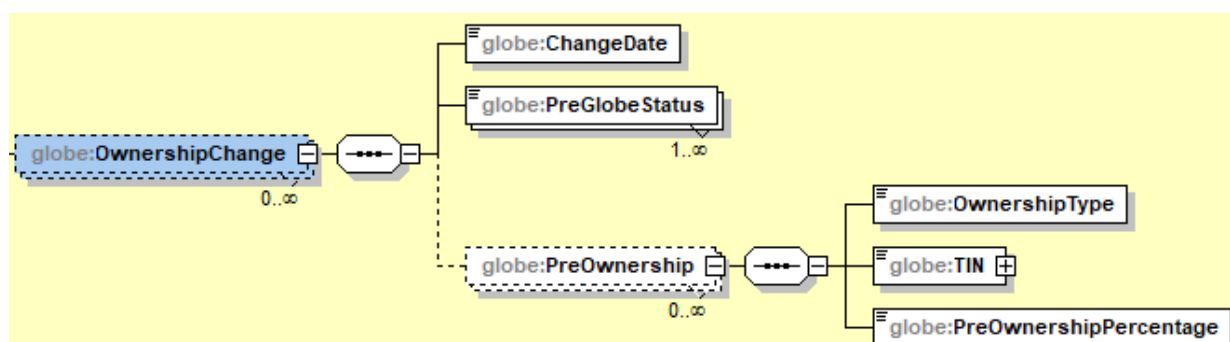
QIIR要素には、POPE又は中間親事業体であるCEがQIIRを適用する必要があるかどうかに関する情報が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
QUTPR				オプション（必須）

QUTPR要素は、その事業体に関してUTPRが適用されるか否かを示す。

Ownership Change、Ownership、QIIR及びUTPR要素は後述する。

Ownership Change



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
OwnershipChange				オプション（必須）

構成事業体（又はMNEグループの他の事業体）又はJVグループメンバーが、報告会計年度中に変更の対象とならなかった場合には、Ownership Change要素を入力する必要はない。報告会計年度中に、ETRの計算（例：所得や税額の国境を越えた配分に関する構成事業体について）、又はトップアップ税額の計算や配分（例：IIRが構成事業体に適用される範囲）に影響を与えた変更に関してのみ、Ownership Change要素を入力しなければならない。

[注1.3.3.]

Ownership Change要素は、以下の3つの要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ChangeDate			xsd:date	検証

ChangeDate要素は、構成事業体（若しくはMNEグループの他の事業体）若しくはJVグループメンバーの所有構造の変更又はステータスの変更の発効日（yyyy-mm-dd形式を使用）を示す。構成事業体（若しくはMNEグループの他の事業体）又はJVグループメンバーが、報告会計年度中に複数の変更の対象となった場合は、それぞれの変更を個別に反映しなければならない。

[注1.3.3.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
PreGlobeStatus			globe:IDGloBEStatus_EnumType	検証

PreGlobe Status要素は、変更日の前日における構成事業体（若しくはMNEグループの他の事業体）又はJVグループメンバーの、GloBE適用上の関連するステータスを示す。使用可能な値は次のとおり：

- GIR701 - 構成事業体
- GIR702 - フロースルー事業体 - 課税上透明
- GIR703 - フロースルー事業体 - リバース・ハイブリッド
- GIR704 - ハイブリッド事業体
- GIR705 - 恒久的施設
- GIR706 - 主要事業体
- GIR707 - 被少数保有親事業体
- GIR708 - 被少数保有子会社
- GIR709 - 被少数保有構成事業体
- GIR710 - 投資事業体
- GIR711 - 保険投資事業体
- GIR712 - 証券化事業体
- GIR713 - JV
- GIR714 - JV子会社
- GIR715 - 非重要構成事業体
- GIR716 - POPE
- GIR717 - 中間親事業体
- GIR718 - 最終親事業体
- GIR719 - 除外事業体
- GIR720 - 第10.3.5条に基づいてQIIRの適用が求められる親事業体

- GIR721 - 非グループメンバー

複数の選択肢が該当する場合には、該当する全ての選択肢を選択しなければならない。

[注1.3.3.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
PreOwnership				オプション（必須）

繰返し可能なPreOwnership要素は、最初に報告された変更の前にCE（若しくは他の事業体）又はJVグループメンバーの所有持分を有していた事業体並びにその所有持分の割合を示す。

申告構成事業体は、変更の前に除外事業体であった除外事業体に関して、PreOwnership要素を入力してはならない。

[注1.3.3.6～1.3.3.8]

これは、以下の3つの要素で構成されている。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
OwnershipType			globe:OwnershipType_EnumType	オプション（必須）

Ownership Type要素は、構成事業体若しくはJVグループメンバーの所有持分を直接に有する事業体又は除外事業体若しくは非グループメンバーを通じて構成事業体若しくはJVグループメンバーの所有持分を間接に有する事業体の種類を示す。使用可能な値は次のとおり（1つのみ適用可能）：

- GIR801 - UPE
- GIR802 - 構成事業体
- GIR803 - JV
- GIR804 - JV子会社
- GIR805 - 除外事業体（合算）
- GIR806 - 非グループメンバー（合算）

「除外事業体（合算）」及び「非グループメンバー（合算）」は、合算して報告する。

非グループメンバーとは、グループ事業体又はJVグループメンバーでない事業体をいう。

[注1.3.2.1.8]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN		1～200文字	globe:TINType	検証

TIN要素は、取引日の前日に構成事業体（若しくはMNEグループの他の事業体）若しくはJVグループメンバーの所有持分を直接に有していた構成事業体、グループ事業体、除外事業体、JVグループメンバー又は非グループメンバーのTINを示す。UPEでない除外事業体及び非グループメ

ンバーは、合算して報告しなければならない（すなわち、「除外事業体（合算）」及び「非グループメンバー（合算）」）。また、申告構成事業体は、取引日の前日において、除外事業体又は非グループメンバーを通じて構成事業体（若しくはMNEグループの他の事業体）の所有持分を間接に有していたグループ事業体についても報告しなければならない。

[注1.3.3.6]

TINが入力されない場合には、NOTIN値を提供する必要がある。

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
PreOwnershipPercentage		1～6文字	globe:percentage	検証

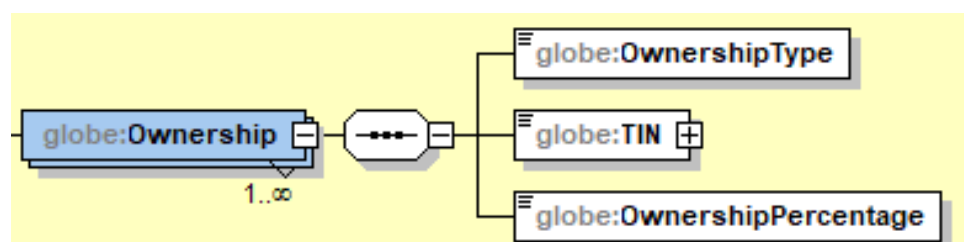
PreOwnership Percentage要素は、注1.3.2.1.10で提供されるガイダンスに従い、変更日の前日において、上記で識別された構成事業体、除外事業体、JVグループメンバー及び非グループメンバーが有する構成事業体（若しくはMNEグループの他の事業体）又はJVグループメンバーの所有持分を示す。

[注1.3.3.7]

構成事業体（若しくはMNEグループの他の事業体）又はJVグループメンバーが報告会計年度中に清算した場合には、申告構成事業体は、取引前の変更日におけるGloBE適用上の関連するステータスをPreGloBEStatus要素に報告し、GloBEStatus要素に「非グループメンバー」を報告しなければならない。次に、申告構成事業体は、取引前の変更日におけるその構成事業体（若しくはMNEグループの他の事業体）又はJVグループメンバーの所有持分を有する事業体をPreOwnershipType要素で識別し、その事業体が有する構成事業体（若しくはMNEグループの他の事業体）又はJVグループメンバーの所有持分をPreOwnershipPercentage要素に報告しなければならない。ただし、申告構成事業体は、OwnershipPercentage要素を入力してはならない。

[注1.3.3.5～1.3.3.8]

Ownership



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Ownership				検証

Ownership要素は、報告会計年度の最終日における構成事業体及びJVグループメンバーの所有持分を反映する。これは、Ownership Type、TIN及びOwnership Percentageの各要素で構成される。
[注1.3.2.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
OwnershipType			globe:OwnershipType_EnumType	検証

Ownership Type要素は、構成事業体若しくはJVグループメンバーの所有持分を直接に有する事業体又は除外事業体若しくは非グループメンバーを通じて構成事業体若しくはJVグループメンバーの所有持分を間接に有する事業体のタイプを示す。使用可能な値は次のとおり（1つのみ適用可能）：

- GIR801 - UPE
- GIR802 - 構成事業体
- GIR803 - JV
- GIR804 - JV子会社
- GIR805 - 除外事業体（合算）
- GIR806 - 非グループメンバー（合算）

「除外事業体（合算）」及び「非グループメンバー（合算）」は合算して報告する。

[注1.3.2.1.8]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

TIN要素は、構成事業体、JV若しくはJV子会社の所有持分を有する構成事業体、JV若しくはJV子会社のTIN（又はTINが利用できない場合には、企業／会社登録コード／番号などの機能的同等物）を示す。UPEでない除外事業体及び非グループメンバーについては、合算して報告されるため、TINを報告してはならない（すなわち、「除外事業体（合算）」及び「非グループメンバー（合算）」）。

[注1.3.2.1.9]

TINが入力されない場合には、NOTIN値を提供する必要がある。

TINタイプは、TINタイプに従って入力する必要がある。

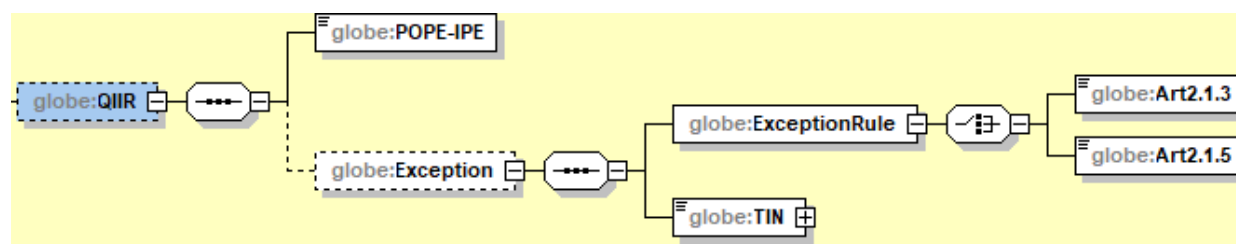
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
OwnershipPercentage		1～6文字	globe:percentage	検証

Ownership Percentage要素は、OwnershipTypeで識別される構成事業体、JV、JV子会社、除外事業体及び非グループメンバーが直接に有する構成事業体、JV又はJV子会社の所有持分を（パ

ーセンテージで) 示す。申告構成事業体は、非グループメンバーが有する所有持分を合算して報告しなければならない。複数の除外事業体が構成事業体、JV又はJV子会社の所有持分を直接に有する場合には、全ての除外事業体が有する所有持分を合算して報告しなければならない。グループ事業体、JV又はJV子会社が、複数の除外事業体又は非グループメンバーを通じて構成事業体、JV又はJV子会社の所有持分を間接に有している場合には、申告構成事業体は、このグループ事業体、JV又はJV子会社が直接に有している所有持分に加えて、除外事業体又は非グループメンバーを通じて間接に有している所有持分を報告しなければならない。この場合には、二重計上を避けるため、そのグループ事業体の所有持分の計算において考慮される、その除外事業体又は非グループメンバーが直接に有する構成事業体、JV又はJV子会社の所有持分は個別に報告してはならない。その構成事業体が恒久的施設である場合には、申告構成事業体は、OwnershipTypeで主要事業体を識別し、OwnershipPercentageに100%と報告しなければならない。

[注1.3.2.1.10]

QIIR



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
QIIR				オプション (必須)

QIIR要素には、POPE又は中間親事業体であるCEがQIIRを適用する必要があるかどうかに関する情報が含まれる。QIIR要素は、CEが所在する国又は地域においてQIIRが適用され、CEがPOPE又は中間親事業体である場合にのみ、そのCEに関して入力しなければならない。JVグループメンバー又は他のCEの所有持分（直接又は間接を問わず）有していない事業体に関しては、これらのグループ事業体は潜在的な親事業体でないため、この情報を報告してはならない。

[注1.3.2.1.11～1.3.2.1.13]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
POPE-IPE			globe:POPEIPE_EnumType	検証

POPE-IPE要素は、適用する親事業体のタイプを示す。使用可能な値は次のとおり：

- GIR901 - POPE
- GIR902 - 中間親事業体
- GIR903 - 第10.3.5条に基づいてQIIRの適用が求められている親事業体

被部分保有親事業体の定義に従い、親事業体は、MNEグループの構成事業体でない者に、その利益の持分の20%超を（直接又は間接に）有される場合で、同一のMNEグループの他の構成事業体の所有持分を（直接又は間接に）有している場合には、被部分保有親事業体である。

[注1.3.2.1.11]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Exception				オプション（必須）

Exception要素は、第2.1.3条又は第2.1.5条に基づく例外の適用を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ExceptionRule				検証（選択）

ExceptionRule要素は、第2.1.3条又は第2.1.5条のいずれかを選択する必要がある、また、TIN要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art2.1.3		1文字	xsd:boolean	検証（選択）

Art2.1.3要素は、UPEがIIRを適用するか、IIRの適用が求められる別の中間親事業体が存在するため、中間親事業体がIIRを適用する必要があることを示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art2.1.5		1文字	xsd:boolean	検証（選択）

Art2.1.5要素は、POPEが、報告会計年度において適格IIRの適用が求められる他のPOPEに（直接又は間接に）完全に保有されている場合には、IIRを適用する必要があることを示す。

第2.1.5条に従い、POPEは、報告会計年度において適格IIRの適用が求められる他のPOPEに（直接又は間接に）完全に保有されている場合には、IIRを適用する必要がある。

第2.1.5条の例外が適用される場合には、申告構成事業体は、GloBEの適用上、他の部分保有親事業体が所在する国又は地域において、対象租税のために使用されるTINを報告し、又はTINが利用できない場合には、企業／会社登録コード／番号のような機能的同等物を報告しなければならない。

[注1.3.2.1.13]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

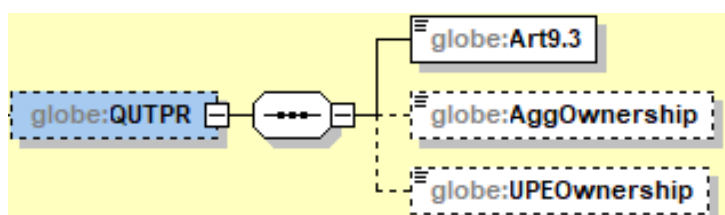
検証TIN要素は、適格IIRの適用が求められるUPE、他のIPE又は他のPOPEが、GloBEの適用上、所在する国又は地域において、対象租税のために使用されるTINを示す。

[注1.3.2.1.12及び1.3.2.1.13]

TINが入力されない場合には、値NOTINを提供する必要がある。

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

QUTPR



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
QUTPR				オプション（必須）

QUTPR要素は、その事業体に関してUTPRが適用されるかどうかを示し、以下の3つの要素で構成される。この要素は、構成事業体が所在する国又は地域に関してUTPRに基づく課税権を有する国若しくは地域がない場合又はその国若しくは地域に関してUTPRセーフ・ハーバーが適用される場合には適用されない。

[注1.3.2.1.14～1.3.2.1.16]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art9.3		1文字	xsd:boolean	検証

第9.3条の要素は、国際活動の初期段階（第9.3.1条又は第9.3.5条(a)）が適用されるかどうかを示す。その場合、次の2つの要素は入力してはならない。さらに、UPEが、関連する構成事業体（UPE国又は地域に所在する構成事業体を含む可能性がある）に関してQIIRを適用する必要がある場合には、以下の2つの要素は入力してはならない。その他の全ての場合において、構成事業体に関してQIIRを適用する必要がある親事業体が、その構成事業体の所有持分の100%未満を有している場合にのみ、申告構成事業体は以下の2つの要素を入力しなければならない。

[注1.3.2.1.15及び1.3.2.1.16]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AggOwnership		1～6文字	globe:percentage	オプション（必須）

AggOwnership要素は、その構成事業体の保有されている所有持分の全体に対する所有持分の合計の割合をパーセンテージで示す。QIIRの適用が求められる親事業体の（直接及び間接の）所有持分の合計は、軽課税構成事業体に関してQIIRを適用する必要がある各親事業体が有する所有持分の合計である。軽課税構成事業体の軽課税所得に関してQIIRの適用が求められる親事業体がない場合には、合計はゼロとする。（第2.1.3条若しくは第2.1.5条に基づくIIRの除外について非適格である中間親事業体又は部分保有親事業体を通じて間接にLTCEの所有持分を有する）親事業体がIIRを適用する必要がある場合には、その関連する所有持分は、合計額の計算上、1度のみ計算されるものとする。

JVグループメンバーについては、AggOwnership要素は、JVグループメンバーのトップアップ税額の合計に対するそのJVグループメンバーのトップアップ税額の配分額の合計の割合をパーセンテージで示す。QIIRの適用が求められる親事業体のトップアップ税額の配分額の合計は、軽課税JV又はJV子会社に関してQIIRを適用する必要がある各親事業体のトップアップ税額の配分額の合計である。JV又はJV子会社の軽課税所得に関してQIIRの適用が求められる親事業体がない場合には、合計はゼロとする。親事業体がIIRの適用が求められる他の親事業体を通じて間接に軽課税ジョイント・ベンチャー又はJV子会社の所有持分を有している場合には、トップアップ税額の配分額は、合計額の計算上、1度のみ計算されるものとする。

[注1.3.2.1.15]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UPEOwnership		1文字	xsd:boolean	オプション（必須）

UPE Ownership要素は、UPEのCEに対する所有持分の全てが、そのCEに関してQIIRの適用が求められる親事業体によって直接又は間接に有されているかどうか（又はJVグループメンバーに関してQIIRの適用が求められる親事業体のトップアップ税額の配分額の合計が、ゼロに減額されるかどうか）を示す。

[注1.3.2.1.16]

Excluded Entity

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ExcludedEntity				オプション（必須）

繰返し可能なExcluded Entityは、報告会計年度の最終日における除外事業体に関する情報を反映する。除外事業体は、第1.5.1条又は第1.5.2条に定義されるグループ事業体である。これは以下の3つの要素で構成される。

[注1.3.2.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Name		1～200文字	stf:StringMin1Max200_Type	検証

Name要素は、除外事業体の名称を示す。

注1.3.2.2.2

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Change		1文字	xsd:boolean	検証

Change要素は、除外事業体の名称又はタイプに関する前報告会計年度からの変更を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Type			globe:ExcludedEntity_EnumType	検証

Type要素は各除外事業体のタイプを示す。使用可能な値は次のとおり：

- GIR1001 - 政府機関
- GIR1002 - 国際機関
- GIR1003 - 非営利団体
- GIR1004 - 年金基金
- GIR1005 - UPEである投資ファンド
- GIR1006 - UPEである不動産投資ビークル
- GIR1007 - 第1.5.2条(a)に基づく除外事業体が保有する事業体
- GIR1008 - 第1.5.2条(b)に基づく除外事業体が保有する事業体

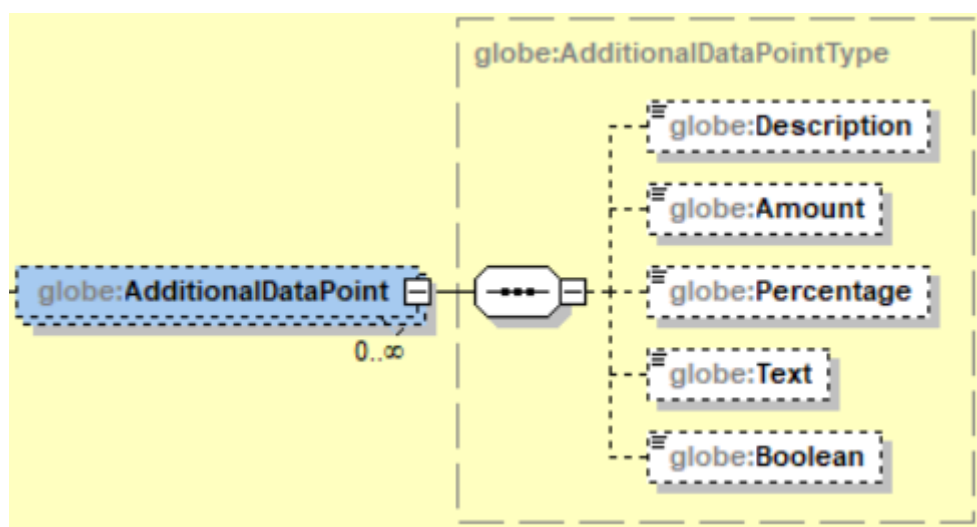
Unreported Change Corporate Structure

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UnreportChangeCorpStr		1文字	xsd:boolean	オプション（必須）

UnreportChangeCorpStr要素は、報告会計年度中に発生した変更が、報告会計年度中のいつの時点においてもETRの計算、トップアップ税額の計算又は配分に影響を与えなかったため、Ownership Change要素で報告されなかったかどうかを示す。（例：所得又は税額の国境を越えた配分に関係していない構成事業体が、変更の前にはUPEに直接にかつ完全保有されており、UPEに直接にかつ完全保有されている他の構成事業体に譲渡された場合）

[注1.3.3.a]

Additional Data Point



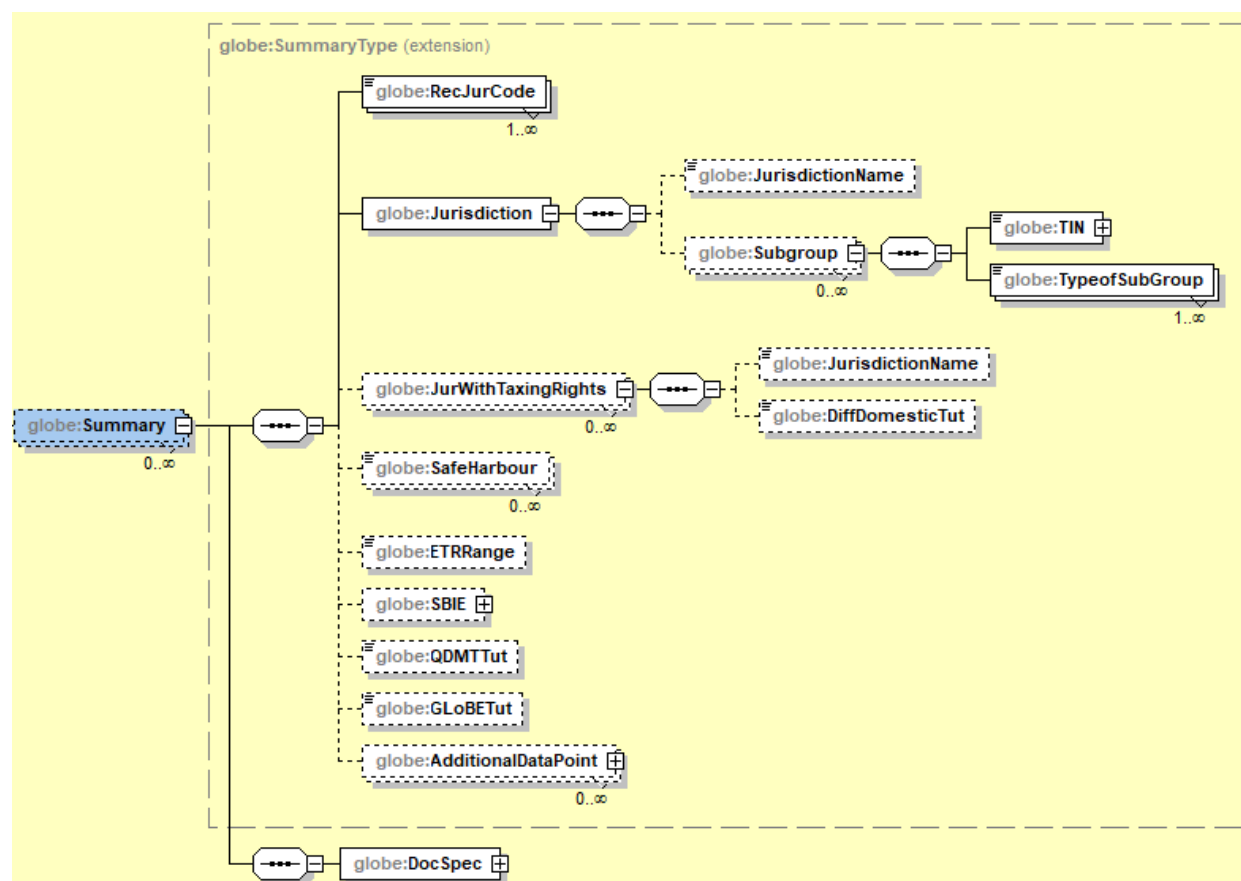
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdditionalDataPoint				オプション

繰り返し可能なAdditionalDataPoint要素は、Description、Amount、Percentage及びText要素で構成される。各要素と対応する値は後述されており、承認された政府のガイダンスに基づいて、そこで提供された指示に従ってのみ入力する必要がある。

この複雑な要素に関する詳しいガイダンスは、ユーザー・ガイドの冒頭にある。

Summary

Summary要素は以下の親要素で構成される：RecJurCode、Jurisdiction、JurWithTaxingRights、SafeHarbour、ETRRange、SBIE、QDMTTut、GLOBETut及びAdditionalDataPoint。



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Summary			globe:SummaryType	オプション（必須）

繰返し可能なSummary要素は、MNEグループが構成事業体を有し、又はJVグループメンバーが所在する各国又は地域並びに個別のETR又はトップアップ税額の計算が適用される各サブグループに関するMNEグループに対するGloBE規則の適用に関するハイレベルな概要を提供する。これら10個の要素については、以下でさらに詳しく説明する。

Receiving Jurisdiction Code

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RecJurCode		2文字	iso:CountryCode_Type	検証

繰返し可能なRecJurCodeは、情報交換のため、関連するSummary Sectionの受信先の国又は地域を示す。MNEグループがGIRのローカル・ファイリングを意図している場合には、自国の国コ

ードをこの要素に入力しなければならない。

申告構成事業体は、第8.1.2条に基づいて、情報交換を通じて構成事業体の申告義務を満たすことを意図している国又は地域を識別しなければならない。

[注1.1.6]

Jurisdiction

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Jurisdiction				検証

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
JurisdictionName		2文字	iso:CountryCode_Type	オプション（必須）

JurisdictionName要素は、MNEグループが構成事業体を有し、又はJVグループメンバーが所在する国又は地域のISO3166-1 Alpha2標準に基づく2文字のアルファベットの国コードを示す。

[注1.4.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Subgroup				オプション（必須）

繰返し可能なSubgroup要素は、GloBE計算のペリメータがサブグループである場合に適用される。

[注1.4.2]

申告構成事業体は、JurisdictionName要素で識別された国又は地域に関して、課税権を有する国又は地域がない場合には、この要素を入力してはならない。

[注1.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

TIN要素は、個別のGloBE計算が適用される各サブグループの所有構造の最上位にある事業体のTINを反映する。

TINが入力されない場合には、値NOTINを提供する必要がある。

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

申告構成事業体は、JurisdictionName要素で識別された国又は地域に関して、課税権を有する国又は地域がない場合には、この要素を記入してはならない。

[注1.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TypeofSubgroup			globe:TypeofSubGroup_EnumType	検証

繰返し可能なType of Subgroup要素は、以下の選択肢に基づいてサブグループのタイプを識別する：

- GIR1101 - 構成事業体
- GIR1102 - 被少数保有サブグループ
- GIR1103 - スタンドアローンMOCE
- GIR1104 - 投資事業体
- GIR1105 - JVグループ
- GIR1106 - 無国籍構成事業体

[注1.4.2]

申告構成事業体は、JurisdictionName要素で識別された国又は地域に関して、課税権を有する国又は地域がない場合には、この要素を入力してはならない。

[注1.4]

Jurisdiction With Taxing Rights

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
JurWithTaxingRights				オプション（必須）

繰返し可能なJurWithTaxingRights要素は、Jurisdiction要素で識別された国又は地域に関して、課税権を有する国又は地域の名称を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
JurisdictionName		2文字	iso:CountryCode_Type	オプション（必須）

JurisdictionName要素は、ISO 3166-1 Alpha 2標準に基づく2文字のアルファベット国コードの形式で、課税権を有する国又は地域を識別する。親事業体が、GloBEの適用上、他の国又は地域に所在するとしても、課税権を有する国又は地域には、第10.3.5条に基づいて、その親事業体がQIIRの適用を求められる国又は地域を含めることができる。GloBEルールで提供される適用順序に基づいて、他方の国又は地域に関して計算された国別トップアップ税額が、一方の国又は地域の課税規定に基づいて、一方の国又は地域に所在する構成事業体のトップアップ税額の納税義務となる場合には、一方の国又は地域は、他方の国又は地域に関して課税権を有する。具体的には、QDMTTセーフ・ハーバー国又は国内の事業体に適用されるIIRを有する国又は地域は、それ自身に関して課税権を有することとなる。さらに、複数の国又は地域が他の同一の国又は地域に対して課税権を有することがある。例えば、UPEと被部分保有親事業体の両方が、第三の国又は地域

に所在する構成事業体に関してIIRの適用が求められるような場合である。その場合には、UPEの国又は地域と被部分保有親事業体の国又は地域の両方を報告する必要がある。同様に、UTPR国又は地域は、第2.5条に基づいて、トップアップ税額がゼロに減額されない国又は地域に関して課税権を有することとなる。

[注1.4.4]

申告構成事業体は、JurisdictionName要素で識別された国又は地域に関して、課税権を有する国又は地域がない場合には、この要素を入力してはならない。

[注1.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DiffDomesticTut			globe:globeTuT_EnumType	オプション（必須）

提供が求められる場合、DiffDomesticTut要素は、国内法に基づく支払うべきトップアップ税額の平均額がGloBETut要素で報告された支払うべきGloBEトップアップ税額と異なる場合には、国内法に基づく支払うべきトップアップ税額の平均額が該当する範囲を示す。

3.1.10で報告された金額は、GloBEモデル・ルールに基づいて計算される関連する国又は地域のトップアップ税額の配分額で重み付けされる。使用可能な値は次のとおり：

- GIR1501 – 支払うべきトップアップ税額なし
- GIR1502 - 100万ユーロ未満
- GIR1503 - 100万ユーロ以上500万ユーロ未満
- GIR1504 - 500万ユーロ以上2,500万ユーロ未満
- GIR1505 - 2,500万ユーロ以上5,000万ユーロ未満
- GIR1506 - 5,000万ユーロ以上7,500万ユーロ未満
- GIR1507 - 7,500万ユーロ以上1億ユーロ未満
- GIR1508 - 1億ユーロ以上2億5000万ユーロ未満
- GIR1509 - 2億5,000万ユーロ以上

[注1.4.9]

申告構成事業体は、JurisdictionName要素で識別された国又は地域に関して、課税権を有する国又は地域がない場合には、この要素を入力してはならない。

[注1.4]

Safe Harbour

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

SafeHarbour			globe:SafeHarbour_EnumType	オプション（必須）
-------------	--	--	----------------------------	-----------

繰返し可能なSafe Harbour要素は、1.4.1で識別された国若しくは地域又は1.4.3で識別された関連するサブグループ（もしあれば）に関して、セーフ・ハーバー又はデミニマス除外のいずれかの適用により、トップアップ税額がゼロに減額されているかどうかを示す。申告構成事業体は、注2.2.1.1.1に従って、セーフ・ハーバーの適用上、関連する選択肢を報告しなければならない。

- GIR1201 - デミニマス除外
- GIR1202 - QDMTTセーフ・ハーバー
- GIR1203 - 移行期間CbCRセーフ・ハーバー - デミニマス・テスト
- GIR1204 - 移行期間CbCRセーフ・ハーバー - ETRテスト
- GIR1205 - 移行期間CbCRセーフ・ハーバー - 通常利益テスト
- GIR1206 - 移行期間UTPRセーフ・ハーバー
- GIR1207 - 恒久的セーフ・ハーバー - デミニマス・テスト
- GIR1208 - 恒久的セーフ・ハーバー - ETRテスト
- GIR1209 - 恒久的セーフ・ハーバー - 通常利益テスト

[注1.4.5]

申告構成事業体は、JurisdictionName要素で識別された国又は地域に関して、課税権を有する国又は地域がない場合には、この要素を入力してはならない。

[注1.4]

ETR Range

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ETRRange			globe:ETRRange_EnumType	オプション（必須）

ETR Range要素は、1.4.1で識別された国若しくは地域又は1.4.3で識別された関連するサブグループ（もしあれば）の、3.2.1.eで報告されたETRが該当する範囲を示す：

- GIR1301 - 2.5%未満
- GIR1302 - 2.5%以上5%未満
- GIR1303 - 5%以上7.5%未満
- GIR1304 - 7.5%以上10%未満
- GIR1305 - 10%以上12.5%未満
- GIR1306 - 12.5%以上15%未満
- GIR1307 - 15%以上17.5%未満
- GIR1308 - 17.5%以上20%未満

- GIR1309 - 20%以上22.5%未満
- GIR1310 - 22.5%以上25%未満
- GIR1311 - 25%以上27.5%未満
- GIR1312 - 27.5%以上30%未満
- GIR1313 - 30%以上
- GIR1314 - セクション3.2入力なし

MNEグループ（又は関連するサブグループ）がその国又は地域においてGloBE損失を有している場合には、申告構成事業体はこの要素を入力してはならない。さらに、申告構成事業体は、GIRのセクション3を入力する必要がない国又は地域（又はサブグループ）に関しては、この要素を入力してはならない。

[注1.4.6]

申告構成事業体は、JurisdictionName要素で識別された国又は地域に関して、課税権を有する国又は地域がない場合には、この要素を入力してはならない。

[注1.4]

SBIE

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
SBIE				オプション（必須）

SBIE要素は、1.4.1で識別された国若しくは地域又は1.4.3で識別された関連するサブグループに関して、その国又は地域において実質ベース所得除外がトップアップ税額を発生させないこととなる場合には、その国又は地域に関する実質ベース所得除外を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
NotApplicable		1文字	xsd:boolean	検証

NotApplicable要素は、国若しくは地域又はサブグループについて計算されるSBIEがないことを示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
NoTut		1文字	xsd:boolean	検証

NoTut要素は、国若しくは地域又はサブグループのSBIEを踏まえて、トップアップ税額がないことを示す。[注1.4.7]

申告構成事業体は、JurisdictionName要素で識別された国又は地域に関して、課税権を有する国又は地域がない場合には、この要素を入力してはならない。

[注1.4]

QDMTTut

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
QDMTTut			globe:QDMTTut_EnumType	オプション（必須）

QDMTTut要素は、1.4.1で識別された国若しくは地域又は1.4.3で識別された関連するサブグループ（もしあれば）に関して、3.3.1.fで報告された支払うべきQDMTTトップアップ税額が該当する範囲を示す。使用可能な値は次のとおり：

- GIR1401 - 支払うべきトップアップ税額なし
- GIR1402 - 100万ユーロ以下
- GIR1403 - 100万ユーロ以上500万ユーロ未満
- GIR1404 - 500万ユーロ以上2,500万ユーロ未満
- GIR1405 - 2,500万ユーロ以上5,000万ユーロ未満
- GIR1406 - 5,000万ユーロ以上7,500万ユーロ未満
- GIR1407 - 7,500万ユーロ以上1億ユーロ未満
- GIR1408 - 1億ユーロ以上2億5,000万ユーロ未満
- GIR1409 - 2億5,000万ユーロ以上

[注1.4.8]

申告構成事業体は、JurisdictionName要素で識別された国又は地域に関して、課税権を有する国又は地域がない場合には、この要素を入力してはならない。

[注1.4]

GloBETut

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
GloBETut			globe:globeTuT_EnumType	オプション（必須）

GloBETut要素は、1.4.1で識別された国若しくは地域又は1.4.3で識別された関連するサブグループ（もしあれば）に関して、3.3.1.eで報告された支払うべきGloBEトップアップ税額が該当する範囲を示す。使用可能な値は次のとおり：

- GIR1501 - 支払うべきトップアップ税額なし
- GIR1502 - 100万ユーロ以下
- GIR1503 - 100万ユーロ以上500万ユーロ未満
- GIR1504 - 500万ユーロ以上2,500万ユーロ未満

- GIR1505 - 2,500万ユーロ以上5,000万ユーロ未満
- GIR1506 - 5,000万ユーロ以上7,500万ユーロ未満
- GIR1507 - 7,500万ユーロ以上1億ユーロ未満
- GIR1508 - 1億ユーロ以上2億5,000万ユーロ未満
- GIR1509 - 2億5,000万ユーロ以上

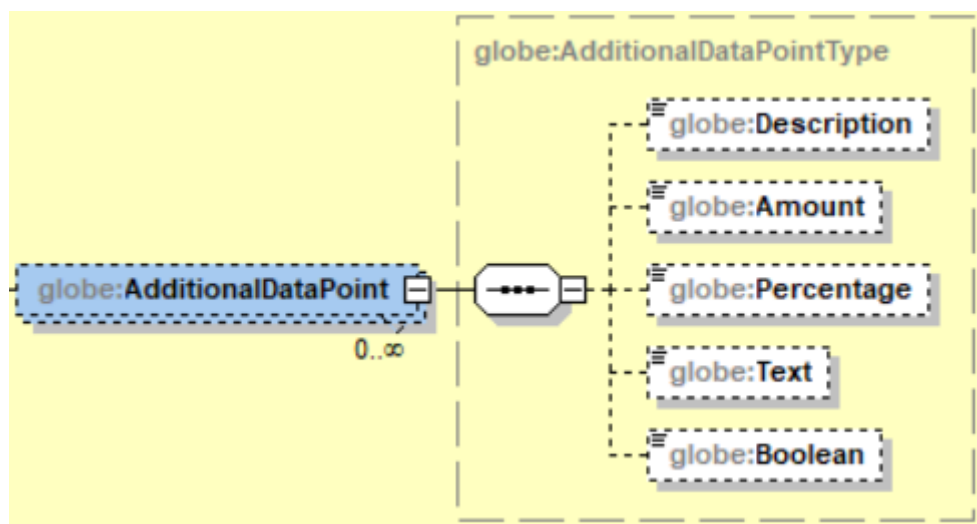
3.3.1.fで報告された金額と異なる金額が3.1.10で報告された場合には、申告構成事業体は、1.4.1で識別される国若しくは地域又は1.4.3で識別される関連するサブグループ（もしあれば）に関する（3.3.1.fで報告された）支払うべきGloBEトップアップ税額が該当する範囲、及び課税権を有する各国又は地域の国内法に基づく支払うべきトップアップ税額がある場合には、3.1.10で報告されたその総額が該当する範囲の両方を同じ選択肢により報告しなければならない。平均の計算上、3.1.10で報告された金額は、GloBEモデル・ルールに基づいて計算された関連する国又は地域のトップアップ税額の配分額により重み付けされる。

[注1.4.9]

申告構成事業体は、JurisdictionName要素で識別された国又は地域に関して、課税権を有する国又は地域がない場合には、この要素を入力してはならない。

[注1.4]

Additional Data Point



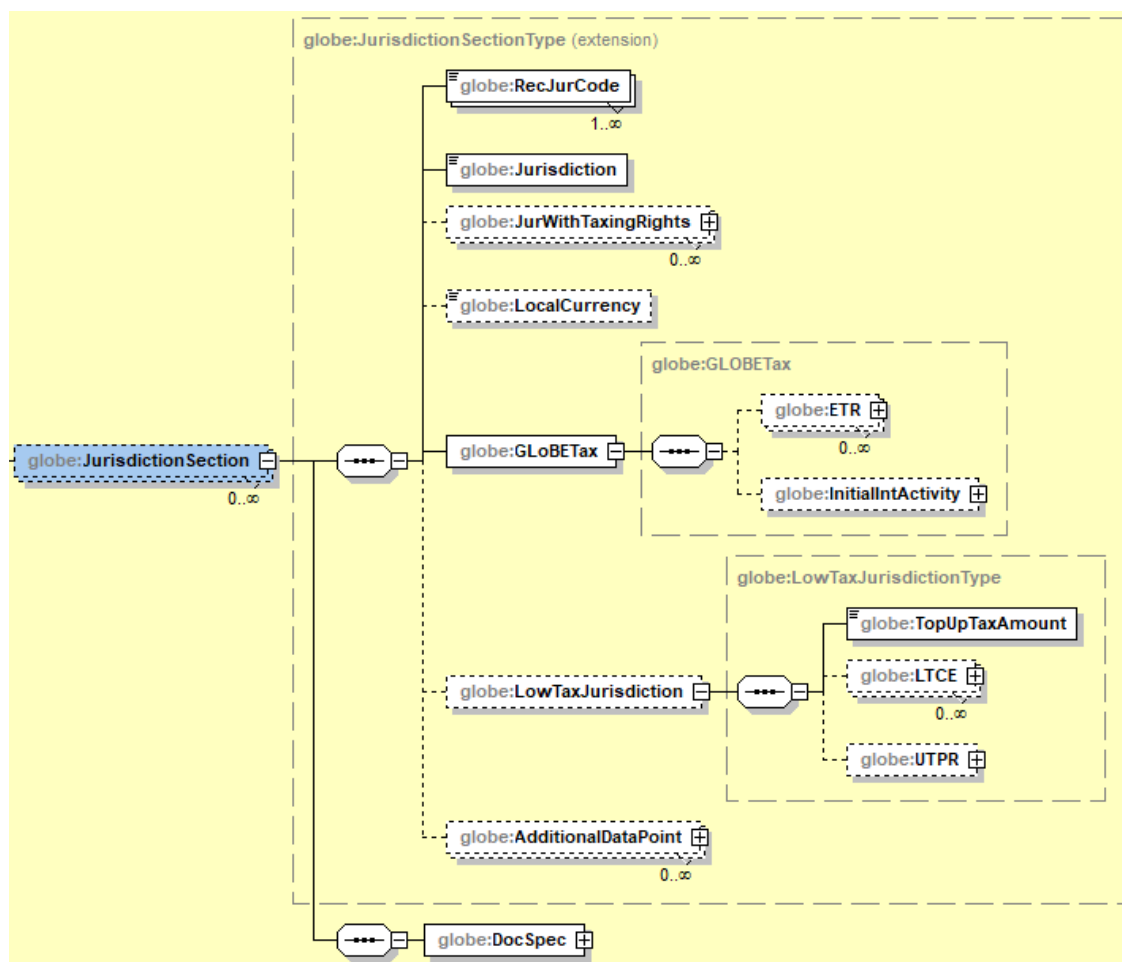
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdditionalDataPoint				オプション

繰返し可能なAdditionalDataPoint要素は、Description、Amount、Percentage及びText要素で構成される。各要素と対応する値は後述されており、承認された政府のガイダンスに基づいて、そこで提供された指示に従ってのみ入力する必要がある。

この複雑な要素に関する詳しいガイダンスは、ユーザー・ガイドの冒頭にある。

Jurisdiction Section

繰返し可能なJurisdiction Section要素には、関連するセーフ・ハーバーや除外が適用される国又は地域に関する開示が含まれる。セーフ・ハーバーや除外が適用されない国又は地域については、ETRの計算が反映され、必要に応じてトップアップ税額の計算が行われ、最後にトップアップ税額がある場合にはその配分が反映される。



これは、4つのサブ要素、すなわちRecJurCode、Jurisdiction、GloBE Tax及びLowTaxJurisdictionで構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RecJurCode		2文字	iso:countrycode_Type	検証

繰返し可能なRecJurCode要素は、各Jurisdiction Sectionの意図された受信先の国又は地域を反映する。GIRのローカル・ファイリングが適用される場合には、自国の国コードをこの要素に入力しなければならない。

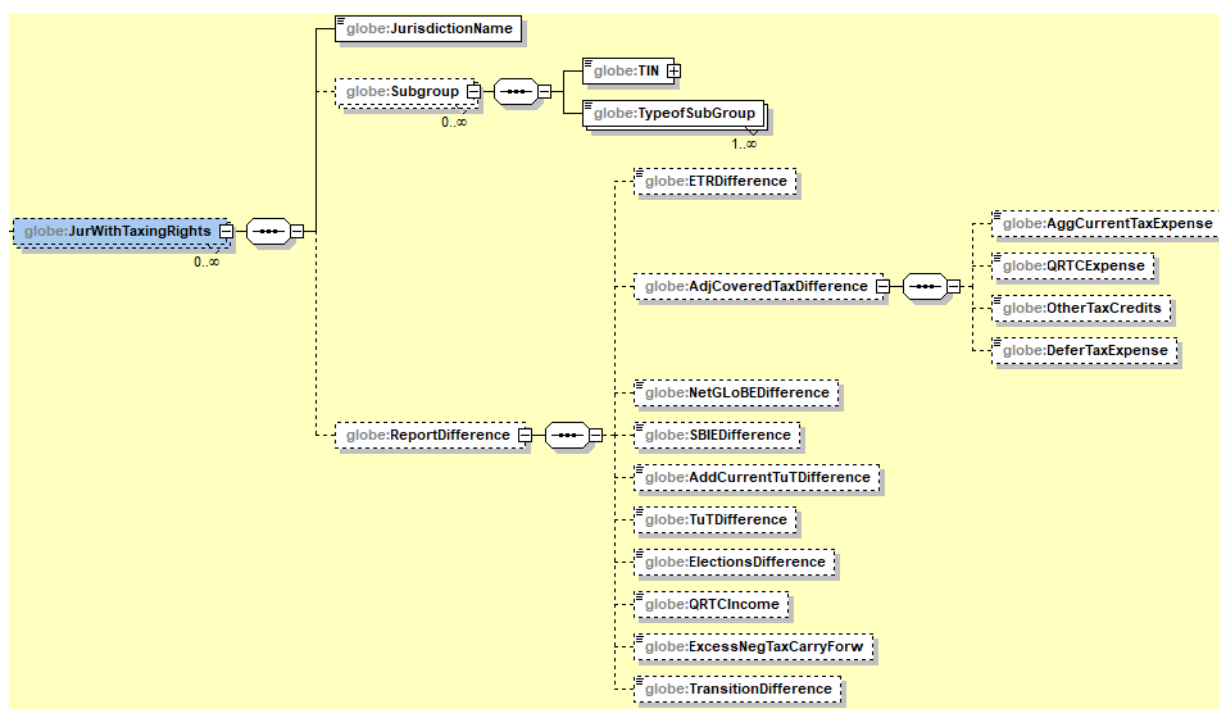
申告構成事業体は、第8.1.2条に基づいて、情報交換を通じて構成事業体の申告義務を満たすことを意図している国又は地域を識別しなければならない。

[注1.1.6]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Jurisdiction		2文字	iso:countrycode_Type	検証

Jurisdiction要素は、Jurisdiction Sectionが作成された国又は地域を反映する。無国籍構成事業体に関して報告する場合には、コードX5を使用する必要がある。

Jurisdiction with Taxing Rights



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
JurWithTaxingRights				オプション（必須）

繰返し可能なJurWithTaxingRights要素は、関連するReport Difference要素とともに、国又は地域セクションが作成される国又は地域に関して、GloBEルールに基づいて課税権を有する国又は地域を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
JurisdictionName		2文字	iso:countrycode_Type	検証

JurisdictionName要素は、国又は地域セクションが作成される国又は地域に関して、GloBEルールに基づいて課税権を有する国又は地域を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Subgroup				オプション（必須）

繰返し可能なSubgroup要素は、GloBE計算のペリメータがサブグループである場合に適用される。

[注1.4.2]

申告構成事業体は、JurisdictionName要素で識別された国又は地域に関して、課税権を有する国又は地域がない場合には、この要素を入力してはならない。

[注1.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

TIN要素は、個別のGloBE計算が適用される各サブグループの所有構造の最上位にある事業体のTINを反映する。

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

[注1.4.3]

申告構成事業体は、JurisdictionName要素で識別された国又は地域に関して、課税権を有する国又は地域がない場合には、この要素を入力してはならない。

[注1.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TypeofSubgroup			globe:TypeofSubGroup_EnumType	検証

繰返し可能なType of Subgroup要素は、以下の選択肢に基づいてサブグループのタイプを識別する：

- GIR1101 - 構成事業体
- GIR1102 - 被少数保有サブグループ
- GIR1103 - スタンドアローンMOCE
- GIR1104 - 投資事業体
- GIR1105 - JVグループ
- GIR1106 - 無国籍構成事業体

[注1.4.2]

申告構成事業体は、JurisdictionName要素で識別された国又は地域に関して、課税権を有する国又は地域がない場合には、この要素を入力してはならない。

[注1.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ReportDifference				オプション（必須）

申告構成事業体は、この申告書で報告された情報と、課税権を有する国又は地域の税務上の評価の一部として使用される情報との間に、報告すべき差異がある場合には、その国又は地域についてReport Differences要素及びそのサブ要素を入力しなければならない。以下の場合には、この申告書で報告される情報と、課税権を有する国又は地域の税務上の評価の一部として使用される情報との間に、報告すべき差異があることとなる：

- (i) 1.4.6で報告された範囲が、関連する課税権を有する国又は地域の国内法に基づいて入力されていた場合には、異なるものとなる。
- (ii) 1.4.7で報告された情報が、関連する課税権を有する国又は地域の国内法に基づいて入力されていた場合には、異なるものとなる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ETRDifference		1～6文字	globe:percentage	オプション（必須）

ETR Difference要素には、関連する課税権を有する国又は地域の国内法に基づいて識別された国若しくは地域又はサブグループの実効税率が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdjCoveredTaxDifference				オプション（必須）

AdjCoveredTaxDifference要素には、課税権を有する国又は地域の国内法に基づいて関連する国若しくは地域又はサブグループについて計算された調整後対象租税額の合計が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AggCurrentTaxExpense			xsd:integer	オプション（必須）

AggCurrentTaxExpense要素には、関連する課税権を有する国又は地域の国内法に基づいて識別された国若しくは地域又はサブグループに関する第4.3条の配分後の対象租税に係る当期税金費用の総額が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
QRTCExpense			xsd:integer	オプション（必須）

QRTCExpense要素には、関連する課税権を有する国又は地域の国内法に基づく、国若しくは地域又はサブグループの調整後対象租税額の計算における適格還付可能税額控除又は市場性移転可能税額控除に関して、第4.1.2条(d)に基づいて行われた調整が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

OtherTaxCredits			xsd:integer	オプション（必須）
-----------------	--	--	-------------	-----------

OtherTaxCredits要素には、（関連する課税権を有する国又は地域の国内法に基づく、国若しくは地域又はサブグループの）調整後対象租税額の計算における非適格還付可能税額控除、非市場性移転可能税額控除又は当期税金費用の減算として計上されないその他の税額控除に関して、第4.1.3条(b)に基づいて行われた調整が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DeferTaxExpense			xsd:integer	オプション（必須）

DeferTaxExpense要素は、関連する課税権を有する国又は地域の国内法に基づく、国若しくは地域又はサブグループの繰延税金費用の総額。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
NetGloBEDifference			xsd:integer	オプション（必須）

Net GloBE Income Difference要素には、関連する課税権を有する国又は地域の国内法に基づく、国若しくは地域又はサブグループのGloBE純所得又は損失が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
SBIEDifference		2文字	xsd:integer	オプション（必須）

SBIEDifference要素には、関連する課税権を有する国又は地域の国内法に基づく、国若しくは地域又はサブグループの実質ベース所得除外額が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AddCurrentTuTDifference			xsd:integer	オプション（必須）

AddCurrentTuTDifference要素には、関連する課税権を有する国又は地域の国内法に基づく、国若しくは地域又はサブグループの追加当期トップアップ税額が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TuTDifference		2文字	xsd:integer	オプション（必須）

TuTDifference要素には、関連する課税権を有する国又は地域の国内法に基づく、国若しくは地域又はサブグループの国別トップアップ税額が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ElectionsDifference			stf:StringMin1Max4000_Type	オプション（必須）

ElectionsDifference要素は、国若しくは地域又はサブグループについて報告された選択と、関連する課税権を有する国又は地域の国内法に基づく選択の適用可能性に違いがあるかどうかを特定

する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
QRTCIncome			xsd:integer	オプション（必須）

QRTCIncome要素には、関連する課税権を有する国又は地域の国内法に基づく、国若しくは地域又はサブグループのGloBE所得又は損失の計算における適格還付可能税額控除又は市場性移転可能税額控除に関して、第3.2.4項に基づいて行われた調整が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ExcessNegTaxCarryForw			xsd:integer	オプション（必須）

ExcessNegTaxCarryForw要素には、関連する課税権を有する国又は地域の国内法に基づく、国若しくは地域又はサブグループの翌期以降に残存する負の繰延税金超過残高が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TransitionDifference			xsd:boolean	オプション（必須）

TransitionDifference要素は、報告会計年度が国若しくは地域又はサブグループの移行年度であることを示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
LocalCurrency		3文字	iso:currCode_Type	オプション（必須）

Local Currency要素は、CFSの表示通貨と異なる場合には、その国又は地域の現地通貨での申告に使用されるiso:currCode_Typeを反映する。その金額は、完全な単位、すなわち小数点以下なしで入力しなければならない。その値が表現される通貨のコードは、ISOコードリスト4217から取得し、属性currCodeに追加しなければならない。

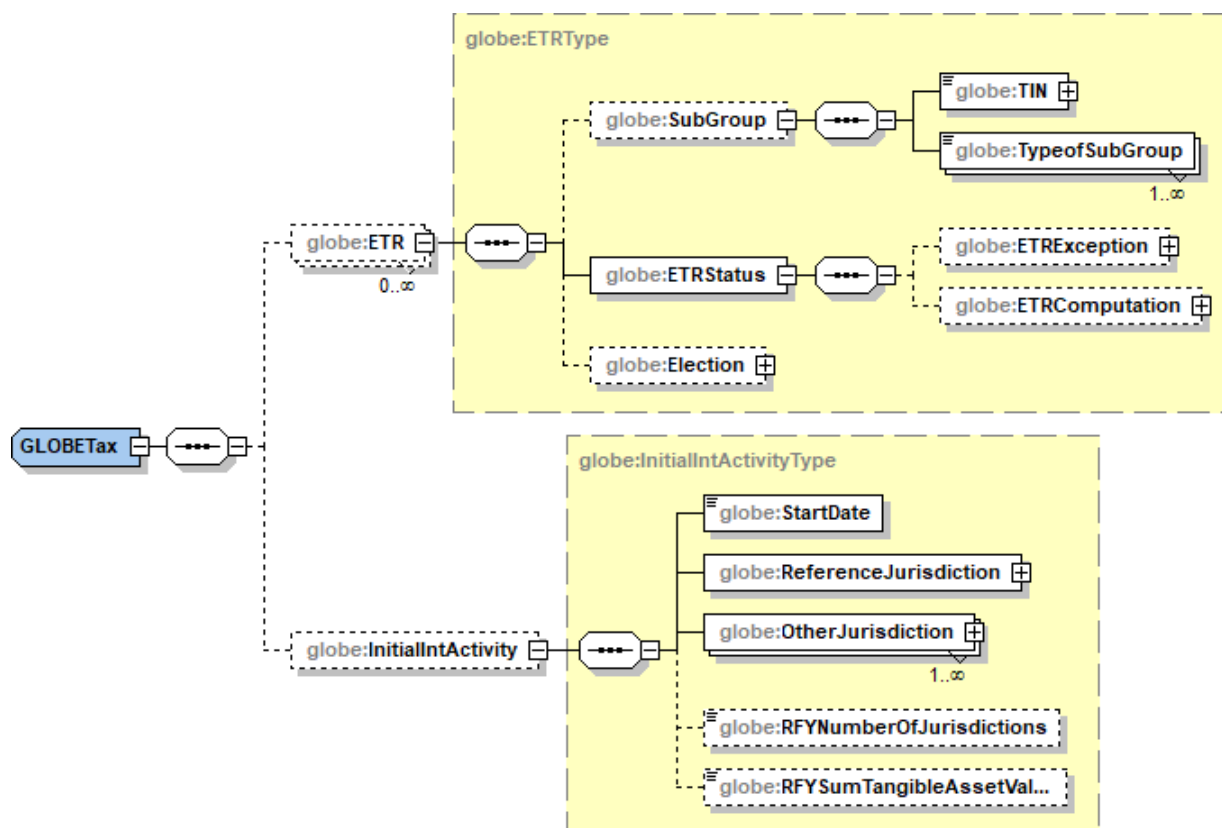
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
GloBETax			globe:GLOBETax	検証

GloBE Tax要素は、関連するセーフ・ハーバー及び除外が適用される国又は地域に関する開示、並びにそのようなセーフ・ハーバー及び除外が適用されない場合のETR計算に関する開示を反映する。

これは、InitialIntActivity及びETR要素で構成される。

GloBE Tax

このセクションでは、次の2つのサブ要素のとおり、ETRとInitialIntActivityを持つGloBETax要素の下の子要素を概説する。



Initial Int Activity

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
InitialIntActivity			globe:InitialIntActivityType	オプション（必須）

InitialIntActivity要素は、MNEグループが国際活動の初期段階にあることにより、MNEグループのUTPRの適用上、トップアップ税額がゼロに減額されることを示す。これは、MNEグループが除外適格であることを証明する複数の要素から構成されている。第9.3条が適用され、グループ事業体がQIIRの適用を求められない場合には、申告構成事業体は、第9.3条に基づいて関連するトップアップ税額がゼロに減額される国又は地域について、セクション2.1、2.2又はセクション3を入力する必要はない。

[注2.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
StartDate			xsd:date	検証

StartDate要素は、MNEグループがGloBEルールのスコープに初めて含まれた最初の会計年度の初日を示す。第9.3条は、2.3.1で報告された会計年度の初日から5年後以降に開始する会計年度には適用されない。GloBEルールが発効した時点でそのスコープに含まれるMNEグループについては、2.3.1で報告された日付は、UTPRルールが発効した日付に置き換えられなければならない。

[注2.3.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ReferenceJurisdiction				検証

Reference Jurisdiction要素は、第9.3.3条で定義される参照国又は地域を示す。これは、ResCountryCode及びTangible Asset Value要素で構成される。

[注2.3.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ResCountryCode			iso:countrycode_Type	検証

ResCountryCode要素は、参照国又は地域のISO 3166- 1 Alpha 2標準に基づく2文字のアルファベットの国コードを示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TangibleAssetValue			xsd:integer	検証

Tangible Asset Value要素は、MNEグループがGloBEルールのスコープに初めて含まれた会計年度における、参照国又は地域に所在する全ての構成事業体の有形資産の正味簿価を示す。

[注2.3.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
OtherJurisdiction				検証

繰返し可能なOther Jurisdiction要素は、MNEグループがGloBEルールのスコープに初めて含まれた会計年度における、参照国又は地域以外に所在する構成事業体の有形資産の正味簿価に関する情報を反映する。これは、ResCountryCode及びTangible Asset Value要素で構成される。

[注2.3.5.aおよび2.3.5.b]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ResCountryCode			iso:countrycode_type	検証

ResCountryCode要素は、MNEグループがGloBEルールのスコープに初めて含まれた会計年度における、構成事業体が所在する参照国又は地域以外の各国又は地域のISO 3166- 1 Alpha 2標準に

基づく2文字のアルファベットの国コードを示す。参照国又は地域以外の国又は地域数は5つまでとする。除外事業体でないJV、JV子会社又は投資事業体の所在地は、MNEグループが構成事業体を有する国又は地域数を決定するために考慮しない。

[注2.3.4および2.3.5.a]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TangibleAssetValue			xsd:integer	検証

Tangible Asset Valueは、MNEグループがGloBEルールのスコープに初めて含まれた会計年度における、参照国又は地域以外の各国又は地域に所在する全ての構成事業体の有形資産の正味簿価を示す。無国籍構成事業体の有形資産は、MNEグループがその有形資産が参照国又は地域に物理的に所在していることを証明する場合を除き、参照国又は地域以外の国又は地域に所在する構成事業体が保有するものとみなされる。除外事業体でないJV、JV子会社又は投資事業体の有形資産は、参照国又は地域以外の他の国又は地域に所在する全ての構成事業体の有形資産の正味簿価の合計を決定するために考慮しない。

[注2.3.5.b]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RFYNumberOfJurisdictions			xsd:integer	オプション（必須）

RFYNumberOfJurisdictions要素は、報告会計年度中にMNEグループが構成事業体を有する国又は地域数を示す。報告会計年度が、MNEグループがGloBEルールのスコープに初めて含まれた会計年度である場合には、この情報は、要素OtherJurisdictionで報告された情報から得られるため、報告してはならない。

[注2.3.6]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RFYSumTangibleAssetValue			xsd:integer	オプション（必須）

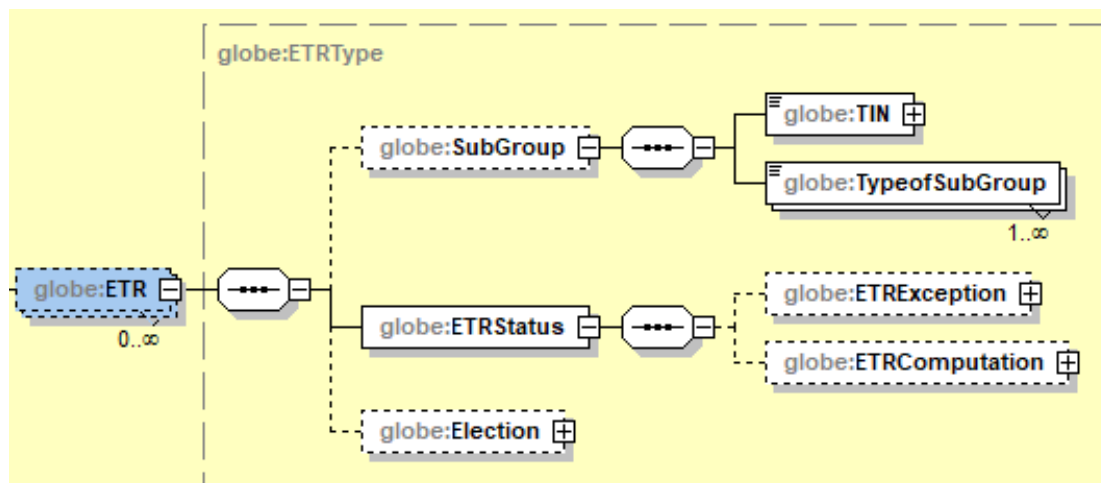
RFYSumTangibleAssetValue要素は、報告会計年度における、参照国又は地域以外の全ての国又は地域に所在する全ての構成事業体の有形資産の正味簿価の合計を示す。報告会計年度が、MNEグループがGloBEルールのスコープに初めて含まれた会計年度である場合には、この情報は、要素OtherJurisdictionで報告された情報から得られるため、報告してはならない。

[注2.3.7]

ETR

GloBE Tax要素は、関連するセーフ・ハーバー及び除外が適用される国又は地域に関する開示、並びにそのようなセーフ・ハーバー及び除外が適用されない場合のETR計算に関する開示を反映する。

これは、Sub Group、Election及びETR Status要素で構成される。



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ETR				オプション（必須）

SubGroup

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
SubGroup				オプション（必須）

SubGroup要素は、GloBE計算が行われ、又は国若しくは地域別のセーフ・ハーバー若しくは除外が適用されるサブグループがある場合には、そのサブグループを示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

TIN要素は、識別された各サブグループの所有構造の最上位にある事業体のTINを示す。

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TypeofSubGroup			globe:ETRTypeofSubGroup_EnumType	検証

繰返し可能なType of Sub Group要素は、GloBE計算のペリメータのために識別されたサブグループのタイプを示す。この要素では複数のサブグループを識別できる。使用可能な値は次のとおり：

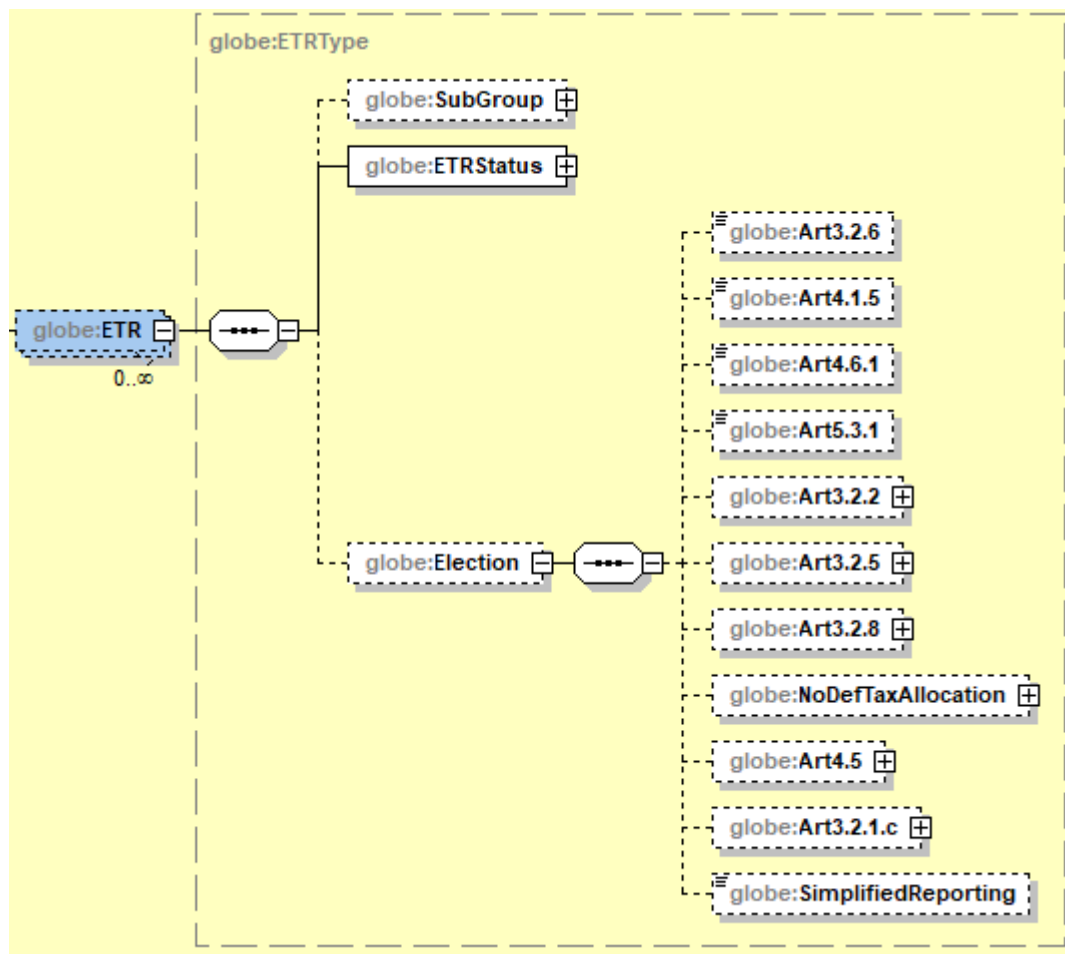
- GIR1601 - 構成事業体

- GIR1602 - 被少数保有サブグループ
- GIR1603 - スタンドアローンMOCE
- GIR1604 - 投資事業体
- GIR1605 - JVグループ
- GIR1606 - 無国籍構成事業体
- GIR1607 - 移行期間CbCRセーフ・ハーバー - 構成事業体
- GIR1608 - 移行期間CbCRセーフ・ハーバー - JVグループ（どのJVグループか特定すること）
- GIR1609 - 移行期間UTPRセーフ・ハーバー

スタンドアローンMOCEは、被少数保有グループに属さない被少数保有構成事業体である。投資事業体には、投資事業体として適格なJV又はJV子会社も含まれるが、第7.5条に基づく選択が行われた投資事業体は含まれない。被少数保有サブグループは、JVグループメンバーで構成される場合がある。無国籍構成事業体には、無国籍であるJVグループメンバーも含まれる。申告構成事業体は、各サブグループの関連する情報を報告しなければならない。

[注2.1.2及び3.1.2]

Election



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Election				オプション

Election要素は、適用される国又は地域の選択（すなわち、国又は地域に所在する全ての構成事業体（又はJVグループメンバー）に適用する選択）を反映する。この要素と、親要素の下にある各サブ要素はオプションである。

[注3.2.3.1]

Art3.2.6

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art3.2.6		1文字	xsd:boolean	オプション（必須）

Art3.2.6要素は、資産売却益総額選択の適用を示す。

Art4.1.5

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art4.1.5		1文字	xsd:boolean	オプション（必須）

Art4.1.5要素は、負の税金費用の繰延の適用を示す。

Art 4.6.1

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art4.6.1		1文字	xsd:boolean	オプション（必須）

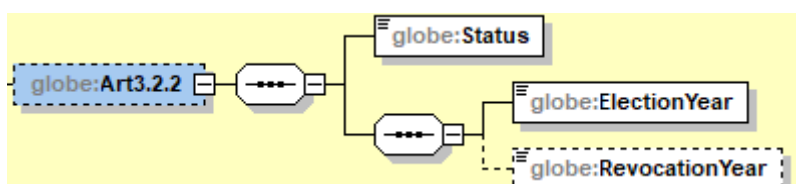
Art4.6.1要素は、影響の軽微な対象租税の減少の選択の適用を示す。

Art 5.3.1

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art5.3.1		1文字	xsd:boolean	オプション（必須）

Art5.3.1要素は、実質ベース所得除外を適用しない選択を示す。

Art 3.2.2



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art3.2.2				オプション（必須）

Art3.2.2要素は、株式報酬選択の適用を示す。5年選択のため、Status、Election Year及びRevocation Year要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Status		1文字	xsd:boolean	検証

Status要素はブール値であり、許容される入力データ型はTrue又はFalseである。Trueの場合には、ElectionYear及びRevocationYear要素を必ず入力しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ElectionYear			xsd:date	検証

Election Year要素は選択年度を示す。

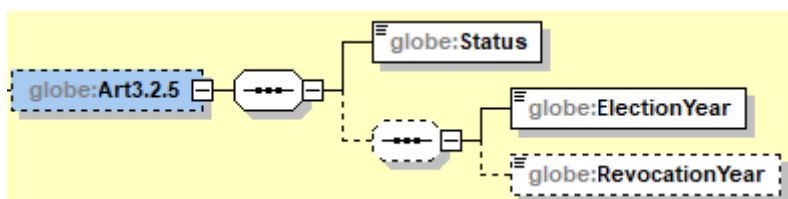
[注3.2.3.1.a.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RevocationYear			xsd:date	オプション（必須）

Revocation Year要素は、選択を取り止めた年度（もしあれば）を示す。申告構成事業体は、取消年度に申告されるGloBE情報申告書及び取消年度後4会計年度に申告されるGloBE情報申告書において、取消年度を報告しなければならない。

[注3.2.3.1.a.4]

Art 3.2.5



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art3.2.5				オプション（検証）

Art3.2.5要素は、実現原則選択の適用を示す。5年選択のため、Status、Election Year及びRevocation Year要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Status		1文字	xsd:boolean	検証

Status要素はブール値であり、許容される入力データ型はTrue又はFalseである。Trueの場合には、ElectionYear及びRevocationYear要素を必ず入力しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ElectionYear			xsd:date	検証

Election Year要素は選択年度を示す。

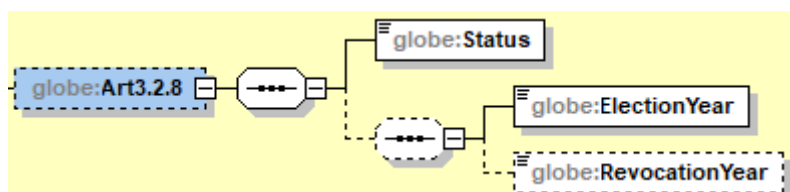
[注3.2.3.1.a.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RevocationYear			xsd:date	オプション（必須）

Revocation Year要素は、選択を取り止めた年度（もしあれば）を示す。申告構成事業体は、取消年度及び取消年度後4会計年度に申告されるGloBE情報申告書において、取消年度を報告しなければならない。

[注3.2.3.1.a.4]

Art 3.2.8



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art3.2.8				オプション（検証）

Art3.2.8要素は、グループ内取引選択の適用を示す。5年選択のため、Status、Election Year及びRevocation Year要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Status		1文字	xsd:boolean	検証

Status要素はブール値であり、許容される入力データ型はTrue又はFalseである。Trueの場合には、ElectionYear及びRevocationYear要素を必ず入力しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ElectionYear			xsd:date	検証

Election Year要素は選択年度を示す。

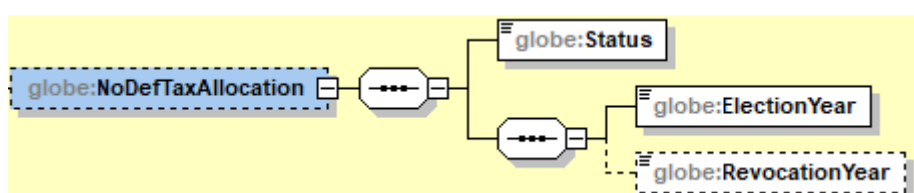
[注3.2.3.1.a.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	必要条件
RevocationYear			xsd:date	オプション（必須）

Revocation Year要素は、選択を取り止めた年度（もしあれば）を示す。申告構成事業体は、取消年度及び取消年度後4会計年度に申告されるGloBE情報申告書において、取消年度を報告しなければならない。

[注3.2.3.1.a.4]

No Def Tax Allocation



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

NoDefTaxAllocation				オプション（検証）
--------------------	--	--	--	-----------

NoDefTaxAllocation要素は、国境を越えた繰延税金の非配分選択の適用を示す。5年選択のため、Status、Election Year及びRevocation Year要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Status		1文字	xsd:boolean	検証

Status要素はブール値であり、許容される入力データ型はTrue又はFalseである。Trueの場合には、ElectionYear及びRevocationYear要素を必ず入力しなければならない。

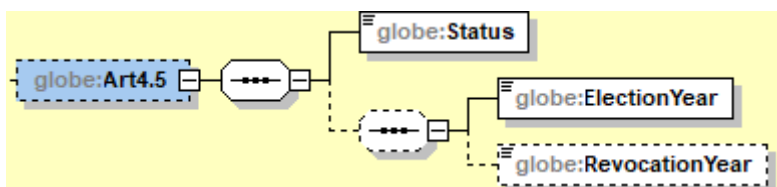
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ElectionYear			xsd:date	検証

Election Year要素は選択年度を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RevocationYear			xsd:date	オプション（必須）

Revocation Year要素は、選択を取り止めた年度（もしあれば）を示す。申告構成事業体は、取消年度及び取消年度後4会計年度に申告されるGloBE情報申告書において、取消年度を報告しなければならない。

Art 4.5



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art4.5				オプション（検証）

Art4.5要素は、GloBE損失選択の適用を示す。この選択は、この選択が行われる国又は地域を含む最初の GloBE情報申告でのみ行うことができる。その後、選択を取り止めた場合には、申告構成事業体は、同じ国又は地域に対して新たな選択を行うことはできない。これは、Status、Election Year及びRevocation Year要素で構成される。

[注3.2.3.1.a.5.i]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Status		1文字	xsd:boolean	検証

Status要素はブール値であり、許容される入力データ型はTrue又はFalseである。Trueの場合には、ElectionYear及びRevocationYear要素を必ず入力しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ElectionYear			xsd:date	検証

Election Year要素は選択年度を示す。

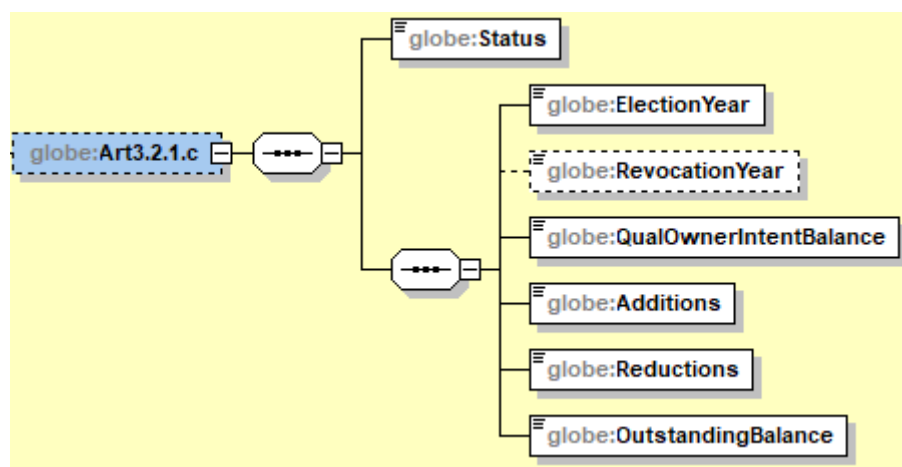
[注3.2.3.1.a.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RevocationYear			xsd:date	オプション（必須）

Revocation Year要素は、選択を取り止めた年度（もしあれば）を示す。申告構成事業体は、取消年度及び取消年度後4会計年度に申告されるGloBE情報申告書において、取消年度を報告しなければならない。

[注3.2.3.1.a.6]

Art3.2.1.c



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art3.2.1.c				オプション（検証）

Art 3.2.1c要素は、株式資本包含選択の適用を示す。5年選択のため、Status、Election Year及びRevocation Year要素で構成される。また、QualOwnerIntentBalance、Additions、Reductions及びOutstanding Balance要素で構成され、株式資本包含選択に関する資本損益の包含を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Status		1文字	xsd:boolean	検証

Status要素はブール値であり、許容される入力データ型はTrue又はFalseである。Trueの場合に

は、ElectionYear及びRevocationYear要素を必ず入力しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ElectionYear			xsd:date	検証

Election Year要素は選択年度を示す。

[注3.2.3.1.a.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RevocationYear			xsd:date	オプション（必須）

Revocation Year要素は、選択を取り止めた年度（もしあれば）を示す。申告構成事業体は、取消年度及び取消年度後4会計年度に申告されるGloBE情報申告書において、取消年度を報告しなければならない。

[注3.2.3.1.a.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
QualOwnerIntentBalance			xsd:integer	検証

QualOwnerIntentBalance要素は、過年度からの適格所有持分に係る所有者の投資残高、すなわち、受領によって減算されていない、その国又は地域の適格所有持分に係る所有者の投資残高を示す。

[注3.2.3.1.b.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Additions			xsd:integer	検証

Additions要素は、その国又は地域の報告会計年度における適格所有持分に係る所有者の投資残高の増加を示す。

[注3.2.3.1.b.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Reductions			xsd:integer	検証

Reductions要素は、関連する執行ガイダンスに従い、その国又は地域の報告会計年度における適格所有持分に係る所有者の投資残高の減少を示す。減少額が所有者の投資残高を上回り、投資残高がゼロを下回ることはない。

[注3.2.3.1.b.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

OutstandingBalance			xsd:integer	検証
--------------------	--	--	-------------	----

OutstandingBalance要素は、適格所有持分に係る所有者の投資残高、すなわち過年度からの残高と報告会計年度の適格所有持分に関する受領を控除した後の適格所有持分に係る所有者の投資の増加額との合計を示す。

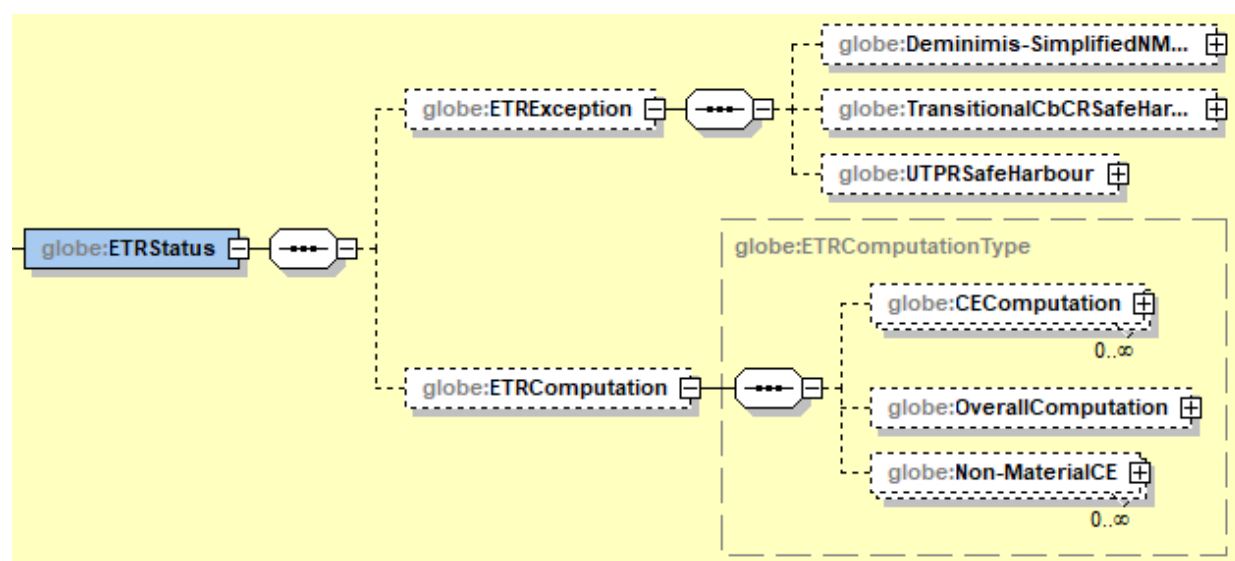
[注3.2.3.1.b.5]

Simplified Reporting

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
SimplifiedReporting		1文字	xsd:boolean	オプション（検証）

Simplified Reporting要素は、その国又は地域に関する情報が簡素化報告の対象であることを示す。ブール型要素のため、許容される入力データ型はTrue又はFalseである。

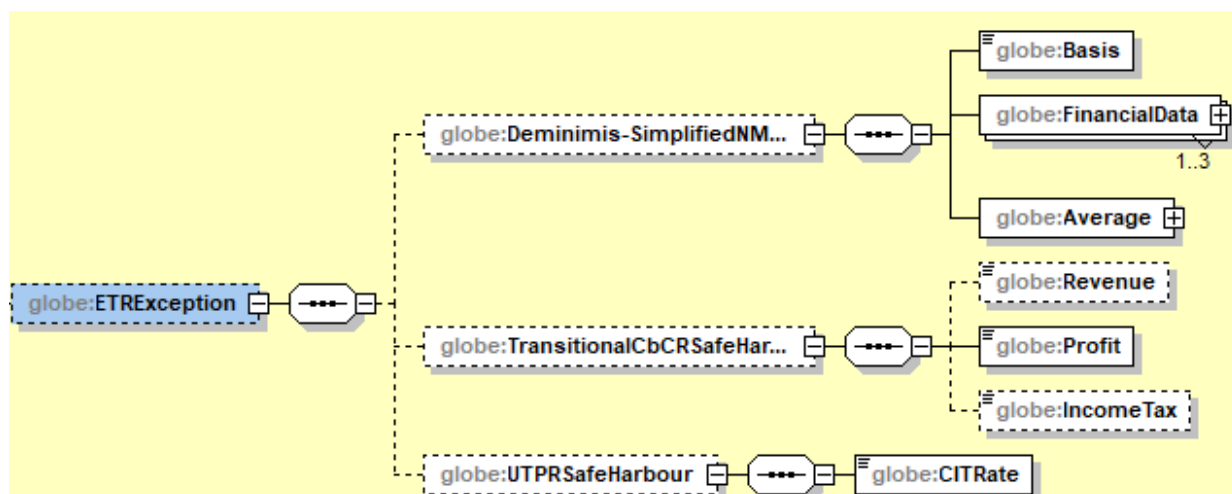
ETR Status



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ETRStatus				検証

ETR Status要素は、国又は地域ごとのセーフ・ハーバーと除外の適用を反映し、又はそのような例外が適用されない場合のETR計算を反映する。これはETR Exception及びETR Computation要素で構成される。

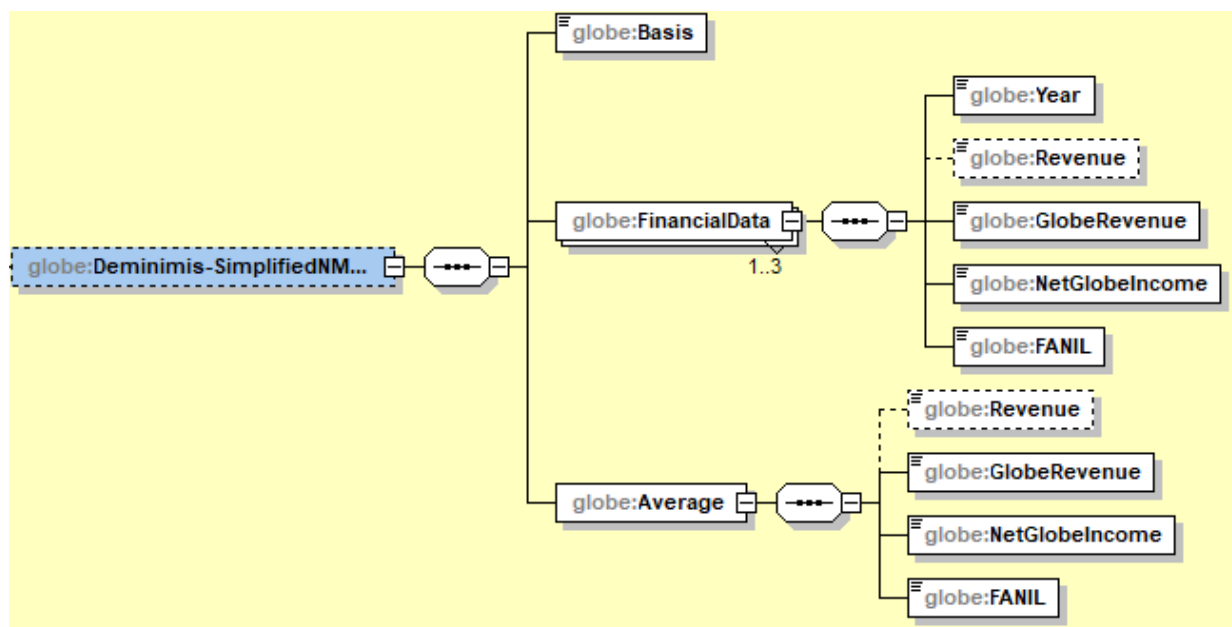
ETR Exception



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ETRException				オプション（必須）

ETR Exception要素は、国又は地域ごとのセーフ・ハーバーと除外の適用を反映する。Deminimis、TransitionalCbCRSafeHarbour及びUTPRSafeHarbour要素で構成される。

Deminimis/SimplifiedNMCECalc



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Deminimis-SimplifiedNMCECalc				オプション（必須）

Deminimis-SimplifiedNMCECalc要素は、デミニマス除外の選択及び非重要構成事業体に係る簡素化計算を反映し、Financial Date及びAverage要素で構成される。適格な国又は地域に関してデ

ミニマス除外が適用される場合には、その国又は地域についてセクション3.2.4.6（該当する場合）及び3.3.3（追加当期トップアップ税額）を入力しなければならない。セクション2.2.1.1のオプション(a)に基づいて非重要構成事業体の簡素化計算が利用され、非重要構成事業体の簡素化計算がセクション2.1.3で識別されるサブグループに属する構成事業体の一部にのみ適用される場合には、申告構成事業体はFinancial Date及びAverage要素も入力しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
basis			globe:DeminimisSimpleBasis_EnumType	検証

basis要素は、このセクションを入力する理由を示す。使用可能な値は次のとおり：

- GIR2901 - デミニマス選択
- GIR2902 - 非重要構成事業体に係る簡素化計算

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
FinancialData				検証

繰返し可能なFinancial Data要素には、デミニマス除外の適用に関連するデータポイントが含まれ、Year、Revenue、GloBE Revenue、Net Globe Income及びFANIL要素で構成される。この要素は最大3回まで繰返すことができ、3年間の報告、すなわち報告会計年度、1期前の会計年度（該当する場合）、2期前の会計年度（該当する場合）及び3年間の平均を捕捉することができる。

[注2.2.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Year			xsd:date	検証

Year要素は残りのデータポイントが適用する年度、すなわち、報告会計年度、1期前の会計年度（該当する場合）及び2期前の会計年度（該当する場合）をそれぞれ示す。必要に応じて、3会計年度の平均は、対応する収入並びに所得（又は損失）計算を、暦年に対して前会計年度が占める期間に比例して調整することにより計算しなければならない。

[注2.2.2.a-c及び2.2.2.d]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Revenue			xsd:integer	オプション（必須）

Revenue要素は、その国又は地域に所在する構成事業体又はJVグループメンバーの、第3章に基づく調整前の収入の合計を示す。

[注2.2.2.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
GlobeRevenue			xsd:integer	検証

Globe Revenue要素は、その国又は地域に所在する構成事業体又はJVグループメンバーのGloBE収入の合計を示す。

[注2.2.2.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
NetGlobeIncome			xsd:integer	検証

Net Globe Income要素は、その国又は地域に所在する構成事業体又はJVグループメンバーのGloBE所得又は損失の合計を示す。

[注2.2.2.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
FANIL			xsd:integer	検証

FANIL要素は、その国又は地域に所在する構成事業体又はJVグループメンバーのFANILの合計を示す。

[注2.2.2.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Average				検証

Average要素には、デミニマス除外の適用に関連するデータポイントが含まれ、Revenue、GloBE Revenue、Net Globe Income及びFANIL要素で構成される。この要素とそのサブ要素は、関連する3会計年度（最大）の平均額を反映する。

[注2.2.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Revenue			xsd:integer	オプション（必須）

Revenue要素は、その国又は地域に所在する構成事業体又はJVグループメンバーの、第3章に基づく調整前の収入の平均を示す。

[注2.2.2.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
GlobeRevenue			xsd:integer	検証

Globe Revenue要素は、その国又は地域に所在する構成事業体又はJVグループメンバーのGloBE

収入の平均を示す。

[注2.2.2.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
NetGlobeIncome			xsd:integer	検証

Net Globe Income要素は、その国又は地域に所在する構成事業体又はJVグループメンバーのGloBE所得又は損失の平均を示す。

[注2.2.2.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
FANIL			xsd:integer	検証

FANIL要素は、その国又は地域に所在する構成事業体又はJVグループメンバーのFANILの平均を示す。

[注2.2.2.3]

Transitional CbCR Safe Harbour

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TransitionalCbCRSafeHarbour				オプション（必須）

Transitional CbCR Safe Harbour要素は、移行期間CbCRセーフ・ハーバーの適用を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Revenue			xsd:integer	オプション（必須）

Revenue要素は、報告会計年度のMNEグループの適格CbCレポート（又はJVグループメンバーの適格財務諸表）で報告されたその国又は地域の総収入を示す。この要素は、デミニマス・テストが適用される場合にのみ入力する必要がある。

[注2.2.1.3.a.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Profit			xsd:integer	検証

Profit要素は、報告会計年度のMNEグループの適格CbCレポート（又はJVグループメンバーの適格財務諸表）で報告されたその国又は地域の税引前利益（損失）を、セーフ・ハーバー及びペナルティ・リリーフに関する文書に規定された方法論に従って示す。

[注2.2.1.3.a.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

IncomeTax			xsd:integer	オプション（必須）
-----------	--	--	-------------	-----------

Income Tax要素は、セーフ・ハーバー及びペナルティ・リリーフに関する文書に定義されている、報告会計年度の関連する構成事業体又はJVグループメンバーの簡素化対象租税額を示す。この要素は、簡素化ETRテストが適用される場合にのみ入力する必要がある。

[注2.2.1.3.a.3]

UTPR Safe Harbour

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UTPRSafeHarbour				オプション（必須）

UTPRSafeHarbour要素は、移行期間UTPRセーフ・ハーバーの適用を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
CITRate		1～6文字	globe:percentage	検証

CITRate要素は、合意されたセーフ・ハーバーに従って、UPE国又は地域の法人税率を反映する。

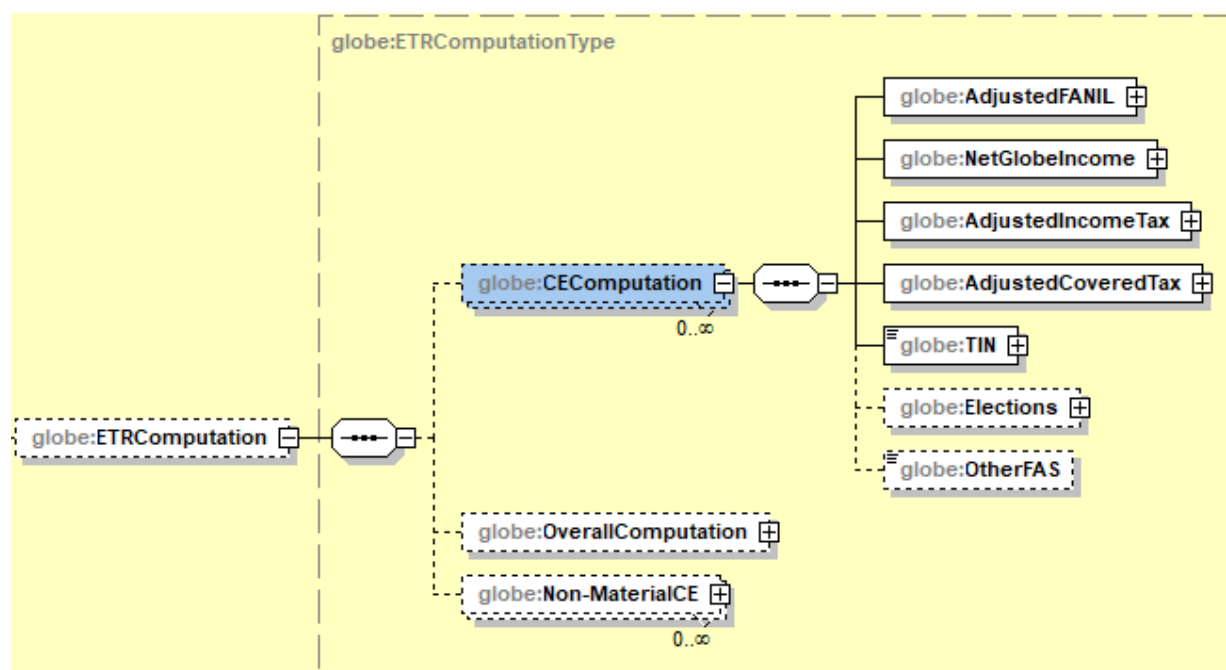
[注2.2.1.3.b.1]

ETR Computation

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ETRComputation			globe:ETRComputationType	オプション（必須）

ETR Computation要素は、国又は地域ベースと事業体ベースの両方のGloBE計算を反映する。これは、CE Computation、Overall Computation及びNon-material CE要素で構成される。

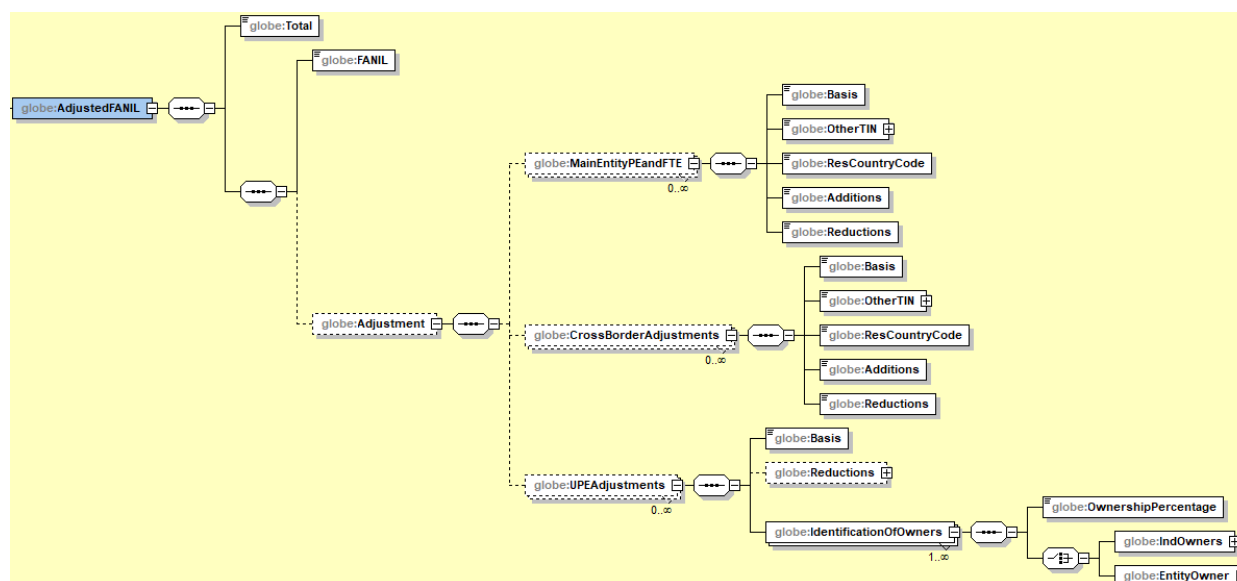
CE Computation



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
CEComputation				オプション（必須）

繰返し可能なCEComputation要素は、事業体ベースのGloBE計算を反映する。移行期間簡素化国別報告枠組みが適用されている場合には、このセクションは注3.2.4.a.1に従って入力しなければならない。これは、Adjusted FANIL、Net GloBE Income、Adjusted Income Tax、Adjusted Covered Tax、TIN、Elections及びOther FAS要素で構成される。

Adjusted FANIL



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdjustedFANIL				検証

Adjusted FANIL要素は、GloBE所得の計算前にCE又はJVグループメンバーのFANILに対して求められる調整、すなわち主要事業体とPEの間及びFTEからの国境を越えた所得又は損失の配分、並びに国境を越えた調整を反映する。

[注3.2.4.1.b、3.2.4.1.c及び3.2.4.1.d]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は、調整後のFANILの金額を反映する。

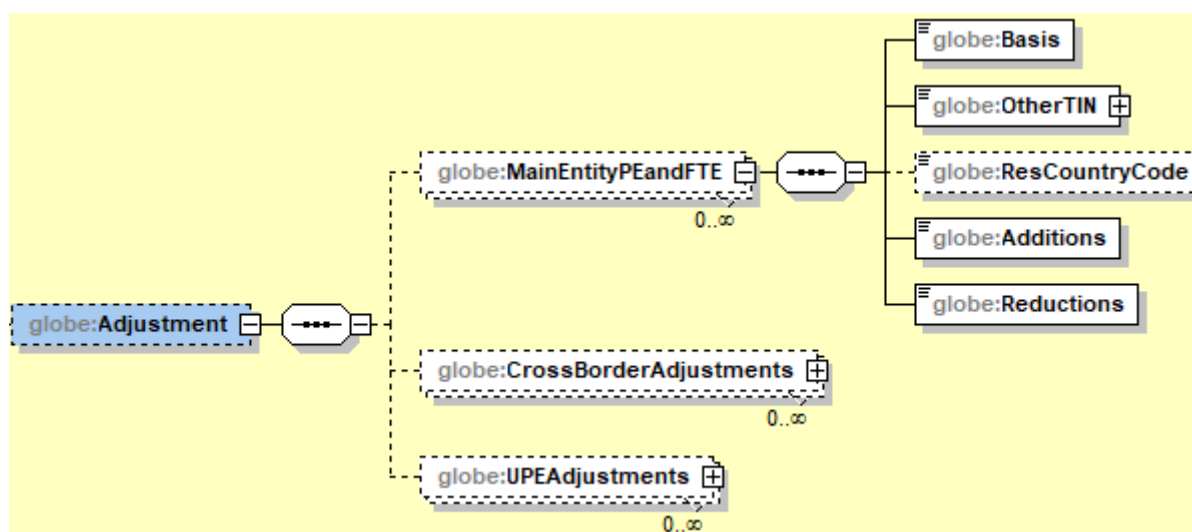
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
FANIL			xsd:integer	検証

FANIL要素は、関連する調整前のCE又はJVグループメンバーのFANILを示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Adjustment				オプション（必須）

Adjustment要素は、MainEntityPEandFTE、Cross Border Adjustments、及びUPE Adjustments要素で構成される。

MainEntityPEandFTE



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
MainEntityPEandFTE				オプション（必須）

繰返し可能なMainEntityPEandFTE要素は、主要事業体とPEの間及びFTEからの国境を越えた所得又は損失の配分を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Basis			globe:MainEntityPEandFTEBasis_EnumType	検証

Basis要素は、調整の根拠、すなわち第3.4条、第3.5.3条、第3.5.1条(a)及び／又は第3.5.1条(b)を示す。調整のタイプごとに、構成事業体又はJVグループメンバーのFANILに対するそれぞれの加算又は減算を報告しなければならない。複数の調整が適用される場合には、各オプションごとに1行ずつ報告し、関連するオプションを以下の順序で報告しなければならない：

- GIR1701 - 第3.4条
- GIR1702 - 第3.5.3条
- GIR1703 - 第3.5.1条(a)
- GIR1704 - 第3.5.1条(b)

[注3.2.4.1.b.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
OtherTIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

Other TIN要素は、その国又は地域における対象租税のために使用される他の構成事業体、JV又はJV子会社のTINを指定し、TINが利用できない場合には、企業／会社登録コード／番号などの機能的同等物を示す。

[注3.2.4.1.b.4]

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ResCountryCode		2文字	iso:CountryCode_Type	オプション（必須）

ResCountryCode要素は、他の構成事業体又はJVグループメンバーの国又は地域を（ISO 3166-1 Alpha 2標準に基づく2文字のアルファベットの国コードの形式で）示す。

申告構成事業体は、無国籍構成事業体について「無国籍」と報告しなければならない。無国籍構成事業体に関して報告する場合には、コード「X5」を使用する必要がある。

[注3.2.4.1.b.5]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Additions			xsd:integer	検証

Additions要素は、上記で識別されたCE又はJVグループメンバーのGloBE所得を増加させる調整

額を示す。

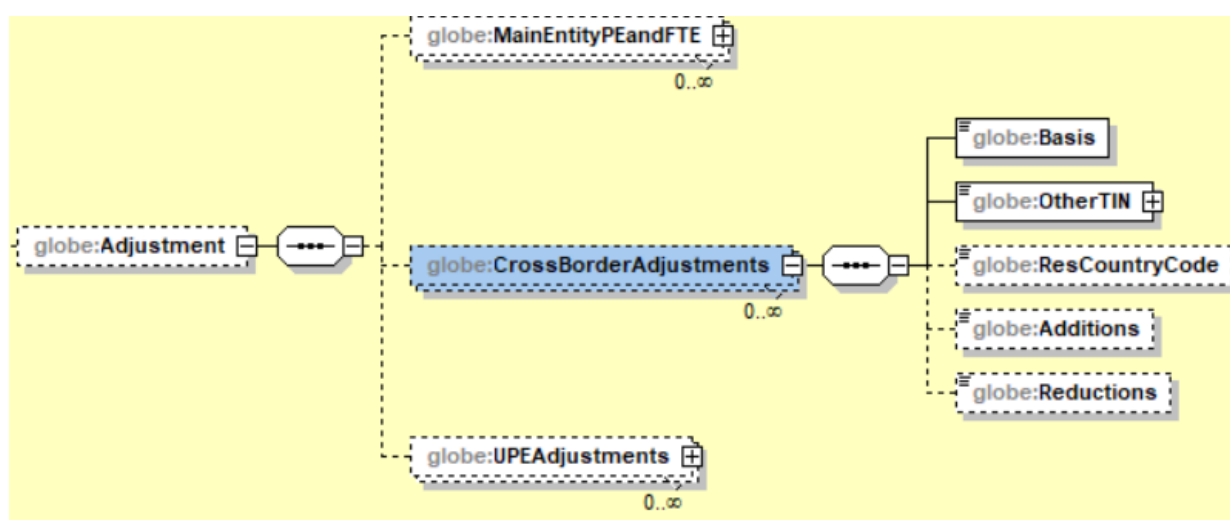
[注3.2.4.1.b.6]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Reductions			xsd:integer	検証

Reductions額は、上記で識別されたCE又はJVグループメンバーのGloBE所得を減少させる調整額を示す。

[注3.2.4.1.b.7]

Cross Border Adjustment



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
CrossBorderAdjustments				オプション（必須）

繰返し可能なCross Border Adjustments要素は、FANILに対して求められる国境を越えた調整を反映し、以下の要素で構成される。

[注3.2.4.1.c]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Basis			globe:CrossBorderAdjustments_EnumType	検証

申告構成事業体は、調整が第3.2.3条又は第3.2.7条のいずれに関連するかを識別しなければならない。

- GIR1801 - 第3.2.3条
- GIR1802 - 第3.2.7条

[注3.2.4.1.c.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
OtherTIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

Other TIN要素は、識別された調整に関連する他のCE又はJVグループメンバーのTINを示す。TINが利用できない場合には、申告構成事業体は、企業／会社登録コード／番号のような機能的同等物を報告しなければならない。

[注3.2.4.1.c.3]

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ResCountryCode			iso:CountryCode_Type	オプション（必須）

ResCountryCode要素は、調整に関連する他の構成事業体又はJVグループメンバーの国若しくは地域を（ISO 3166-1 Alpha 2標準に基づく2文字のアルファベットの国コードの形式で）示す。申告構成事業体は、無国籍構成事業体について「無国籍」と報告しなければならない。無国籍構成事業体に関する報告の場合には、コード「X5」を使用する必要がある。

[注3.2.4.1.c.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Additions			xsd:integer	オプション（必須）

Additions要素は、上記で識別されたCE又はJVグループメンバーのGloBE所得を増加させる調整額を示す。

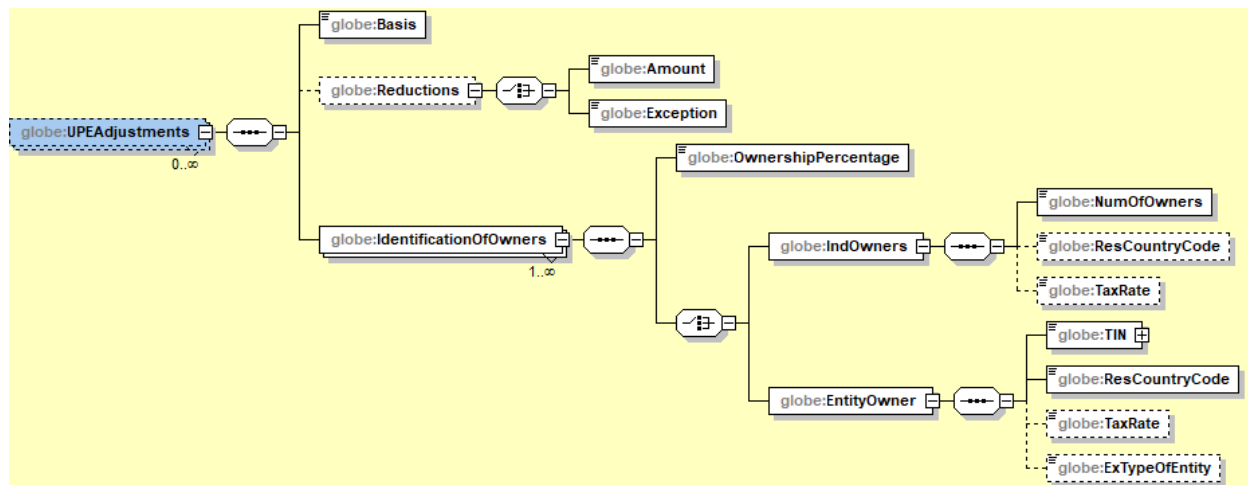
[注3.2.4.1.c.5]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Reductions			xsd:integer	オプション（必須）

Reductions要素は、上記で識別されたCE又はJVグループメンバーのGloBE所得を減少させる調整額を示す。

[注3.2.4.1.c.6]

UPE Adjustments



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UPEAdjustments				オプション（必須）

この繰返し可能なUPEAdjustments要素は、第7.1条又は第7.2条に基づくUPEのGloBE所得に対する調整を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Basis			globe:UPEAdjustmentsBasis_EnumType	検証

Basis要素は、調整の根拠、すなわち第7.1.1条、第7.1.2条、第7.2.1条、第7.2.2条を、関連するサブパラグラフの文字及び番号とともに示す。

- GIR1901 - 第7.1.1条(a) (i)
- GIR1902 - 第7.1.1条(a) (ii)
- GIR1903 - 第7.1.1条(b)
- GIR1904 - 第7.1.1条(c)
- GIR1905 - 第7.2.1条(a) (i)
- GIR1906 - 第7.2.1条(a) (ii)
- GIR1907 - 第7.2.1条(a) (iii)
- GIR1908 - 第7.2.1条(b)
- GIR1909 - 第7.2.1条(c)
- GIR1910 - 第7.2.2条

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Reductions				オプション（必須）

Reductions要素は、Amount及びException要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Amount			xsd:integer	検証（選択）

Amount要素は、上記で識別されたCE又はJVグループメンバーのGloBE所得を減少させる調整額を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Exception			xsd:boolean	検証（選択）

Exception要素は、減算に関する報告に対する例外が適用されることを示す。

[注3.2.4.1.d.5]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
IdentificationOfOwners				検証

繰返し可能なIdentification Of Owners要素には、所有持分の保有者に関する識別情報が含まれる。これは、Ownership Percentage並びにIndOwners若しくはEntity Ownerのいずれかの要素で構成される。

[注3.2.4.1.d.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
OwnershipPercentage		1～6文字	globe:percentage	検証

Ownership Percentage要素は、3.2.4.1.d.3で識別された各保有者が直接に有するUPEの所有持分を（パーセンテージで）示す。

[注3.2.4.1.d.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
IndOwners				検証（選択）

IndOwners要素は、所有持分を自然人が有していることを反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
NumOfOwners			xsd:integer	検証

NumOfOwners要素は、自然人を合算して識別する。申告構成事業体は、GloBE所得の減算が適用される所有持分の保有者（又は配当受領者）を識別しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ResCountryCode		2文字	iso:CountryCode_Type	オプション（必須）

ResCountryCode要素は、個人所有者の居住地国を（ISO 3166-1 Alpha 2標準に基づく2文字の

アルファベット国コードの形式で) 示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TaxRate		1～6文字	globe:percentage	オプション (必須)

TaxRate要素は、所有者の税率を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
EntityOwner				検証 (選択)

Entity Owner要素は、事業体オーナーの識別を容易にし、TIN、ResCountryCode、Tax Rate及びExTypeofEntity要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

第7.1条又は第7.2条が適用される場合には、申告CEは「UPE」と報告しなければならない。第7.1.4条が適用される場合には、TIN要素は、第7.1条が適用される恒久的施設のTIN、又はTINが利用できない場合には、企業／会社登録コード／番号のような機能的同等物を示す。第7.2.3条が適用される場合には、第7.2条が適用される構成事業体のTIN、又はTINが利用できない場合には、企業／会社登録コード／番号などの機能的同等物を示す。第7.1条又は第7.2条がJVグループメンバーに適用される場合には、申告構成事業体はJVグループメンバーのTINを報告しなければならない。

[注3.2.4.1.d.1]

TINが入力されない場合には、値NOTINを提供する必要がある。

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ResCountryCode		2文字	iso:CountryCode_Type	検証

ResCountryCode要素は、事業体オーナーの居住地国を (ISO 3166-1 Alpha 2標準に基づく2文字のアルファベットの国コードの形式で) 示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TaxRate		1～6文字	globe:percentage	オプション (必須)

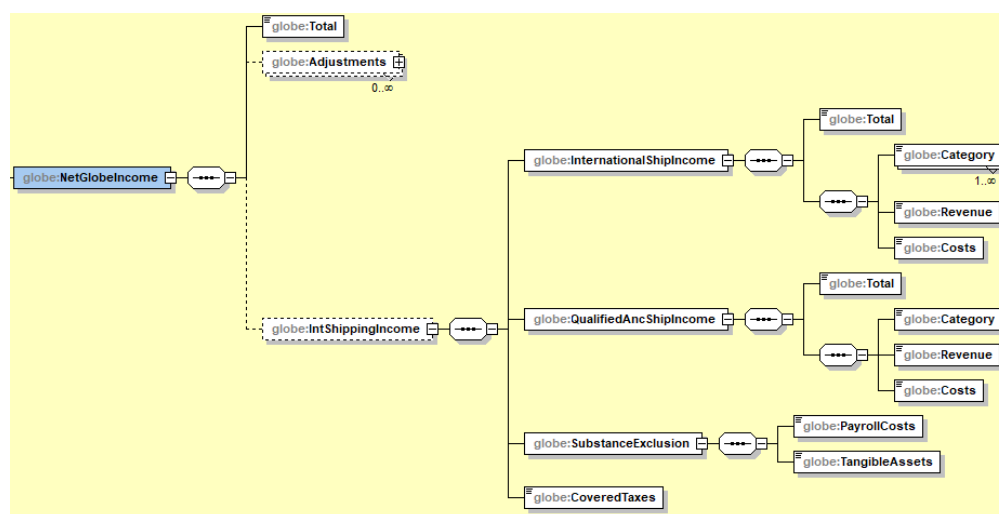
TaxRate要素は、所有者の税率を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ExTypeOfEntity			globe:ExTypeOfEntity_EnumType	オプション (必須)

ExTypeOfEntity要素は、事業体オーナーが除外事業体である理由を示す。

- GIR2801 - 政府機関
- GIR2802 - 国際機関
- GIR2803 - 非営利団体
- GIR2804 - 年金基金
- GIR2805 - 年金サービス事業体でない年金基金

Net Globe Income



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
NetGlobeIncome				検証

Net Globe Income要素は、各構成事業体又はJVグループメンバーのFANILに対して行われた全ての調整の内訳を提供する。これは、Total、Adjustments及びInternational Shipping Income要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は、関連する調整後のGloBE純所得である。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Adjustments				オプション（必須）

繰返し可能なAdjustments要素は、第3.2条に従って行われた財務会計純損益に対する調整を反映する。これは、Amount及びAdjustment Item要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

Amount			xsd:integer	検証
--------	--	--	-------------	----

Amount要素は、調整額を反映する。調整ごとに、加算と減算を個別に識別しなければならないが、移行期間簡素化国別報告枠組みが適用されている場合には、全ての調整を純額ベースで報告することができる。加算調整は正の金額、減算調整は負の金額を入力する必要がある。この要素は2回まで繰り返すことができる。

[注3.2.4.1.a.3.n]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdjustmentItem			globe:AdjustmentItem_EnumType	検証

AdjustmentItem要素は、以下のリストから選択される調整のタイプを反映する：

- GIR2001 - 税金費用純額 - 第3.2.1条(a)
- GIR2002 - 除外配当 - 第3.2.1条(b)
- GIR2003 - 除外資本損益 - 第3.2.1条(c)
- GIR2004 - 再評価法に含まれる損益 - 第3.2.1条(d)
- GIR2005 - 第6.3条に基づいて除外された資産及び負債の処分損益 - 第3.2.1(e)
- GIR2006 - 非対象外国為替差損益 - 第3.2.1条(f)
- GIR2007 - 政策上の否認費用 - 第3.2.1条(g)
- GIR2008 - 過去の誤謬 - 第3.2.1条(h)
- GIR2009 - 会計処理基準の変更 - 第3.2.1項(h)
- GIR2010 - 発生年金費用 - 第3.2.1条(i)
- GIR2011 - 債務免除益 - 第3.2.1条
- GIR2012 - 株式報酬 - 第3.2.2条
- GIR2013 - 独立企業間価格調整 - 第3.2.3条
- GIR2014 - 適格還付有税額控除又は市場性譲渡可能税額控除 - 第3.2.4条
- GIR2015 - 実現原則を用いた損益の選択 - 第3.2.5条
- GIR2016 - 調整後資産売却益に係る選択 - 第3.2.6条
- GIR2017 - グループ内金融取決めに係る費用 - 第3.2.7条
- GIR2018 - 同一国又は地域内のグループ内取引に係る選択 - 第3.2.8条
- GIR2019 - 保険会社が負担する租税で保険契約者へ請求するもの - 第3.2.9条
- GIR2020 - その他Tier1資本に関して支払われた／支払われる又は受領された／受領される分配に帰せられる資本の減少／増加 - 第3.2.10条
- GIR2021 - MNEグループに加入し、又はMNEグループから離脱する構成事業体 - 第3.2.11条及び第6.2条

- GIR2022 - フロースルー事業体である最終親事業体に係るGloBE所得の減額 - 第3.2.11条及び第7.1条
- GIR2023 - 控除可能配当税制の対象となる最終親事業体に係るGloBE所得の減額 - 第3.2.11条及び第7.2条
- GIR2024 - 課税分配法の選択 - 第3.2.11条及び第7.6条
- GIR2025 - 国際海運業所得 - 第3.3条
- GIR2026 - 構成事業体間における取引 - 第9.1.3条

Int Shipping Income

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
IntShippingIncome				オプション（必須）

IntShippingIncome要素は、国際海運業所得除外の適用を反映する。これは、International Shipping Income、QualifiedAncShipIncome、Substance Exclusion及びCovered Taxes要素で構成される。この情報は、移行期間簡素化国別報告枠組み選択が行われているかどうかにかかわらず、報告するものとする。

[注3.2.4.4.a]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
InternationalShipIncome				検証

InternationalShipIncome要素は、国際海運業所得計算を反映する。これは、Total、Category、Revenue及びCosts要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は、構成事業体の国際海運業所得の合計を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Category			globe:IntShipCategory_EnumType	検証

[注3.2.4.4.a.3-5]

繰返し可能なCategory要素は、第3.3.2条のサブパラグラフ(a)から(f)までにおいて識別される、国際海運業所得を得た関連活動を示す（複数の選択肢が適用可能）。これらの選択肢は以下のとおり：

- GIR2101 - 第3.3.2.a条

- GIR2102 - 第3.3.2.b条
- GIR2103 - 第3.3.2.c条
- GIR2104 - 第3.3.2.d条
- GIR2105 - 第3.3.2.e条
- GIR2106 - 第3.3.2.f条

[注3.2.4.4.a.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Revenue			xsd:integer	検証

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Costs			xsd:integer	検証

Revenue及びCosts要素は、第3.3.2条サブパラグラフ(a)から(f)までにおいて識別される全ての関連活動から得られる収入及びそれに帰せられる費用の合計を示す。

[注3.2.4.4.a.3-5]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
QualifiedAncShipIncome				検証

QualifiedAncShipIncome要素は、適格付随的国際海運業所得計算を反映し、Total、Category、Revenue、Costs要素で構成される。

[注3.2.4.4.a.6]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は、構成事業体の適格付随的国際海運業所得の合計を示す。

[注3.2.4.4.a.7-9]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Category			globe:AncShipCategory_EnumType	検証

Category要素は、第3.3.3条サブパラグラフ(a)から(e)までにおいて識別される、適格付随的国際海運業所得を得た関連活動を示す（複数の選択肢が適用可能）。これらの選択肢は以下のとおり：

- GIR2201 - 第3.3.3.a条
- GIR2202 - 第3.3.3.b条
- GIR2203 - 第3.3.3.c条
- GIR2204 - 第3.3.3.d条

- GIR2205 - 第3.3.3.e条

[注3.2.4.4.a.6]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Revenue			xsd:integer	検証

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Costs			xsd:integer	検証

Revenue及びCostsの要素は、第3.3.3条サブパラグラフ(a)から(e)において識別される各関連活動から得られる収入及びそれに帰せられる費用の合計を反映する。

[注3.2.4.4.a.7-9]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
SubstanceExclusion				検証

Substance Exclusion要素は、実質ベース所得除外への影響を示す。これは、PayrollCosts及びTangibleAssets要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
PayrollCosts			xsd:integer	検証

PayrollCosts要素は、国際海運業所得又は適格付随的国際海運業所得に帰せられる支払給与を示す。

[注3.2.4.4.a.10]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TangibleAssets			xsd:integer	検証

Tangible Assets要素は、国際海運業所得又は適格付随的国際海運業所得を生じさせるために使用された有形資産の簿価（適格付随的国際海運業所得の上限を超える超過所得に帰せられるものを除く。）を示す。

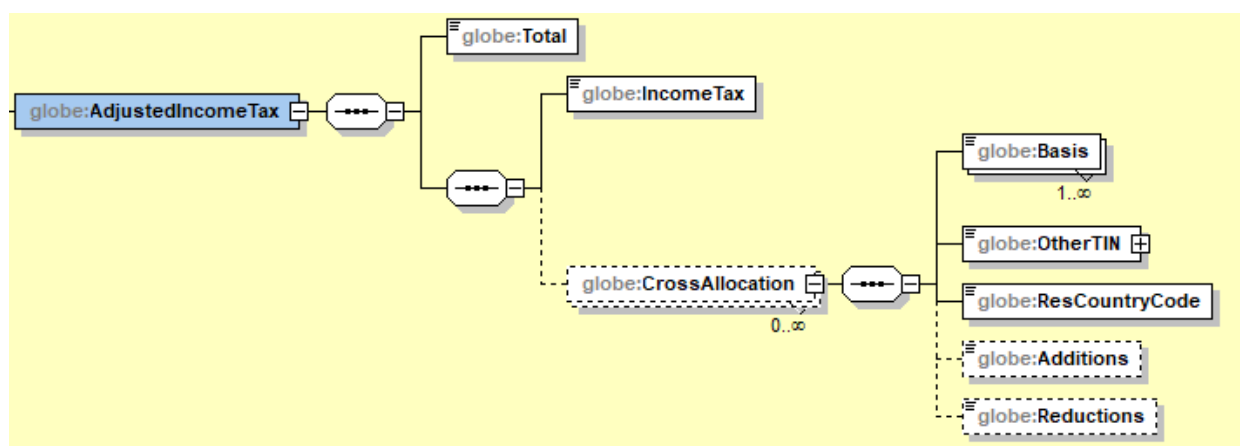
[注3.2.4.4.a.11]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
CoveredTaxes			xsd:integer	検証

Covered Taxes要素は、除外された国際海運業所得又は適格付随的国際海運業所得に関連する対象租税を示す。

[注3.2.4.4.a.12]

Adjusted Income Tax



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdjustedIncomeTax				検証

Adjusted Income Tax要素は、構成事業体（又はJVグループメンバー）から他の構成事業体（又はJVグループメンバー）への対象租税の相互配分に関する情報を反映する。これは、（配分後の対象租税に関するCEの当期税金費用を反映する）Total要素に加えて、Income Tax及びCross Allocation要素で構成される。この情報は、移行期間簡素化国別報告枠組みが適用されるかどうかにかかわらず、報告するものとする。

[注3.2.4.2.b]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は、相互配分後の対象租税に関する当期税金費用を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
IncomeTax			xsd:integer	検証

Income Tax要素は、調整前のCE（又はJVグループメンバー）の対象租税を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
CrossAllocation				オプション（必須）

繰返し可能なCross Allocation要素は、関連する全ての相互配分調整を反映する。これは、Basis、Other TIN、ResCountryCode、Additions及びReductionsで構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Basis			globe:AdjustedBasis_EnumType	検証

繰返し可能なBasis要素は、以下の選択肢に基づいて適用される、第4.3.2条、第4.3.3条又は第

4.3.4条の関連するサブパラグラフを識別する：

- GIR2301 - 第4.3.2条(a)
- GIR2302 - 第4.3.2条(b)
- GIR2303 - 第4.3.2条(c)
- GIR2304 - 第4.3.2条(d)
- GIR2305 - 第4.3.2条(e)
- GIR2306 - 第4.3.3条(a)
- GIR2307 - 第4.3.3条(b)
- GIR2308 - 第4.3.4条
- GIR2309 - 第4.3.2条(c) - ブレンデッドCFC税制

第4.3.2条(c)又は第4.3.2条(d)が適用される場合には、3.2.4.2.b.6欄及び3.2.4.2.b.7欄の入力上、申告構成事業体は、1行目に（3.2.4.2.b.3欄に第4.3.2条の関連するサブパラグラフを指定して、）第4.3.3条に基づく調整前の金額を入力し、2行目に（3.2.4.2.b.3欄に第4.3.2条の関連するサブパラグラフだけでなく、第4.3.3条の関連するサブパラグラフを指定して、）第4.3.3条に基づく調整後の金額を入力しなければならない。

[注3.2.4.2.b.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
OtherTIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

Other TIN要素は、他の構成事業体（又はJVグループメンバー）のTIN、又はTINが利用できない場合には、企業／会社登録コード／番号などの機能的同等物を反映する。

[注3.2.4.2.b.4]

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ResCountryCode			iso:countryCode_Type	検証

構成事業体（又はJVグループメンバー）から他の構成事業体（又はJVグループメンバー）への対象租税の配分について、ResCountryCode要素は、他の構成事業体（又はJVグループメンバー）の国又は地域を（ISO 3166-1 Alpha 2標準に基づく2文字のアルファベットの国コードの形式で）示す。他の構成事業体が無国籍構成事業体である場合には、申告構成事業体は「無国籍」と報告しなければならない。無国籍構成事業体に関して報告する場合には、コード「X5」を使用する必要がある。

[注3.2.4.2.b.5]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Additions			xsd:integer	オプション（必須）

Additions要素は、構成事業体（又はJVグループメンバー）の対象租税への加算を示す。租税の相互配分は、当期税金費用及び繰延税金費用の両方を対象とする。

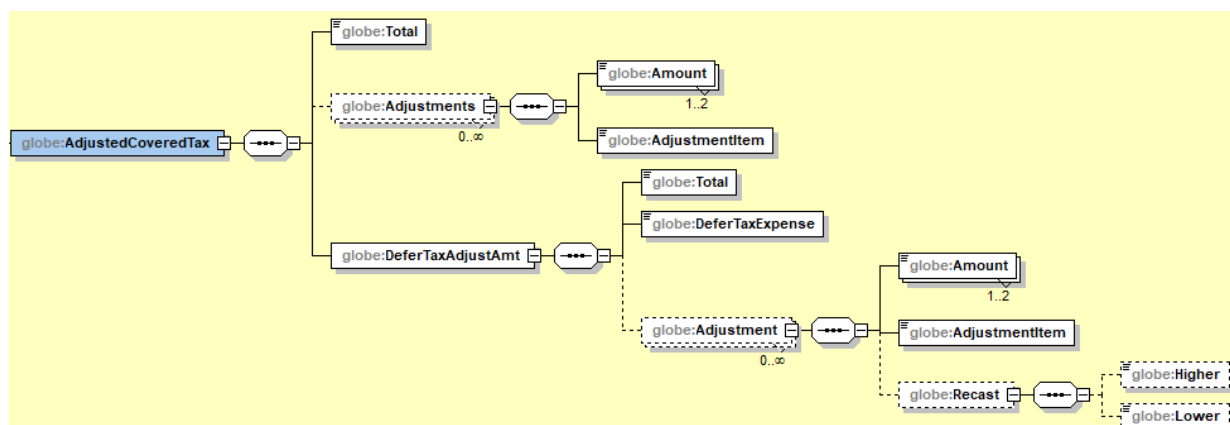
[注3.2.4.2.b.6]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Reductions			xsd:integer	オプション（必須）

Reductions要素は、構成事業体（又はJVグループメンバー）の対象租税への減算を示す。租税の相互配分は、当期税金費用及び繰延税金費用の両方を対象とする。

[注3.2.4.2.b.7]

Adjusted Covered Tax



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdjustedCoveredTax				検証

Adjusted Covered Tax要素は、構成事業体又はJVグループメンバーの調整後対象租税額計算を示す。これはTotal、Adjustments及びDeferTaxAdjustAmt要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は、構成事業体又はJVグループメンバーの調整後対象租税額を示す。投資事業体については、Total要素は、第7.4.3条に基づいて決定された投資事業体の調整後対象租税額を示す。

[注3.2.4.2.a.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

Adjustments				オプション（必須）
-------------	--	--	--	-----------

繰返し可能なAdjustments要素は、CE又はJVグループメンバーの財務諸表における当期税金費用に対する調整（第4.3条の配分後）を反映する。これは、AmountとAdjustment Item要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Amount			xsd:integer	検証

Amount要素は、当期税金費用に対する各調整の金額を示す。各調整の加算と減算は、個別に識別することとする。加算調整は正の金額、減算調整は負の金額を入力する必要がある。この要素は2回まで繰り返すことができる。

[注3.2.4.2.a.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdjustmentItem			globe:CurrentAdjustedTax_EnumType	検証

AdjustmentItem要素は、当期の税務調整のタイプを反映し、以下のリストから選択することとする：

- GIR2401 - 財務諸表における税引前当期純利益において費用として発生した対象租税 - 第4.1.2条(a)
- GIR2402 - 過年度において対象租税の減額として計上された不確実な税務ポジションに係る対象租税 - 第4.1.2条(c)
- GIR2403 - 当期税金費用の減額として計上された適格還付有税額控除又は市場性譲渡可能税額控除 - 第4.1.2条(d)
- GIR2404 - 適格所有持分の適格フロースルー優遇税制 - 第3.2.1条(c)
- GIR2405 - GloBE所得又は損失から除外される所得に係る当期税金費用 - 第4.1.3条(a)
- GIR2406 - 当期税金費用の減額として計上されていない非適格還付有税額控除、非市場性譲渡可能税額控除又はその他の税額控除 - 第4.1.3条(b)
- GIR2407 - 還付又は控除された対象租税であって当期税金費用の調整として取り扱われなかった金額（適格還付有税額控除、市場性譲渡可能税額控除を除く。） - 第4.1.3条(c)
- GIR2408 - 不確実な税務ポジションに関連する当期税金費用 - 第4.1.3条(d)
- GIR2409 - 3年以内に支払われることが見込まれない当期税金費用 - 第4.1.3条(e)
- GIR2410 - 申告後調整 - 第4.6.1条
- GIR2411 - 資産売却純損益に関連する対象租税 - 第3.2.6条
- GIR2412 - フロースルー事業体である最終親事業体の対象租税の減額 - 第7.1条

- GIR2413 - 控除可能配当税制により減額された最終親事業体のGloBE所得に係る対象租税 - 第7.2.2条
- GIR2414 - みなし分配租税 - 第7.3条
- GIR2415 - 課税分配法の選択 - 第7.6.2条(b)
- GIR2416 - 繰延税金調整総額 - 第4.4.1条(b)
- GIR2417 - GloBE所得又は損失に含まれる金額であって現地の国内法制に従って課税の対象とされるものに関連して資本又はその他の包括利益に計上された対象租税の増減 - 第4.1.1条(c)

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DeferTaxAdjustAmt				検証

DeferTaxAdjustAmt要素は、繰延税金費用の調整を反映する。これは、Amount及びAdjustment Item要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は、構成事業体（若しくはJVグループメンバー）の繰延税金調整総額を反映する。

[注3.2.4.2.c.6]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DeferTaxExpense			xsd:integer	検証

DeferTaxExpense要素は、構成事業体（又はJVグループメンバー）のGloBE適用上の再計算及び調整前の繰延税金費用額を示す。財務会計上の資産又は負債の簿価とGloBE適用上の簿価が乖離している場合には、関連する執行ガイダンスに従って、繰延税金費用の一部をGloBE適用上の簿価に基づいて計算しなければならない。繰延税金費用が繰延税金費用勘定の借方として計上される場合には、その金額を正の数で表示しなければならない。繰延税金費用が繰延税金費用勘定の貸方として計上される場合には、その金額を負の数として表示しなければならない。

[注3.2.4.2.c.6]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Adjustment				オプション（必須）

Adjustment項目には、Amount、Adjustment Item、Recast、Higher及びLower要素が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

Amount			xsd:integer	検証
--------	--	--	-------------	----

Amount要素は、再計算前の繰延税金費用に対する各調整額を示す。加算（すなわち、繰延税金調整総額の増加をもたらす調整）及び減算（すなわち、繰延税金調整総額の減少をもたらす調整）は、個別に識別しなければならない。加算調整は正の金額、減算調整は負の金額を入力する必要がある。この要素は2回まで繰り返すことができる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdjustmentItem			globe:DeferredAdjustedTax_EnumType	検証

AdjustmentItem要素は、繰延税金調整のタイプを反映し、以下のリストから選択することとする：

- GIR2501 - GloBE所得又は損失から除外される項目に関連する繰延税金費用 - 第4.4.1(a)
- GIR2502 - 否認発生額に関連する繰延税金費用 - 第4.4.1条(b)
- GIR2503 - 不請求発生額に関連する繰延税金費用 - 第4.4.1条(b)
- GIR2504 - 繰延税金資産に関連する評価調整又は会計認識調整 - 第4.4.1条(c)
- GIR2505 - 税率の変更に関連する再測定から生ずる繰延税金費用 - 第4.4.1条(d)
- GIR2506 - 税額控除の発生及び使用に関連する繰延税金費用 - 第4.4.1条(e)
- GIR2507 - 代替繰越欠損金に係る繰延税金資産又はみなし代替繰越欠損金に係る繰延税金資産 - 第4.4.1条(e)
- GIR2508 - 会計年度中に支払われた否認発生額又は不請求発生額 - 第4.4.2条 (a)
- GIR2509 - 会計年度中に支払われた取戻繰延税金負債 第4.4.2条(b)
- GIR2510 - 財務諸表に含まれない欠損金に係る繰延税金資産の認識 - 第4.4.2条(c)
- GIR2511 - 税率の引下げから生ずる繰延税金費用の調整 - 第4.6.2項
- GIR2512 - 税率の引上げから生ずる繰延税金費用の調整 - 第4.6.3項
- GIR2513 - MNEグループに加入し、又はMNEグループから離脱する構成事業体 - 第6.2条
- GIR2514 - フロースルー事業体である最終親事業体の繰延税金費用 - 第7.1条
- GIR2515 - 控除可能配当税制の対象となる最終親事業体の繰延税金費用 - 第7.2条
- GIR2516 - 構成事業体間の取引に帰せられる繰延税金調整 - 第9.1.3条

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Recast				オプション（必須）

Recast要素は、最低税率で再計算された繰延税金費用の金額を示す。Higher及び／又はLowerの税率を適用する。

[注3.2.4.2.a.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Higher			xsd:integer	オプション（必須）

Higher要素は、最低税率よりも高い税率で計上された繰延税金費用に関連する再計算を示す。

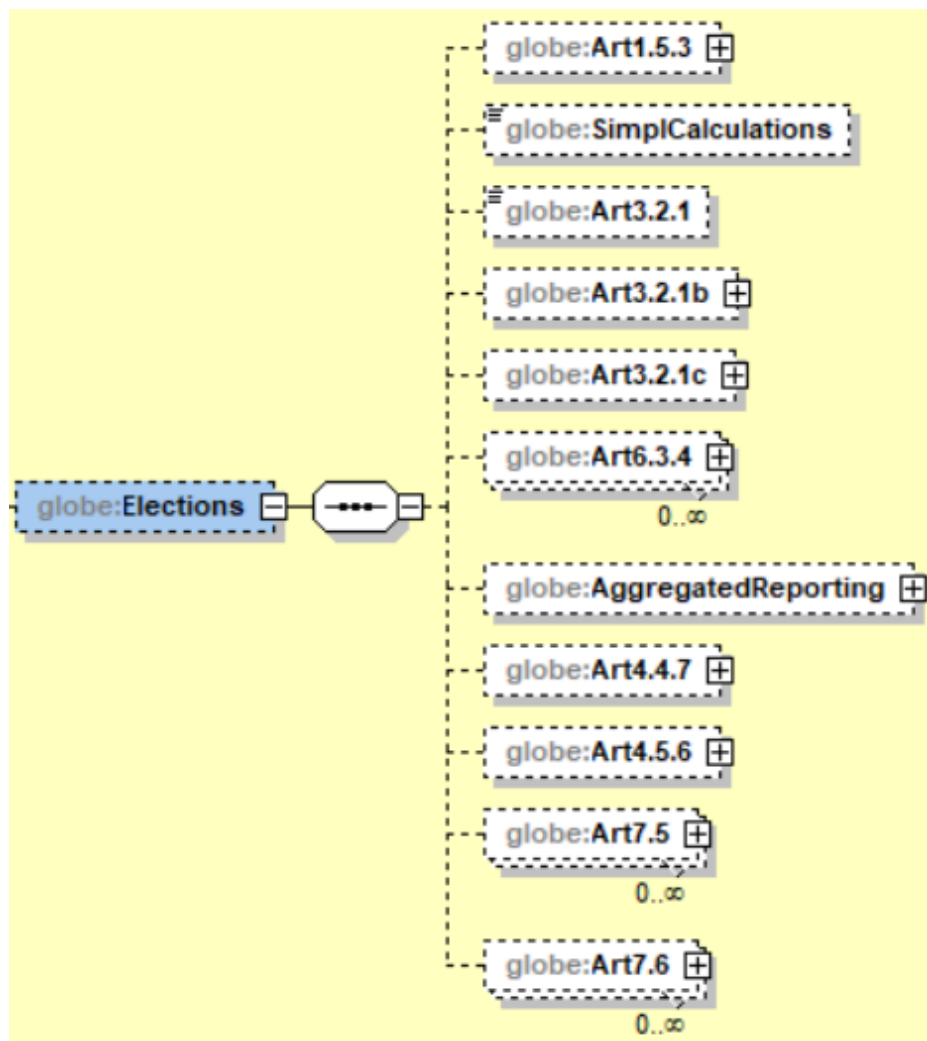
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Lower			xsd:integer	オプション（必須）

Lower要素は、再計算が最低税率より低い税率で計上された繰延税金資産の増加であることを示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

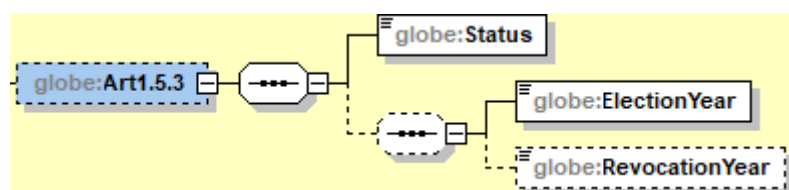
Elections



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Elections				オプション（必須）

Elections要素には、単一の構成事業体（又はJVグループメンバー）に適用される選択に関する情報が含まれる。この要素は、GloBEルールに基づく様々な選択を反映する複数の要素で構成される。この要素と、親要素の下にある各サブ要素はオプションである。

Art 1.5.3



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art1.5.3				オプション（必須）

Art1.5.3要素は、事業体が除外事業体として取り扱われないこととなる、第1.5.3条の選択の適用を識別する。5年選択のため、Status、Election Year及びRevocation Year要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Status		1文字	xsd:boolean	検証

Status要素はブール値であり、許容される入力データ型はTrue又はFalseである。Trueの場合には、ElectionYear及びRevocationYear要素を必ず入力しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ElectionYear			xsd:date	検証

Election Year要素はその選択の選択年度を示す。

[注3.2.4.3.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RevocationYear			xsd:date	オプション（必須）

Revocation Year要素は、選択を取り止めた年度（もしあれば）を示す。申告構成事業体は、取消年度及び取消年度後4会計年度に申告されるGloBE情報申告書において、取消年度を報告しなければならない。

[注3.2.4.3.5]

Simplified Calculations

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
SimplCalculations		1文字	xsd:boolean	オプション（必須）

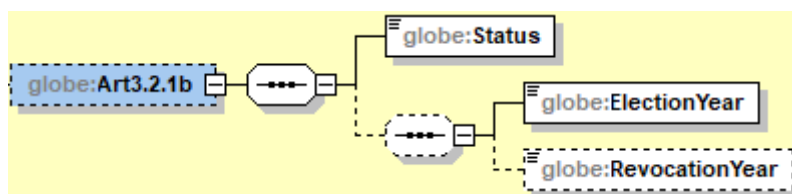
SimplCalculations要素は、NMCEs選択に係る簡素化計算（簡素化計算セーフ・ハーバー）の適用を識別する。

Art3.2.1

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art3.2.1		1文字	xsd:boolean	オプション（必須）

Art3.2.1要素は、債務免除選択の適用を識別する。

Art 3.2.1b



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art3.2.1b				オプション（必須）

Art3.2.1bの要素は、ポートフォリオ保有株式に関する全ての配当を含める選択を識別する。5年選択のため、Status、Election Year及びRevocation Yearの要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Status		1文字	xsd:boolean	検証

Status要素はブール値であり、許容される入力データ型はTrue又はFalseである。Trueの場合には、ElectionYear及びRevocationYear要素を必ず入力しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ElectionYear			xsd:date	検証

Election Year要素はその選択の選択年度を示す。

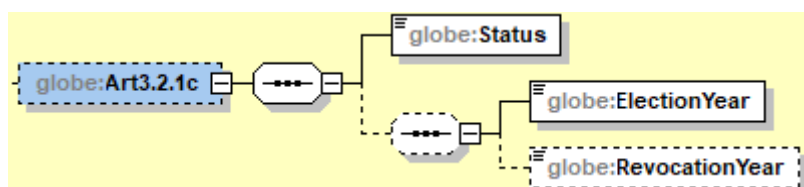
[注3.2.4.3.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RevocationYear			xsd:date	オプション（必須）

Revocation Year要素は、選択を取り止めた年度（もしあれば）を示す。申告構成事業体は、取消年度及び取消年度後4会計年度に申告されるGloBE情報申告書において、取消年度を報告しなければならない。

[注3.2.4.3.5]

Art 3.2.1c



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art3.2.1c				オプション（必須）

Art3.2.1c要素は、ヘッジに帰せられる為替差損益を除外資本損益として取り扱う選択を識別する。

5年選択のため、Status、Election Year及びRevocation Yearの要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Status		1文字	xsd:boolean	検証

Status要素はブール値であり、許容される入力データ型はTrue又はFalseである。Trueの場合には、ElectionYear及びRevocationYear要素を必ず入力しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ElectionYear			xsd:date	検証

Election Year要素はその選択の選択年度を示す。

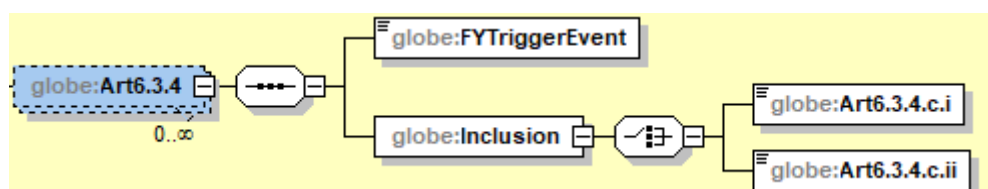
[注3.2.4.3.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RevocationYear			xsd:date	オプション（必須）

Revocation Year要素は、選択を取り止めた年度（もしあれば）を示す。申告構成事業体は、取消年度及び取消年度後4会計年度に申告されるGloBE情報申告書において、取消年度を報告しなければならない。

[注3.2.4.3.5]

Art 6.3.4



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art6.3.4				オプション（必須）

繰返し可能なArt6.3.4要素は、第6.3.4条に基づく公正価値選択を識別する。これは、FYTriggeringEvent及びInclusion要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
FYTriggerEvent			xsd:date	検証

FYTriggerEvent要素は、税務調整の引き金となる事象（すなわちトリガー事象）の会計年度を識別する。

[注3.2.4.3.h.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Inclusion				

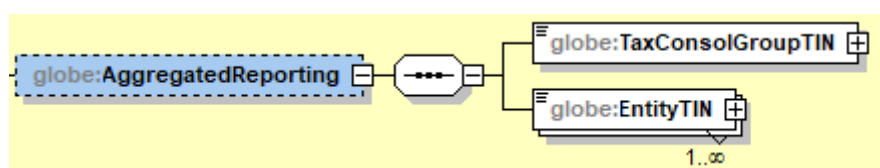
Inclusion要素は、第6.3.4条(c)(i)又は(ii)、すなわちトリガー事象の会計年度に含めるか、又は5年間に含めるかを選択できる。(i)は、第6.3.4条(a)に基づいて決定された合計額の純額が、トリガー事象が発生した会計年度のGloBE所得又は損失の計算に含まれる場合に報告しなければならない。(ii)は、その合計額の純額を5で除した金額が、トリガー事象が発生した会計年度及びその後の4会計年度にそれぞれ含まれる場合に報告しなければならない。

[注3.2.4.3.h.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art6.3.4.c.i		1文字	xsd:boolean	検証（選択）

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art6.3.4.c.ii		1文字	xsd:boolean	検証（選択）

Aggregated Reporting



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AggregatedReporting				オプション（必須）

AggregatedReporting要素は、連結納税グループの合算報告に係る選択を識別する。

これは、TaxConsolGroupTin及びEntityTIN要素で構成される。

[注3.2.4.b]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TaxConsolGroupTIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

TaxConsolGroupTINは、その国又は地域の対象租税のために使用される連結納税グループのTINを示す。

[注3.2.4.b.1]

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

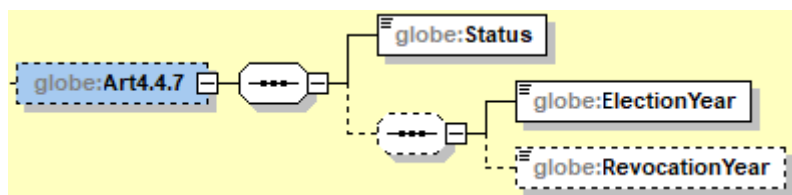
EntityTIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証
-----------	--	---------	----------------	----

繰返し可能なEntityTIN要素は、その国又は地域の対象租税のために使用される連結納税グループに含まれる構成事業体又はJVグループメンバーのTINを示す。

[注3.2.4.b.2]

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

Art 4.4.7



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art4.4.7				オプション（必須）

Art4.4.7要素は、不請求発生額5年選択を示す。5年選択のため、Status、Election Year及びRevocation Year要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Status		1文字	xsd:boolean	検証

Status要素はブール値であり、許容される入力データ型はTrue又はFalseである。Trueの場合には、ElectionYear及びRevocationYear要素を必ず入力しなければならない。

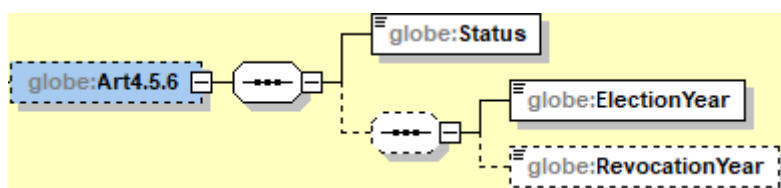
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ElectionYear			xsd:date	検証

Election Year要素はその選択の選択年度を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RevocationYear			xsd:date	オプション（必須）

Revocation Year要素は、選択を取り止めた年度（もしあれば）を示す。申告構成事業体は、取消年度及び取消年度後4会計年度に申告されるGloBE情報申告書において、取消年度を報告しなければならない。

Art4.5.6



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art4.5.6				オプション（必須）

Art4.5.6要素は、GloBE損失選択を示す。5年選択のため、Status、Election Year及びRevocation Year要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Status		1文字	xsd:boolean	検証

Status要素はブール値であり、許容される入力データ型はTrue又はFalseである。Trueの場合には、ElectionYear及びRevocationYear要素を必ず入力しなければならない。

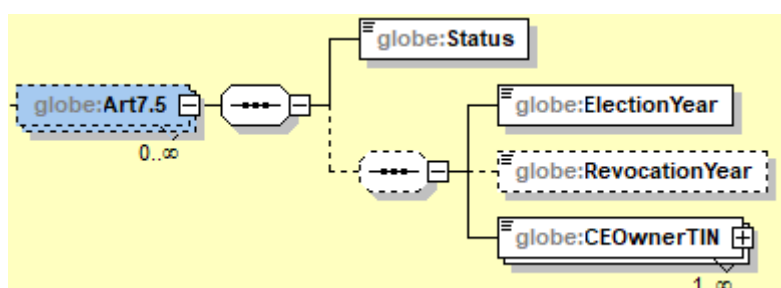
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ElectionYear			xsd:date	検証

Election Year要素はその選択の選択年度を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RevocationYear			xsd:date	オプション（必須）

Revocation Year要素は、選択を取り止めた年度（もしあれば）を示す。申告構成事業体は、取消年度及び取消年度後4会計年度に申告されるGloBE情報申告書において、取消年度を報告しなければならない。

Art7.5



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art7.5				オプション（必須）

Art7.5要素は、投資事業体の課税上透明選択を示す。5年選択のため、Status、Election Year及びRevocation Year要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Status		1文字	xsd:boolean	検証

Status要素はブール値で、許容される入力データ型はTrue又はFalseである。Trueの場合には、ElectionYear及びRevocationYear要素を必ず入力しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ElectionYear			xsd:date	検証

Election Year要素はその選択の選択年度を示す。

[注3.2.4.3.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RevocationYear			xsd:date	オプション（必須）

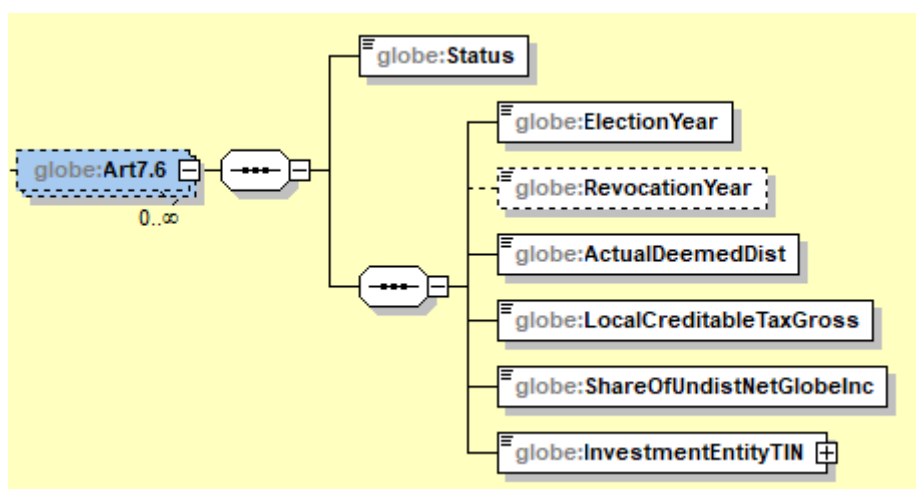
Revocation Year要素は、選択を取り止めた年度（もしあれば）を示す。申告構成事業体は、取消年度及び取消年度後4会計年度に申告されるGloBE情報申告書において、取消年度を報告しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
CEOownerTIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

繰返し可能なCEOownerTIN要素は、その国又は地域の対象租税のために使用される連結納税グループに含まれる構成事業体又はJVグループメンバーのTINを示す。上述のTINタイプに従う。

[注3.2.4.b.2]

Art 7.6



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art7.6				オプション（必須）

Art7.6要素は、課税分配選択を示す。5年選択のため、Status、Election Year及びRevocation Year要素で構成される。また、ActualDeemedDist、LocalCreditableTaxGross及びShareofUndistNetGloBEInc要素でも構成される（GIRの注3.2.4.5.1から3.2.4.5.5までを参照）。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Status		1文字	xsd:boolean	検証

Status要素はブール値であり、許容される入力データ型はTrue又はFalseである。Trueの場合には、ElectionYear及びRevocationYear要素を必ず入力しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ElectionYear			xsd:date	検証

Election Year要素はその選択の選択年度を示す。

[注3.2.4.3.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RevocationYear			xsd:date	オプション（必須）

Revocation Year要素は、選択を取り止めた年度（もしあれば）を示す。申告構成事業体は、取消年度及び取消年度後4会計年度に申告されるGloBE情報申告書において、取消年度を報告しなければならない。

[注3.2.4.3.5]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ActualDeemedDist			xsd:integer	検証

ActualDeemedDist要素は、構成事業体オーナーが受領した投資事業体のGloBE所得の分配額及びみなし分配額を示す。

[注3.2.4.5.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
LocalCreditableTaxGross			xsd:integer	検証

LocalCreditableTaxGross要素は、投資事業体に生じた、その投資事業体からの分配に関して生ずる構成事業体オーナーの租税債務に対して控除することが認められる現地国内控除可能租税グロスアップを示す。

[注3.2.4.5.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ShareOfUndistNetGlobeInc		1～6文字	globe:percentage	検証

ShareOfUndistNetGlobeInc要素は、投資事業体が試験対象年度に係る未分配GloBE純所得を有する場合に、申告構成事業体が、試験対象年度に係る投資事業体の未分配GloBE純所得に対する構成事業体オーナーの比例持分を報告しなければならないことを示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
InvestmentEntityTIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

TIN要素は、所有持分を有し、第7.6条に基づく選択が行われた投資事業体又は構成事業体オーナー（若しくはJVグループメンバー）の納税者番号を示す。

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

OtherFAS

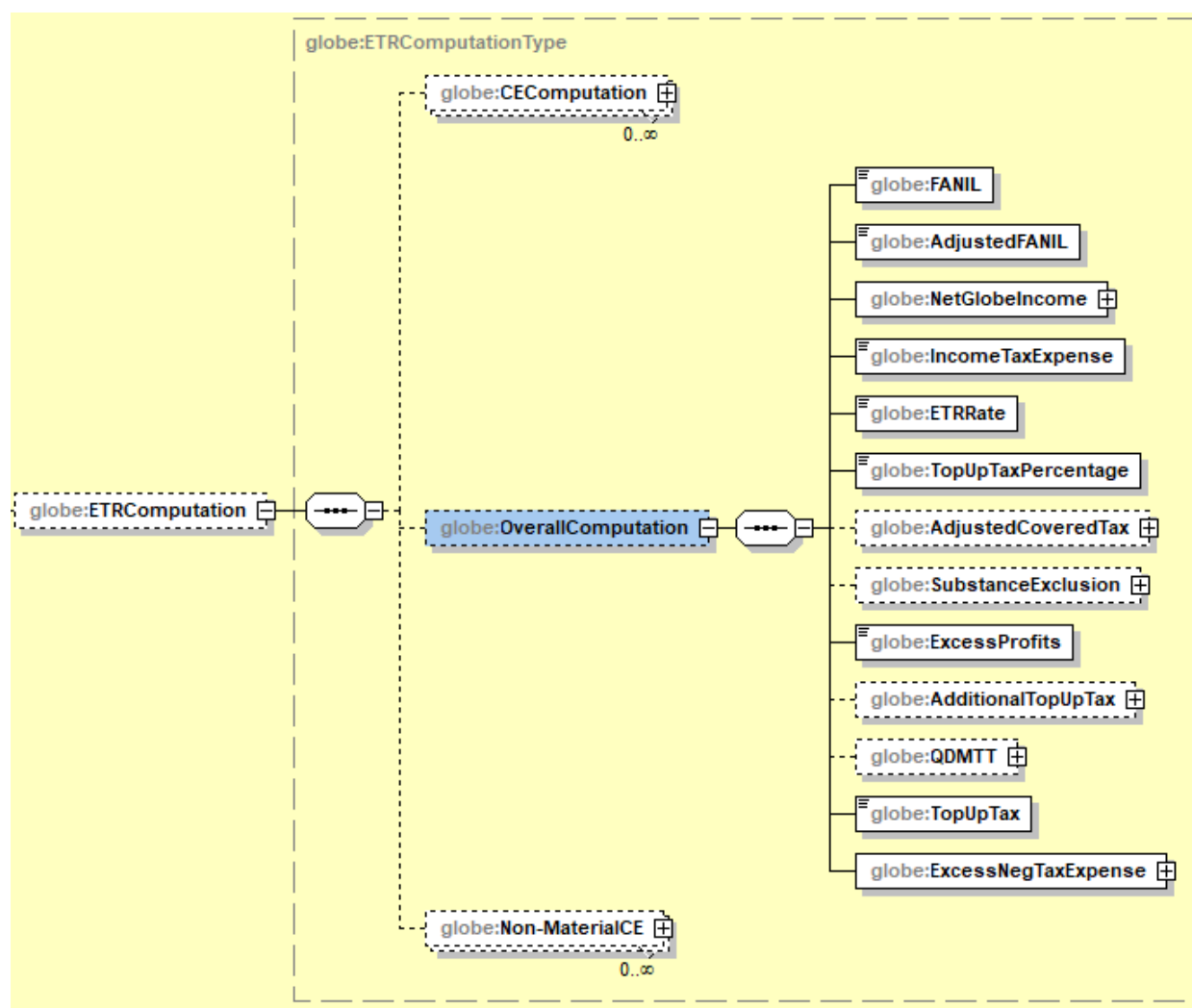
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
OtherFAS		1～200	stf:stringMin1Max200_Type	オプション（必須）

OtherFAS要素は、第3.1.3条（又は第6.4.1条(a)）に規定されているとおり、構成事業体（又はJVグループメンバー）が、UPE（又はJV）に関する連結財務諸表で使用される会計基準とは異なる会計基準を使用する場合には、その構成事業体（又はJVグループメンバー）が使用する会計基準を示す。

申告構成事業体は、構成事業体、JV又はJV子会社の財務会計純損益の計算に使用される許容財務会計基準又は公認財務会計基準を報告しなければならない。

[注3.2.4.6.2]

Overall Computation



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
OverallComputation				オプション（必須）

Overall Computation要素は、国又は地域ごとのGloBE計算を反映し、Adjusted FANILからTop-Up Taxまでの要素で構成される。

FANIL

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
FANIL			xsd:integer	検証

FANIL要素には、UPEの連結財務諸表を作成する際に、その国又は地域に所在する全ての構成事業体（又はJVグループメンバー）について決定された財務会計純損益の合計額に関する情報が含まれる。

[注3.2.1.a]

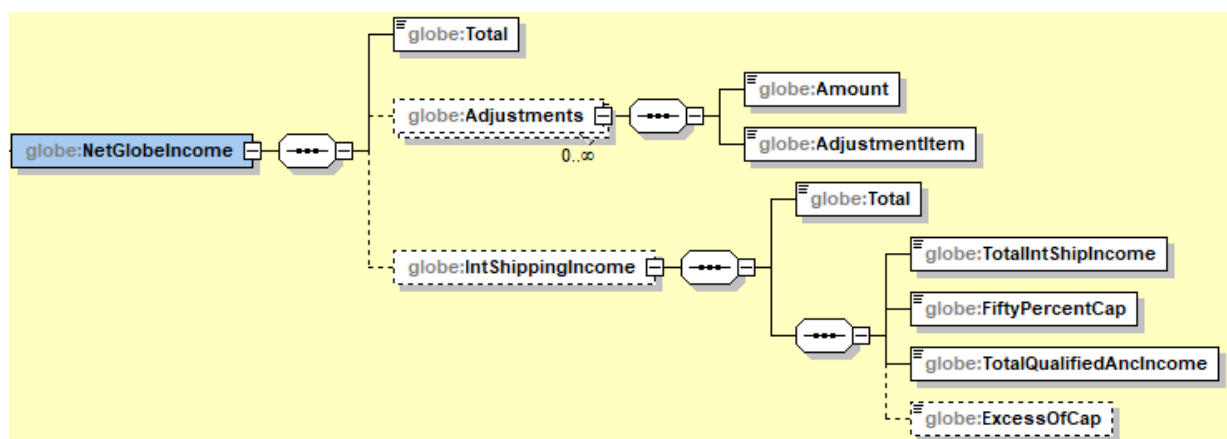
Adjusted FANIL

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdjustedFANIL			xsd:integer	検証

Adjusted FANIL要素には、UBEの連結財務諸表を作成する際に、その国又は地域に所在する全ての構成事業体（又はJVグループメンバー）について決定された、第3.4条及び第3.5条の配分後の財務会計純損益の合計額に関する情報が含まれる。

[注3.2.1.1.a]

NetGlobeIncome



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
NetGlobeIncome				検証

Net Globe Income要素は、その国又は地域のGloBE純所得又は純損失を示す。

[注3.2.1.b]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は、GloBE純所得又は純損失の合計額である。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Adjustments				オプション（必須）

繰返し可能なAdjustments要素は、第3.2条に従って財務会計純損益に対して行われた調整を反映する。これは、Amount及びAdjustment Item要素で構成される。

[注3.2.1.1.2aから3.2.1.1.2.2.z]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Amount			xsd:integer	検証

Amount要素は、調整額を反映する。調整ごとに、加算と減算を個別に識別しなければならない。

加算調整は正の金額、減算調整は負の金額を入力する必要がある。

[注3.2.1.1.2aから3.2.1.1.2.2.z]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdjustmentItem			globe:AdjustmentItem_EnumType	検証

AdjustmentItem要素は、調整のタイプを反映し、次のリストから選択することとする：

- GIR2001 - 税金費用純額 - 第3.2.1条(a)
- GIR2002 - 除外配当 - 第3.2.1条(b)
- GIR2003 - 除外資本損益 - 第3.2.1条(c)
- GIR2004 - 再評価法に含まれる損益 - 第3.2.1条(d)
- GIR2005 - 第6.3条に基づいて除外された資産及び負債の処分損益 - 第3.2.1(e)
- GIR2006 - 非対象外国為替差損益 - 第3.2.1条(f)
- GIR2007 - 政策上の否認費用 - 第3.2.1条(g)
- GIR2008 - 過去の誤謬 - 第3.2.1条(h)
- GIR2009 - 会計処理基準の変更 - 第3.2.1項(h)
- GIR2010 - 発生年金費用 - 第3.2.1条(i)
- GIR2011 - 債務免除益 - 第3.2.1条
- GIR2012 - 株式報酬 - 第3.2.2条
- GIR2013 - 独立企業間価格調整 - 第3.2.3条
- GIR2014 - 適格還付有税額控除又は市場性譲渡可能税額控除 - 第3.2.4条
- GIR2015 - 実現原則を用いた損益の選択 - 第3.2.5条
- GIR2016 - 調整後資産売却益に係る選択 - 第3.2.6条
- GIR2017 - グループ内金融取決めに係る費用 - 第3.2.7条
- GIR2018 - 同一国又は地域内のグループ内取引に係る選択 - 第3.2.8条
- GIR2019 - 保険会社が負担する租税で保険契約者へ請求するもの - 第3.2.9条
- GIR2020 - その他Tier1資本に関して支払われた／支払われる又は受領された／受領される分配に帰せられる資本の減少／増加 - 第3.2.10条
- GIR2021 - MNEグループに加入し、又はMNEグループから離脱する構成事業体 - 第3.2.11条及び第6.2条
- GIR2022 - フロースルー事業体である最終親事業体に係るGloBE所得の減額 - 第3.2.11条

及び第7.1条

- GIR2023 - 控除可能配当税制の対象となる最終親事業体に係るGloBE所得の減額 - 第3.2.11条及び第7.2条
- GIR2024 - 課税分配法の選択 - 第3.2.11条及び第7.6条
- GIR2025 - 国際海運業所得 - 第3.3条
- GIR2026 - 構成事業体間における取引 - 第9.1.3条

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
IntShippingIncome				オプション（必須）

オプションのIntShippingIncome要素は、適格付随的国際海運業所得除外に係る国又は地域ごとの上限を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は国際海運業所得の合計を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TotalIntShipIncome			xsd:integer	検証

TotalIntShipIncome要素には、セクション3.1.3で識別された関連するサブグループのCE又はJVグループメンバーで、その国又は地域に所在するものに係る国際海運業所得の合計に関する情報が含まれる。

[注3.2.4.4.b.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
FiftyPercentCap			xsd:integer	検証

FiftyPercentCap要素は、50%上限の金額を反映する。

[注3.2.4.4.b.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TotalQualifiedAncIncome			xsd:integer	検証

TotalQualifiedAncIncome要素には、セクション3.1.3で識別された関連するサブグループの全てのCE又はJVグループメンバーで、その国又は地域に所在するものに係る適格付随的国際海運業所得の合計に関する情報が含まれる。

[注3.2.4.4.b.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ExcessOfCap			xsd:integer	オプション（必須）

オプションのExcessOfCap要素は、一定のルールに基づいて報告されなければならない上限の超過を示す。

[注3.2.4.4.b.4]

Income Tax Expense

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
IncomeTaxExpense			xsd:integer	検証

IncomeTaxExpense要素には、その国又は地域に所在する構成事業体（又はJVグループメンバー）の財務諸表において計上される所得税費用の総額に関する情報が含まれる。

[注3.2.1.c]

ETR Rate

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ETRRate		1～6文字	globe:percentage	検証

ETRRate要素はETRを示す。

[注3.2.1.e]

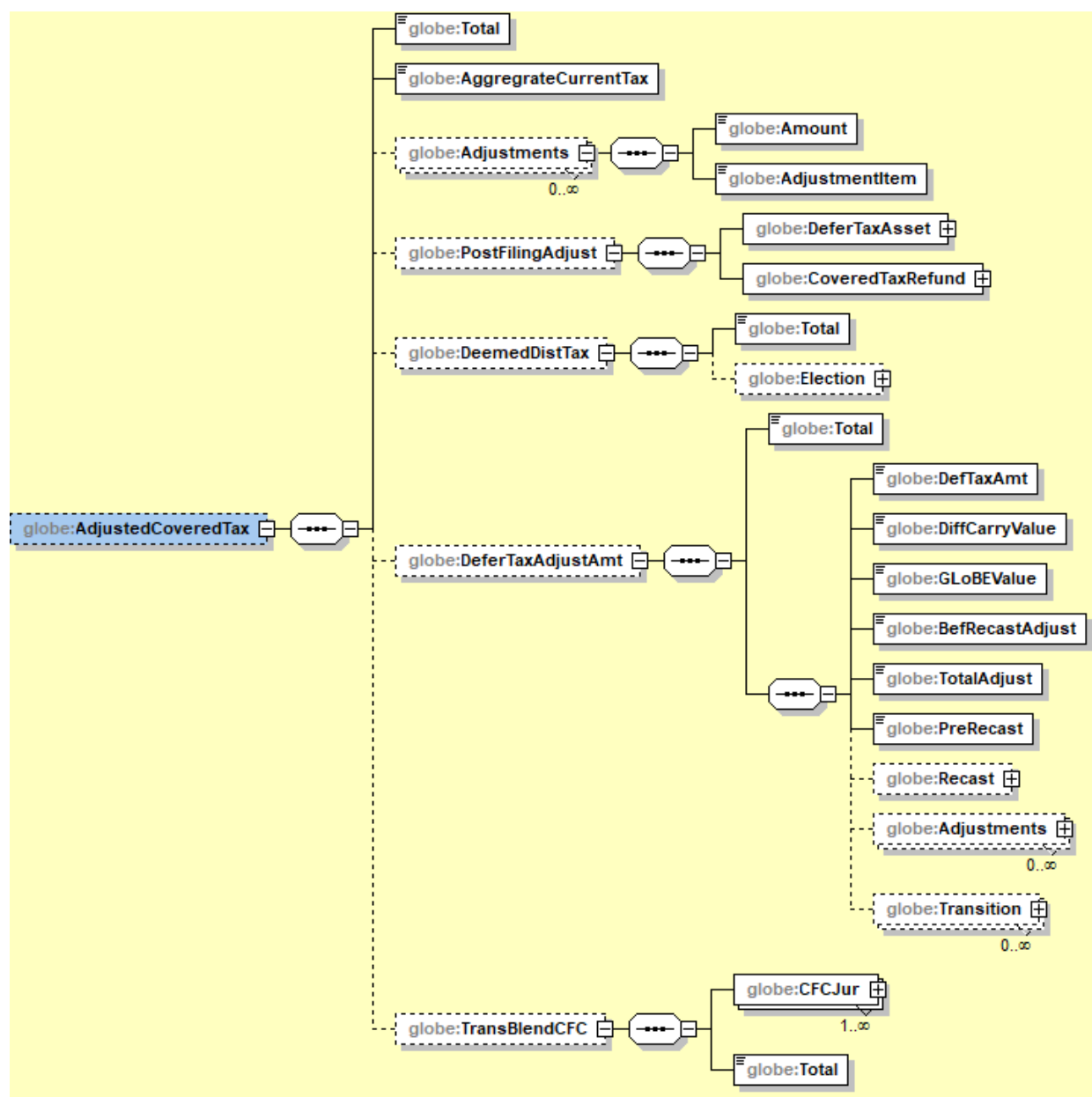
TopUpTaxPercentage

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TopUpTaxPercentage		1～6文字	globe:percentage	検証

TopUpTaxPercentage要素は、トップアップ税率を示す。

[注3.3.1.a]

Adjusted Covered Tax



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdjustedCoveredTax				オプション（必須）

Adjusted Covered Tax 要素は、その国又は地域に所在する全ての構成事業体又はJVグループメンバーの調整後対象租税額を示す。

[注3.2.1.2.a.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

total要素は、調整後対象租税の合計額を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AggregateCurrentTax			xsd:integer	検証

AggregateCurrentTax要素は、第4.3条の配分後の対象租税に関する当期税金費用の合計を示す(その国又は地域における全てのCE)。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Adjustments				オプション (必須)

Adjustments要素は、申告構成事業体が、負の繰延費用超過額の残高に関連する調整後対象租税額の減少又は第4.1.5条に基づく選択を、第5.2.1条又は関連する合意された執行ガイダンスに従って報告しなければならないことを示す。この減少額は、3.2.1.2.b.3で報告される金額と同額であるが、他の調整の結果として得られた調整後対象租税額を超えることはない。

[注3.2.1.2.a.2.t]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Amount			xsd:integer	検証

Amount要素は、財務諸表において当期所得税費用（又はその他の対象租税）の減額として計上された適格還付有税額控除又は市場性移転可能税額控除に関して、第4.1.2条(d)に従って行われた調整額を示す。申告構成事業体は、財務諸表において、当期所得税費用（又はその他の対象租税）の減額としてではなく、所得として計上された非適格還付有税額控除、非市場性移転可能税額控除又はその他の税額控除に関して、第4.1.3条(b)に従って行われた調整額を報告しなければならない。

[注3.2.1.2.a.2]

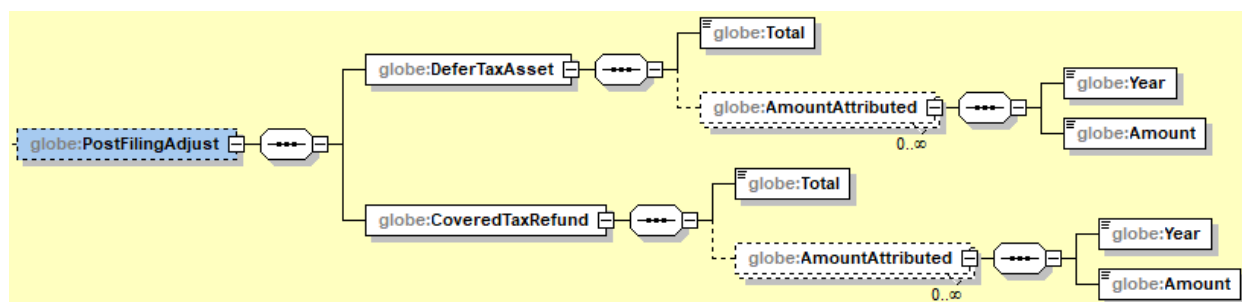
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdjustmentItem			globe:FinalAdjustedTax_EnumType	検証

Adjustment Item要素は、当期の税務調整のタイプを反映し、以下のリストから選択することとする：

- GIR2701 - 財務諸表における税引前当期純利益において費用として発生した対象租税 - 第4.1.2条(a)
- GIR2702 - 第4.5.1条に基づいて設定され、又は使用されたGloBE損失繰延税金資産 - 第4.5.3条と組み合わせた第4.1.2条(b)
- GIR2703 - 過年度において対象租税の減額として計上された不確実な税務ポジションに係る対象租税 - 第4.1.2条(c)

- GIR2704 - 当期税金費用の減額として計上された適格還付有税額控除又は市場性譲渡可能税額控除 - 第4.1.2条(d)
- GIR2705 - 適格所有持分の適格フロースルー優遇税制 - 第3.2.1条(c)
- GIR2706 - GloBE所得又は損失から除外される所得に係る当期税金費用 - 第4.1.3条(a)
- GIR2707 - 当期税金費用の減額として計上されていない非適格還付有税額控除、非市場性譲渡可能税額控除又はその他の税額控除 - 第4.1.3条(b)
- GIR2708 - 還付又は控除された対象租税であって当期税金費用の調整として取り扱われなかった金額（適格還付有税額控除、市場性譲渡可能税額控除を除く。） - 第4.1.3条(c)
- GIR2709 - 不確実な税務ポジションに関連する当期税金費用 - 第4.1.3条(d)
- GIR2710 - 3年以内に支払われることが見込まれない当期税金費用 - 第4.1.3条(e)
- GIR2711 - 申告後調整 - 第4.6.1条
- GIR2712 - 資産売却純損益に関連する対象租税 - 第3.2.6条
- GIR2713 - フロースルー事業体である最終親事業体の対象租税の減額 - 第7.1条
- GIR2714 - 控除可能配当税制により減額された最終親事業体のGloBE所得に係る対象租税 - 第7.2.2条
- GIR2715 - みなし分配租税 - 第7.3条
- GIR2716 - 課税分配法の選択 - 第7.6.2条(b)
- GIR2717 - 繰延税金調整総額 - 第4.4.1条(b)
- GIR2718 - GloBE所得又は損失に含まれる金額であって現地の国内法制に従って課税の対象とされるものに関連して資本又はその他の包括利益に計上された対象租税の増減 - 第4.1.1条(c)
- GIR2719 - 負の繰延税金費用超過額の発生 - 第4.1.5条及び第5.2.1条
- GIR2720 - 負の繰延税金費用超過額の残高による対象租税の減少（ただし、ゼロを下回らない） - 第4.1.5条及び第5.2.1条

Post Filing Adjust



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
PostFilingAdjust				オプション（必須）

PostFilingAdjust要素は、第4.6.1条の申告後調整を示す。この表で識別される申告後調整には、ETR調整条項に従って報告会計年度以外の会計年度について行われる調整は含まれない。第4.6.1条に関連する申告後調整とは、前会計年度に係る対象租税の重要な減少をもたらす調整と、第4.6.1条に基づく選択を行わなかった場合の影響の軽微な減少をもたらす調整である。

[注3.2.1.2.a.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DeferTaxAsset				検証

DeferTaxAsset要素は、過去会計年度に係る取崩しとして取り扱われる繰延税金資産の金額を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は、過去会計年度の取崩しとして取り扱われるみなし繰延税金資産の合計額を反映する。この合計額は、第4.6.1条のコメンタリー第124項から第126項までに規定されているとおり、国内欠損金に最低税率を乗じた金額を上限とする必要がある。

[注3.2.2.1.c.1.c]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AmountAttributed				オプション（必須）

AmountAttributed要素は、国内欠損金が繰り戻された各過去会計年度に係る取崩しとして取り扱われる繰延税金資産を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Year			xsd:date	検証

この要素は、Amount要素が帰せられる過去会計年度を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Amount			xsd:integer	検証

Amount要素は、国内欠損金が繰り戻された過去会計年度の取崩しとして取り扱われる繰延税金資産を反映する。

[注3.2.2.1.c.1.a,b,etc]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
CoveredTaxRefund				検証

CoveredTaxRefund要素は、過去会計年度に繰り戻された国内欠損金に関連する対象租税の還付を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は、対象租税の還付総額を反映する。この総額は、報告会計年度に生ずる欠損金の繰戻しに関する還付税額でなければならない。

[注3.2.2.1.c.2.c]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AmountAttributed				オプション（必須）

AmountAttributed要素は、国内欠損金が繰り戻された各過去会計年度に係る対象租税の還付を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Year			xsd:date	検証

この要素は、Amount要素が帰せられる過去会計年度を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Amount			xsd:integer	検証

Amount要素は、過去会計年度に繰り戻された国内欠損金に関連する対象税額の還付を反映する。還付金額は、過去会計年度に繰り戻された国内欠損金と一致しなければならない。

[注3.2.2.1.c.2.a,b,etc]

DeemedDistTax

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DeemedDistTax				オプション（必須）

DeemedDistTax要素は、みなし分配租税取戻勘定の残高があり、第5.4.1条の原則に従って再計算される全ての過去会計年度を識別する。

[注3.2.3.2.b.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は、みなし分配租税の総額を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Election				オプション（必須）

オプションのElection要素は、第7.3.1条のみなし分配租税選択を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Recapture				検証

Recapture要素は、第7.3条の取戻しメカニズムを反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Year			xsd:date	検証

Year要素は、申告構成事業体が第7.3.2条に基づいて決定されたみなし分配租税額を報告しなければならない会計年度を反映する。

[注3.2.3.2.a.2.]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
StartAmount			xsd:integer	検証

この要素は、会計年度の開始時の取戻金額を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DDTYear-0			xsd:integer	検証

DDTYear0要素は、報告会計年度に支払われ、又は使用されたみなし分配租税額を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DDTYear-1			xsd:integer	検証

DDTYear-1要素は、1期前の会計年度に支払われ、又は使用されたみなし分配租税額を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DDTYear-2			xsd:integer	検証

DDTYear-2要素は、2期前の会計年度に支払われ、又は使用されたみなし分配租税額を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DDTYear-3			xsd:integer	検証

DDTYear-3要素は、3期前の会計年度に支払われ、又は使用されたみなし分配租税額を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TotalDDT			xsd:integer	検証

TotalDDT要素は、支払われ、又は使用されたみなし分配租税額の合計を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
EndAmount			xsd:integer	検証

EndAmount要素は、みなし分配租税取戻勘定の残高を反映する。各会計年度の終了時に、みなし分配租税取戻勘定の残高は、第7.3.3条に規定されているとおり、構成事業体（又はJVグループメンバー）が支払った税額、その国又は地域のGloBE純損失に最低税率を乗じた金額、及び当会計年度に適用された取戻勘定損失の繰越金額によって、時系列順に減額されるが、ゼロを下回ることはない。

この勘定が設定された会計年度（この表の1行目）から4会計年度後の末日に残高がある場合には、第7.3.5条が適用される。離脱構成事業体（又はJVグループメンバー）がMNEグループから脱退し、又は実質的に全ての資産を移転した会計年度には、第7.3.7条が適用される。この金額は、追加当期トップアップ税額が発生するかどうか決定に使用され、その結果は3.3.3.1に表示される。

[注3.2.3.2.a.3及び注3.2.3.2.a.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Reduction			xsd:integer	検証

Reduction要素は、過去会計年度の調整対象租税額に対する減額を反映する。申告構成事業体は、みなし分配租税取戻勘定の残高があり、第5.4.1条の原則に従って再計算される全ての過去会計年度を識別しなければならない。

[注3.2.3.2.b.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
IncrementalTopUpTax			xsd:integer	検証

IncrementalTopUpTax要素は、増加トップアップ税額を反映する。これは、第7.3.7条が適用される場合の、第5.4.1条に基づいて決定されるトップアップ税額の合計である。

[注3.2.3.2.b.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Ratio		1～6文字	globe:percentage	検証

Ratio要素は、処分時取戻割合を反映する。これは第7.3.8条で定義され、離脱構成事業体（又はJVグループメンバー）ごとに次の算式を用いて決定される：CE（又はJVグループメンバー）のGloBE所得／その国又は地域の純所得

DeferTaxAdjustAmt

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DeferTaxAdjustAmt				オプション（必須）

DeferTaxAdjustAmtは、第4.1.1条(b)による繰延税金調整総額を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は、その国又は地域の繰延税金調整総額を示す。

[注3.2.2.1.a.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DefTaxAmt			xsd:integer	検証

DefTaxAmt要素は、その国又は地域に所在する全ての構成事業体又はJVグループメンバーの財務諸表における繰延税金費用の総額を示す。繰延税金費用が繰延税金費用勘定の借方として計上される場合には、その金額を正の数として表示しなければならない。繰延税金費用が繰延税金費用勘定の貸方として計上される場合には、その金額を負の数として表示しなければならない。

[注3.2.2.1.a.1.a]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DiffCarryValue			xsd:integer	検証

DiffCarryValue要素は、GloBE上の簿価が会計上の簿価と異なる資産又は負債に関連する繰延税金費用を示す。

[注3.2.2.1.a.1.b]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
GloBEValue			xsd:integer	検証

GloBEValue要素は、資産又は負債のGloBE上の簿価に基づく繰延税金費用を示す。

[注3.2.2.1.a.1.c]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
BefRecastAdjust			xsd:integer	検証

BefRecastAdjust要素は、再計算及び調整前のGloBE適用上の繰延税金費用を示す。

[注3.2.2.1.a.1.d]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TotalAdjust			xsd:integer	検証

TotalAdjust要素は、行われた調整の総額を示す。

[注3.2.2.1.a.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
PreRecast			xsd:integer	検証

PreRecast要素は、再計算前のGloBE適用上の繰延税金費用を示す。

[注3.2.2.1.a.3.e]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Recast				オプション

Recast要素は、最低税率で再計算された繰延税金費用の金額を示す。Higher及び／又はLowerの税率を適用する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Higher			xsd:integer	オプション（必須）

Higher要素は、最低税率よりも高い税率で計上された繰延税金費用と、最低税率に基づく繰延税金費用との差額を示す。その会計年度に係る再計算前の繰延税金費用が繰延税金費用勘定の貸方として計上される場合には、その差額を正の金額として表示しなければならない。その会計年度に係る再計算前の繰延税金費用が繰延税金費用勘定の借方として計上される場合には、その差額を負の金額として表示しなければならない。

[注3.2.2.1.a.3.g]

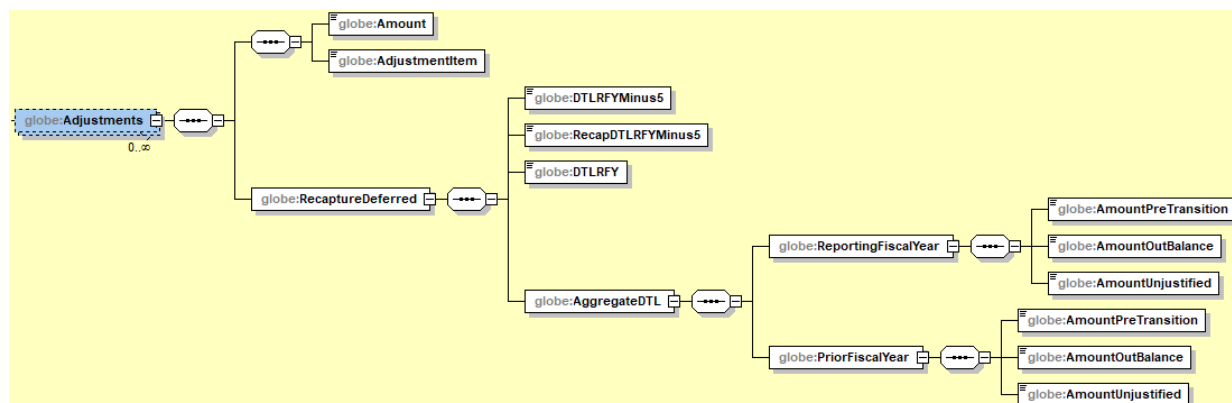
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Lower			xsd:integer	オプション（必須）

Lower要素は、最低税率よりも低い税率で計上されたGloBE損失（第4.4.3条）に帰せられる繰延税金費用と、最低税率に基づく繰延税金費用との差額を示す。この差額は、GloBE損失繰延税金資産の認識に帰せられる場合には負の金額として表示しなければならない、そのような繰延税金資産の取崩しに帰せられる場合には正の金額として表示しなければならない。

[注3.2.2.1.a.3.f]

DeferTaxAdjustAmount > Adjustements

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Adjustements				オプション（必須）



繰返し可能なAdjustements要素は、繰延税金費用に対して行われる調整を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Amount			xsd:integer	検証

Amount要素は、再計算前に決定された調整額を示す。調整により繰延税金調整総額が増加する場合には、その金額を正の数で表示しなければならない。調整により繰延税金調整総額が減少する場合には、その金額を負の数として表示しなければならない。

[注3.2.2.1.b]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdjustmentItem			globe:DeferredAdjustedTax_EnumType	検証

AdjustmentItem要素は、繰延税金調整のタイプを反映し、以下のリストから選択することとする：

- GIR2501 - GloBE所得又は損失から除外される項目に関連する繰延税金費用 - 第4.4.1(a)
- GIR2502 - 否認発生額に関連する繰延税金費用 - 第4.4.1条(b)
- GIR2503 - 不請求発生額に関連する繰延税金費用 - 第4.4.1条(b)
- GIR2504 - 繰延税金資産に関連する評価調整又は会計認識調整 - 第4.4.1条(c)
- GIR2505 - 税率の変更に関連する再測定から生ずる繰延税金費用 - 第4.4.1条(d)
- GIR2506 - 税額控除の発生及び使用に関連する繰延税金費用 - 第4.4.1条(e)
- GIR2507 - 代替繰越欠損金に係る繰延税金資産又はみなし代替繰越欠損金に係る繰延税金資産 - 第4.4.1条(e)
- GIR2508 - 会計年度中に支払われた否認発生額又は不請求発生額 - 第4.4.2条(a)
- GIR2509 - 会計年度中に支払われた取戻繰延税金負債 - 第4.4.2条(b)
- GIR2510 - 財務諸表に含まれない欠損金に係る繰延税金資産の認識 - 第4.4.2条(c)
- GIR2511 - 税率の引下げから生ずる繰延税金費用の調整 - 第4.6.2項
- GIR2512 - 税率の引上げから生ずる繰延税金費用の調整 - 第4.6.3項
- GIR2513 - MNEグループに加入し、又はMNEグループから離脱する構成事業体 - 第6.2条
- GIR2514 - フロースルー事業体である最終親事業体の繰延税金費用 - 第7.1条
- GIR2515 - 控除可能配当税制の対象となる最終親事業体の繰延税金費用 - 第7.2条
- GIR2516 - 構成事業体間の取引に帰せられる繰延税金調整 - 第9.1.3条

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RecaptureDeferred				検証

RecaptureDeferred要素は、会計年度中に支払われた取戻繰延税金負債を反映する。

[注3.2.2.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DTLRFYMinus5			xsd:integer	検証

DTLRFYMinus5要素は、報告会計年度の5期前の会計年度に請求された、取戻しルールの対象となる繰延税金負債の金額を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RecapDTLRFYMinus5			xsd:integer	検証

RecapDTLRFYMinus5要素は、報告会計年度の5期前の会計年度に関連する報告会計年度に決定された取戻繰延税金負債の金額を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

DTLRFY			xsd:integer	検証
--------	--	--	-------------	----

DTLRFY要素は、報告会計年度に請求された取戻しルールの対象となる繰延税金負債の金額を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AggregateDTL				検証

AggregateDTL要素は、報告会計年度及び過去会計年度の繰延税金負債取戻勘定の合計額をそれぞれ示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ReportingFiscalYear				検証

ReportingFiscalYear要素は、報告会計年度の繰延税金負債取戻勘定の合計額を示し、AmountPreTransition、AmountOutBalance及びAmount Unjustified要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AmountPreTransition			xsd:integer	検証

AmountPreTransition要素は、移行期間前の繰延税金負債の金額を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AmountOutBalance			xsd:integer	検証

AmountOutBalance要素は、残高を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AmountUnjustified			xsd:integer	検証

AmountUnjustified要素は、不当残高を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
PriorFiscalYear				検証

PriorFiscalYear要素は、過去会計年度の繰延税金負債取戻勘定の合計額を指定し、AmountPreTransition、AmountOutBalance及びAmount Unjustified要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AmountPreTransition			xsd:integer	検証

AmountPreTransition要素は、移行期間前の繰延税金負債の金額を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

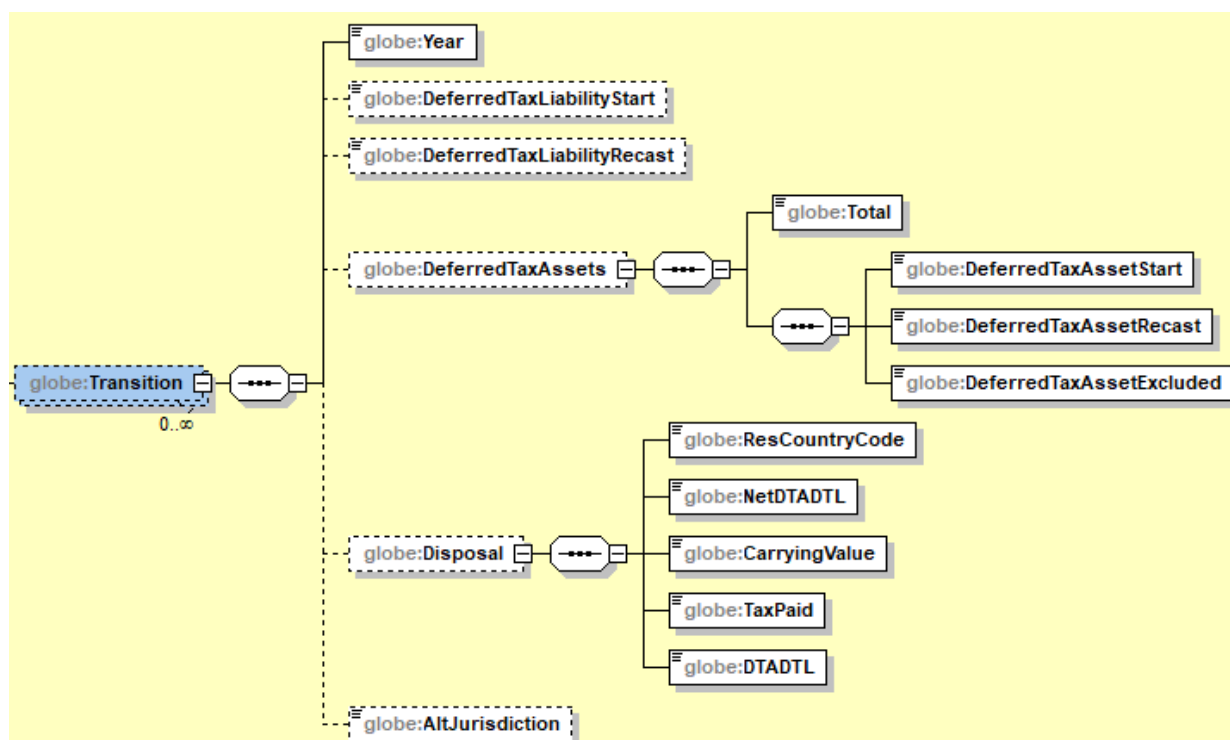
AmountOutBalance			xsd:integer	検証
------------------	--	--	-------------	----

AmountOutBalance要素は、残高を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AmountUnjustified			xsd:integer	検証

AmountUnjustified要素は、不当残高を示す。

Transition



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Transition				オプション（必須）

繰返し可能なTransition要素には、報告会計年度がMNEグループ及び／又は特定の国又は地域に関する移行年度である場合における、報告すべき追加情報が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Year			xsd:date	検証

Year要素は、移行年度を示し、毎年報告しなければならない。一方、このセクションの他の全ての情報は、報告会計年度が移行年度である場合にのみ、GloBE情報報告書において報告しなければならない。

[注3.2.2.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DeferredTaxLiabilityStart			xsd:integer	オプション（必須）

DeferredTaxLiabilityStart要素は、移行年度の開始時における繰延税金負債を反映する。移行年度の開始時の繰延税金負債は、国又は地域の移行年度の開始時において財務諸表に計上されている繰延税金負債の合計額であり、2021年11月30日後から移行年度開始前までにおいて、構成事業体又はJVグループメンバー間での資産の移転により発生した繰延税金負債は含まれないものとする。これらの繰延税金負債は、第9.1.3条の適用に関する表に反映しなければならない。

[注3.2.2.3.a.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DeferredTaxLiabilityRecast			xsd:integer	オプション（必須）

DeferredTaxLiabilityRecast要素は、最低税率による繰延税金負債の再計算を反映する。適用される国内税率が最低税率より低い場合には、最低税率による繰延税金負債の再計算は適用されない。

[注3.2.2.3.a.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DeferredTaxAssets				オプション（必須）

DeferredTaxAssets要素は、繰延税金資産を反映する。処分を行う構成事業体の財務諸表に反映される、移転資産に関する既存の繰延税金資産又は負債の合計の純額である。繰延税金資産は正の数として報告し、繰延税金負債は負の数として報告しなければならない。

[注3.2.2.3.a.3～3.2.2.3.a.6]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Totalは繰延税金資産の総額を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DeferredTaxAssetStart			xsd:integer	検証

DeferredTaxAssetStart要素は、移行年度の開始時の繰延税金資産を反映する。移行年度の開始時の繰延税金資産は、国又は地域の移行年度の開始時において財務諸表に計上される繰延税金資産の合計額であり、2021年11月30日後から移行年度開始前までにおいて、構成事業体又はJVグループメンバー間での資産の移転により発生した繰延税金資産は含まれないものとする。これらの繰延税金資産は、第9.1.3条の適用に関する表に反映しなければならない。

[注3.2.2.3.a.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DeferredTaxAssetRecast			xsd:integer	検証

DeferredTaxAssetRecast要素は、適用国内税率が最低税率よりも低い場合には、最低税率での再計算が適用されないことを反映する。ただし、繰延税金資産がGloBE損失に帰せられることを証明できる場合には、最低税率より低い税率で計上されている繰延税金資産を最低税率で再計算することができる。

[注3.2.2.3.a.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DeferredTaxAssetExcluded			xsd:integer	検証

DeferredTaxAssetExcluded要素は、第9.1.2条に基づく除外項目から生ずる繰延税金資産を反映する。第3章に基づくGloBE所得又は損失の計算から除外される項目から生ずる繰延税金資産は、そのような繰延税金資産が2021年11月30日後に行われる取引で生ずる場合には除外しなければならない。

[注3.2.2.3.a.5]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Disposal				オプション（必須）

オプションのDisposal要素は、処分を行う構成事業体又はJVグループメンバーが、2021年11月30日後から移行年度開始前までに、この国又は地域に所在する構成事業体又はJVグループメンバーに資産を処分した場合には、処分を行う構成事業体又はJVグループメンバーが所在する全ての国又は地域を示す。処分を行う構成事業体又はJVグループメンバーが所在する国又は地域は、取得を行う事業体の国又は地域と同じである可能性がある。

[注3.2.2.3.b.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ResCountryCode		2文字	iso:CountryCode_Type	検証

ResCountryCode要素は、処分を行う構成事業体又はJVグループメンバーの国又は地域を（ISO 3166-1 Alpha 2標準に基づく2文字のアルファベットの国コードの形式で）反映する。申告構成事業体は、無国籍構成事業体については「無国籍」と報告しなければならない。無国籍構成事業体に関して報告する場合には、コード「X5」を使用する必要がある。

[注3.2.2.3.b.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
NetDTADTL			xsd:integer	検証

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
CarryingValue			xsd:integer	検証

CarryingValue要素は、GloBE適用上の移転資産の簿価を反映する。これは、移行年度の開始時において、GloBEルール上、認識されるべき移転資産の簿価の合計額である。この金額は、移転日における移転資産の処分に関する財務会計上の簿価を調整することにより決定される。処分に
関する財務諸表上の簿価は、第9.1.3条に従って適切に調整され、さらに、その取引後から移行
年度開始前までに計上された資本的支出、償却又は減価償却について調整されなければならない。
[注3.2.2.3.b.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TaxPaid			xsd:integer	検証

TaxPaid要素は、その取引に関して支払った税額を反映する。
[注3.2.2.3.b.2]

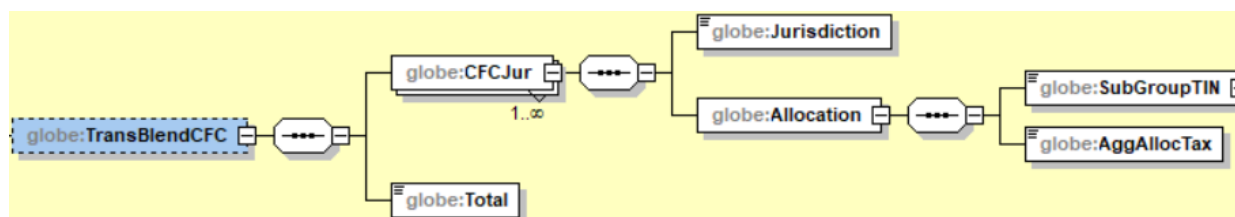
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DTADTL			xsd:integer	検証

DTADTL要素は、GloBE適用上の移転資産に関する繰延税金資産又は負債の純額が、移行年度開
始時に、移転資産に関して、GloBEルールの適用上、認識されるべき繰延税金資産及び負債の純
額であることを反映する。この金額は、移転資産に関して、処分を行う事業体の財務諸表におい
て生ずる移転前の既存の繰延税金資産及び負債の純額を調整することにより決定される。既存の
繰延税金資産及び負債の純額は、第9.1.3条に従って適切に調整されなければならない。繰延税
金資産は正の数で報告し、繰延税金負債は負の数で報告しなければならない。
[注3.2.2.3.b.5]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AltJurisdiction		2文字	iso:countrycode_Type	オプション（必須）

該当する場合には、AltJurisdiction要素は、代替移行年度が適用される国又は地域を示す。

TransBlendCFC



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TransBlendCFC				オプション（必須）

TransBlendCFC要素及び関連するサブ要素は、第4.3.2条(c)及び関連する執行ガイダンスに従って、ブレンデッドCFC税が(i)この国又は地域に所在し、このサブグループに属する構成事業体オーナーから配分される場合、又は(ii)この国又は地域に所在し、このサブグループに属する構成事業体に対して配分される場合に入力することとする。

[注3.2.1.2.c]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は、会計年度に配分されるブレンデッドCFC税の総額を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
CFCJur				検証

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Jurisdiction			iso:CountryCode_Type	検証

Jurisdiction要素は、ブレンデッドCFC税制に基づいてブレンデッドCFC税が配分された構成事業体が所在する国又は地域を示す。国又は地域は、ISO 3166-1 Alpha 2標準に基づく2文字のアルファベットの国コードで報告しなければならない。

[注3.2.1.2.c.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Allocation				検証

Allocation要素には、特定のサブグループに配分されるブレンデッドCFC税に関する情報が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

SubGroupTIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証
-------------	--	---------	----------------	----

TINタイプは、UPE、構成事業体、JV又はJVの子会社が、GloBEの適用上、所在する国又は地域において対象租税のために使用される、UPE、構成事業体、JV又はJV子会社の納税者番号を示し、TINが利用できない場合には、企業／会社登録コード／番号などの機能的同等物を示す。

また、TINタイプは、UPE、構成事業体、JV又はJV子会社に対して、申告が行われる国又は地域（「申告国又は地域」）から発行されたTIN（もしあれば）を示す。これは以下の要素で構成される。

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

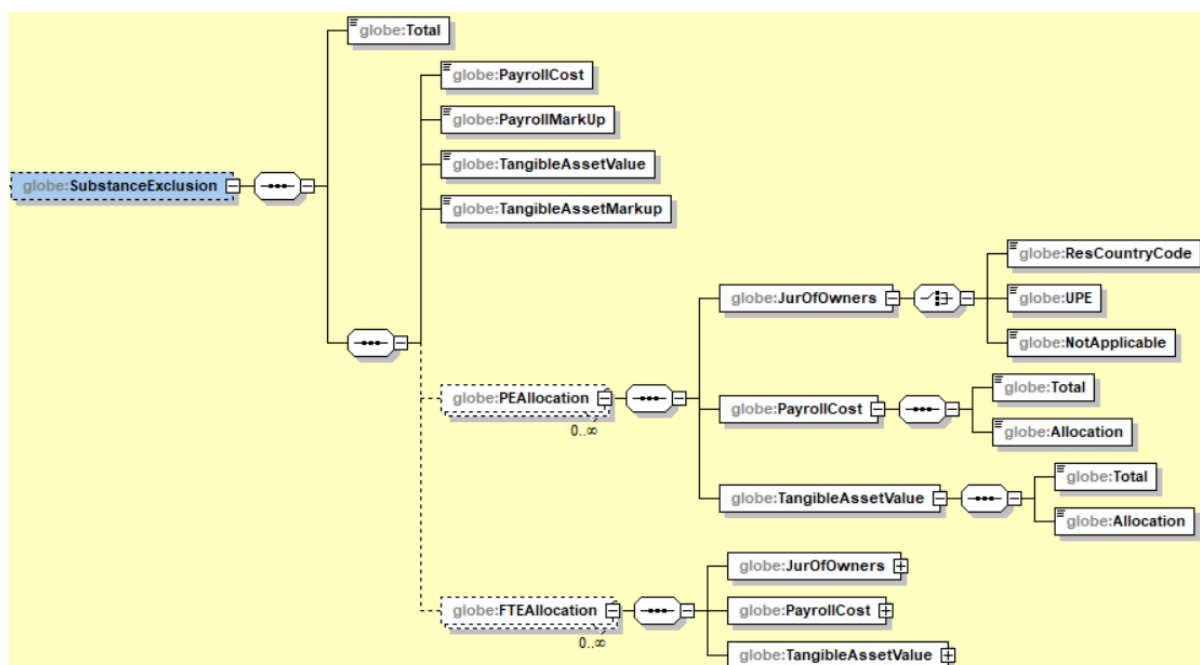
[注3.2.1.2.c.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AggAllocTax			xsd:integer	検証

AggAllocTax要素は、会計年度に係る構成事業体オーナーからCFCJur要素で識別される国又は地域に所在する構成事業体に配分されるブレンデッドCFC税を示す。

[注3.2.1.2.c.3]

Substance Exclusion



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
SubstanceExclusion				オプション（必須）

SubstanceExclusion要素は、その国又は地域の実質ベース所得除外を反映する。

[注3.3.2.1.5]

申告構成事業体がその国又は地域に係る表を入力しない場合には、3.2.3.1.a.1.cの実質ベース所得除外を適用しない選択をしたものとみなされる。

[注3.3.2.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は実質ベース所得除外の総額を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
PayrollCost			xsd:integer	検証

PayrollCost要素は、その国又は地域で活動する適格被雇用者の関連する適格支払給与には、(i)資産計上され、適格有形資産の簿価に含まれるもの、又は(ii)構成事業体の国際海運業所得及び適格付随的国際海運業所得に帰せられるものが含まれないものとするを示す。被雇用者が、報告会計年度中に被雇用者の国又は地域内で、MNEグループのためにそれらの活動の50%以下を引き受ける場合には、関連する適格被雇用者の適格支払給与は、関連する執行ガイダンスに従って、雇用者の国又は地域内で費やした被雇用者の労働時間に帰せられる支払給与の割合のみを考慮しなければならない。適格被雇用者の関連する適格支払給与には、関連する執行ガイダンスに従って、第7.2.1条に基づいて最終親事業体のGloBE所得から除外される所得に帰せられる適格支払給与の額は含まれないものとする。

事業体が、その事業体の直接又は間接の所有持分を移転した結果としてMNEグループの構成事業体となる、又はなくなる場合には、対象者の適格支払給与の計算は、第6.2.1条(d)に規定されているとおり、最終親事業体の連結財務諸表に反映されたそれらの費用のみを考慮しなければならない。

[注3.3.2.1.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
PayrollMarkUp		1～6文字	globe:percentage	検証

PayrollMarkUp要素は、報告会計年度に係る関連するマークアップ率の適用を示す。

[注3.3.2.1.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TangibleAssetValue			xsd:integer	検証

TangibleAssetValueは、その国又は地域に所在する関連する適格有形資産の簿価を反映する。その国又は地域に所在する関連する適格有形資産の簿価には、(i)売却、ファイナンス・リース又は

投資のために保有される不動産（土地又は建物を含む）の簿価、並びに(ii)構成事業体の国際海運業所得及び適格付随的国際海運業所得を生じさせるために使用される有形資産の簿価は含まれないものとする。

有形資産が、その所有者（又は該当する場合には、賃借人）の国又は地域内に所在している期間が報告会計年度の50%以下の場合には、関連する適格有形資産の簿価は、関連する執行ガイダンスに従って、資産が所有者（又は該当する場合には、賃借人）の国又は地域内に所在していた期間に帰せられる資産の簿価のみを考慮するものとする。関連する適格有形資産の簿価には、関連する執行ガイダンスに従って、第7.2.1条に基づいて最終親事業体のGloBE所得から除外される所得に帰せられる適格有形資産の簿価は比例的に含まれないものとする。

事業体が、その事業体の直接又は間接の所有持分を移転した結果としてMNEグループの構成事業体となる、又はなくなる場合には、対象者の適格有形固定資産の簿価の計算は、第6.2.1条(e)に規定されているとおり、対象者がMNEグループのメンバーであった関連する会計年度の長さに応じて、比例的に調整されなければならない。

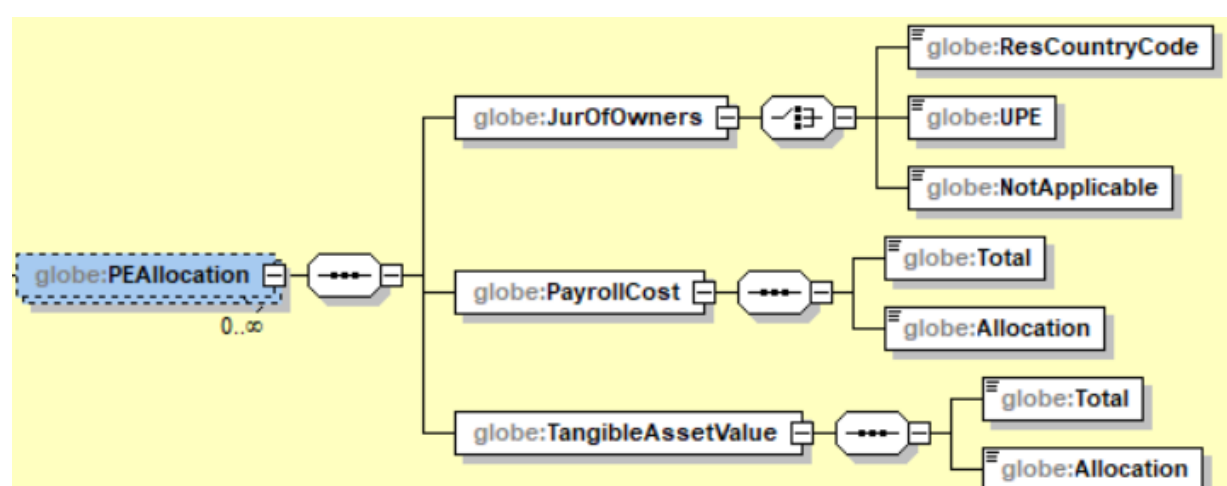
[注3.3.2.1.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TangibleAssetMarkup		1～6文字	globe:percentage	検証

TangibleAssetMarkup要素は、報告会計年度に係る関連するマークアップ率の適用を示す。

[注3.3.2.1.4]

PE Allocation



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
PEAllocation				オプション（必須）

繰返し可能なPEAllocation要素は、実質ベース所得除外適用上の、恒久的施設への適格支払給与及び適格有形資産の簿価の配分を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
JurOfOwners				検証

JurOfOwners要素には、所有者の居住地に関する更なる情報が含まれる。これは、ResCountryCode、UPE及びNotApplicable要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ResCountryCode		2文字	iso:CountryCode_Type	検証（選択）

ResCountryCode要素は、GloBEの適用上、恒久的施設が存在する国又は地域を（ISO 3166-1 Alpha 2標準に基づく2文字のアルファベットの国コードの形式で）示す。申告構成事業体は、第5.3.6条に基づいて、適格支払給与及び適格有形資産の簿価を配分される恒久的施設が存在する国又は地域ごとに、個別の行を入力しなければならない。申告構成事業体は、恒久的施設がGloBEの適用上無国籍である場合には、「無国籍」と報告しなければならない。無国籍構成事業体に関する報告の場合には、コード「X5」を使用する必要がある。

[注3.3.2.2.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UPE			xsd:boolean	検証（選択）

UPE要素は、所有者がUPEであるかどうかを示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
NotApplicable			xsd:boolean	検証（選択）

Not Applicable要素は、所有者に関する居住情報が提供されないことを示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
PayrollCost				検証

PayrollCost要素は、調整前の、その国又は地域に存在する全ての主要事業体に係る関連する適格支払給与の総額を示す。

[注3.3.2.2.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は、関連する適格支払給与の総額を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Allocation			xsd:integer	検証

Allocation要素は、各国又は地域に所在する恒久的施設に配分される関連する適格支払給与の総額を示す。

[注3.3.2.2.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TangibleAssetValue				検証

TangibleAssetValue要素は、調整前の、その国又は地域に所在する全ての主要事業体に係る関連する適格有形資産の簿価の合計を示す。

[注3.3.2.2.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

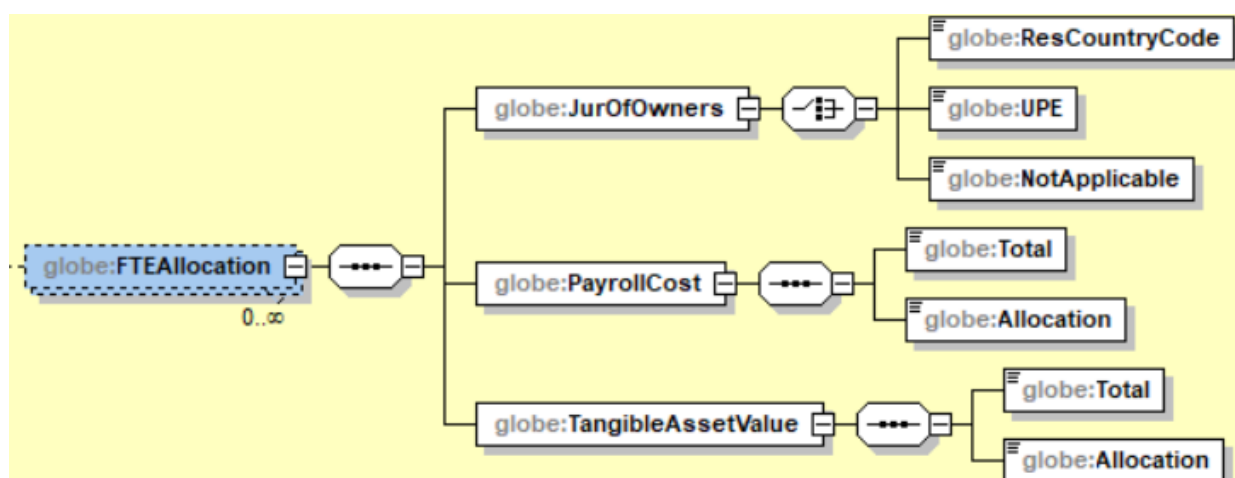
Total要素は有形資産の総額を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Allocation			xsd:integer	検証

Allocation要素は、各国又は地域に所在する恒久的施設に配分される関連する有形資産価値の総額を示す。

[注3.3.2.2.5]

FTE Allocation



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

FTEAllocation				オプション（必須）
---------------	--	--	--	-----------

FTE Allocation要素は、実質ベース所得除外の適用上、フロースルー事業体の適格支払給与及び適格有形資産の簿価の配分を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
JurOfOwners				検証

JurOfOwners要素には、所有者の居住地に関する更なる情報が含まれる。これは、ResCountryCode、UPE及びNotApplicable要素で構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ResCountryCod		2文字	iso:CountryCode_Type	検証（選択）

ResCountryCode要素は、GloBEの適用上、構成事業体オーナー（又はJVグループメンバー）が所在する国又は地域に係るISO 3166- 1 Alpha 2標準に基づく2文字のアルファベットの国コードを示す。申告構成事業体は、無国籍構成事業体オーナーごとに「無国籍」と報告しなければならない。申告構成事業体は、第5.3.7条(a)に基づいて、適格支払給与及び適格有形資産が帰せられる構成事業体オーナー（又はJVグループメンバー）が所在する国又は地域ごとに、個別の行を入力しなければならない。第5.3.7条(b)が適用される場合には、申告構成事業体は、（第7.1.1条の適用後のUPEに配分される適格支払給与及び適格有形資産について）個別の行に「UPE」と報告しなければならない。申告構成事業体は、第5.3.7条(c)に基づいてMNEグループの実質ベース所得除外計算から除外される、その他全ての適格支払給与及び適格有形資産について、「該当なし」と報告しなければならない。無国籍構成事業体に関する報告の場合には、コード「X5」を使用する必要がある。

[注3.3.2.3.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UPE			xsd:boolean	検証（選択）

UPE要素は、所有者がUPEであるかどうかを示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
NotApplicable			xsd:boolean	検証（選択）

Not Applicable要素は、所有者に関する居住情報が提供されないことを示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
PayrollCost				検証

PayrollCost要素は、第5.3.6条に基づく調整後及び第5.3.7条に基づく調整前の、その国又は地域

に所在する全てのフロースルー事業体に係る関連する適格支払給与の総額を反映する。

[注3.3.2.3.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は、第5.3.6条に基づく調整後及び第5.3.7条に基づく調整前の、その国又は地域に所在する全てのフロースルー事業体に係る関連する適格有形資産の簿価の総額を示す。

[注3.3.2.3.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Allocation			xsd:integer	検証

Allocation要素は、各国又は地域に所在する構成事業体オーナー（又はJVグループメンバー）に配分される関連する適格支払給与の総額を示す。

[注3.3.2.3.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TangibleAssetValue				検証

TangibleAssetValue要素は、第5.3.6条に基づく調整後及び第5.3.7条に基づく調整前の、その国又は地域に所在する全てのフロースルー事業体に係る関連する適格有形資産の簿価の総額を示す。

[注3.3.2.3.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Total			xsd:integer	検証

Total要素は有形固定資産の総額を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Allocation			xsd:integer	検証

Allocation要素は、各国又は地域に所在する構成事業体オーナー（又はJVグループメンバー）に配分される関連する有形資産価値の総額を示す。

[注：3.3.2.3.5]

ExcessProfits

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
----	----	-----	--------	----

[注3.3.3.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Articles			globe:NonArt415_EnumType	検証

Articles要素は、第5.4.1条に基づいて過去会計年度に係るETR及びトップアップ税額の再計算を要求又は許可するETR調整条項を反映する。この要素は必要に応じて繰り返すことができる。関連するオプションは以下のリストから選択する必要がある：

- GIR2601 - 第3.2.6条
- GIR2602 - 第4.4.4条
- GIR2603 - 第4.6.1条
- GIR2604 - 第4.6.4条
- GIR2605 - 第7.3.5条
- GIR2606 - 第7.3.7条

[注3.3.3.1.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Year			xsd:date	検証

Year要素は、第4.4.4条が、関連する会計年度が5期前の会計年度であり、追加当期トップアップ税額がセクション3.2.2.2で提供された情報に基づいて決定される場合にのみ、選択されなければならないことを示す。第7.3.5条は、関連する会計年度が4期前の会計年度であり、追加当期トップアップ税額がセクション3.2.3.2.aで提供された情報に基づいて決定される場合にのみ、選択されなければならない。

[注3.3.3.1.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Previous				検証

Previous要素は、3.3.3.1.1で報告されるETR調整条項が適用される過去会計年度を示す。

[注3.3.3.1.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
NetGlobeIncome			xsd:integer	検証

NetGlobeIncome要素は、GloBE純所得又は純損失を反映する。この要素には、以前に報告された金額に関する情報が含まれ、その金額は、（もしあれば）過去会計年度における関連するETR調整条項により求められた調整を考慮しなければならない。再計算された金額は、（もしあれば）

過去会計年度及び報告会計年度に適用された関連するETR調整条項により求められた調整を考慮しなければならない。

[注3.3.3.1.4-9.a及び注3.3.3.1.4-9.b]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdjustedCoveredTax			xsd:integer	検証

AdjustedCoveredTax要素は、調整後対象租税額を示す。

[注3.3.3.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ETRRate		1～6文字	globe:percentage	検証

ETRRate要素はETRを反映する。

[注3.3.3.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ExcessProfits			xsd:integer	検証

ExcessProfits要素は超過利益を示す。

[注3.3.3.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TopUpTaxPercentage		1～6文字	globe:percentage	検証

TopUpTaxPercentage要素は、トップアップ税率を示す。

[注3.3.3.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TopUpTax			xsd:integer	検証

TopUpTax要素は、トップアップ税額を示す。

[注3.3.3.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Recalculated				検証

Recalculated要素は、ETR調整が適用される過去会計年度を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
NetGlobeIncome			xsd:integer	検証

NetGlobeIncome要素は、GloBE純所得又は純損失を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdjustedCoveredTax			xsd:integer	検証

AdjustedCoveredTax要素は、調整後対象租税額を示す。

[注3.3.3.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ETRRate		1～6文字	globe:percentage	検証

ETRRate要素はETRを示す。

[注3.3.3.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ExcessProfits			xsd:integer	検証

ExcessProfits要素は超過利益を示す。

[注3.3.3.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TopUpTaxPercentage		1～6文字	globe:percentage	検証

TopUpTaxPercentage要素は、トップアップ税率を示す。

[注3.3.3.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TopUpTax			xsd:integer	検証

TopUpTax要素はトップアップ税額を示す。

[注3.3.3.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdditionalTopUpTax			xsd:integer	検証

AdditionalTopUpTax要素は、追加当期トップアップ税額を示す。

[注3.3.3.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Art4.1.5				オプション（必須）

Art4.1.5要素は、第4.1.5条適用上の追加当期トップアップ税額を示す。この表は、MNEグループがその国又は地域においてGloBE純所得を有する場合には入力する必要はない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdjustedCoveredTax			xsd:integer	検証

AdjustedCoveredTax要素は、その国又は地域の調整後対象租税額を示す。

[注3.3.3.2.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
GlobeLoss			xsd:integer	検証

GlobeLoss要素は、その国又は地域のGloBE損失を示す。

[注3.3.3.2.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ExpectedAdjustedCoveredTax			xsd:integer	検証

ExpectedAdjustedCoveredTax要素は、その国又は地域の期待調整後対象租税額を示す。

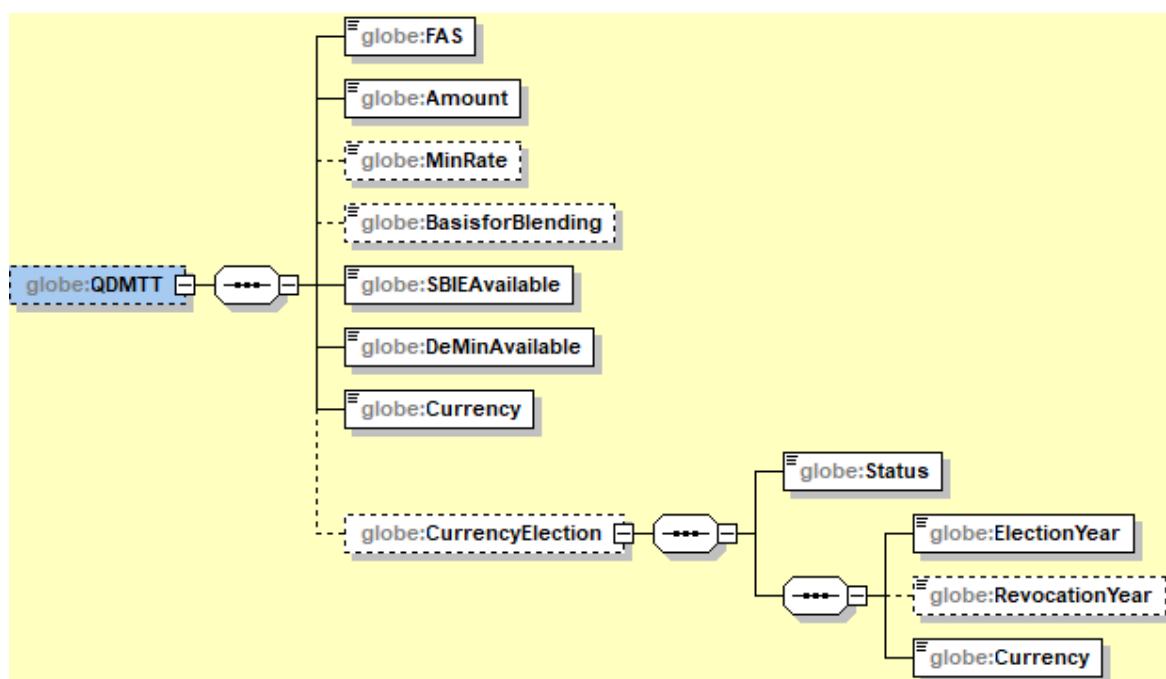
[注3.3.3.2.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdditionalTopUpTax			xsd:integer	検証

AdditionalTopUpTax要素は、第4.1.5条に基づく追加現行トップアップ税額を示す。

[注3.3.3.2.4]

QDMTT



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
QDMTT				オプション（検証）

QDMTT要素は、その国又は地域において支払うべきQDMTTを示す。

[注3.3.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
FAS		1～200文字	stf:StringMin1Max200_Type	検証

FAS要素は、その国又は地域の公認会計組織により認められている許容財務会計基準、又はQDMTTに基づく国内超過利益の計算に使用される、重要な競争上の歪みを防止するために調整された公認財務会計基準を示す。

[注3.3.4.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Amount			xsd:integer	検証

Amount要素は、報告会計年度に係るその国又は地域のQDMTTに基づく支払額を示す。この金額は、1.2.2.3で報告される通貨で提供しなければならない。

[注3.3.4.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
MinRate		1～6文字	globe:percentage	オプション（必須）

MinRate要素は、QDMTTの適用上、適用される最低税率が15%より高い場合の、その最低税率を示す。[注3.3.4.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
BasisforBlending		1～4000文字	stf:StringMin1Max4000_Type	オプション（必須）

BasisforBlending要素は、ETR計算上、所得と税額のブレンド基準がGloBEルールと異なる場合の、そのブレンド基準を反映する。

[注3.3.4.4.]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
SBIEAvailable		1文字	xsd:boolean	検証

SBIEAvailable要素には、QDMTTの適用においても利用可能な実質ベース所得除外に関する情報が含まれる。

[注3.3.4.6]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DeMinAvailable		1文字	xsd:boolean	検証

DeMinAvailable要素には、QDMTTの適用上、利用可能なデミニマス除外に関する情報が含まれる。

[注3.3.4.7.]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Currency		3文字	iso:currCode_Type	検証

Currency要素はQDMTT情報の申告に使用される通貨のiso:currCode_Typeを反映する。その値が表現される通貨のコードは、ISOコードリスト4217から取得し、属性currCodeに追加しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
CurrencyElection				オプション（検証）

CurrencyElection要素は、連結財務諸表の表示通貨又は現地通貨を用いてQDMTT計算を行う選択の適用を示す。この選択は、QDMTT法制がQDMTT計算を現地会計基準で行うことを要求しており、その国又は地域の複数の構成事業体が、現地通貨以外の通貨を機能通貨として使用する場合にのみ行うことができる。

5年選択のため、Status、Election Year及びRevoation Year並びにQDMTT計算が連結財務諸表の表示通貨又は現地通貨のどちらを使用しているかを報告するCurrency要素で構成される。

[注3.3.4.6]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Status		1文字	xsd:Boolean	検証

Status要素はブール値であり、許容される入力データ型はTrue又はFalseである。Trueの場合には、ElectionYear及びRevocationYear要素を必ず入力しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ElectionYear			xsd:date	検証

Election Year要素は、その選択の選択年度を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RevocationYear			xsd:date	オプション（必須）

Revocation Year要素は、選択を取り止めた年度（もしあれば）を示す。申告構成事業体は、取消年度及び取消年度後4会計年度に申告されるGloBE情報申告書において、取消年度を報告しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Currency			globe:Currency_EnumType	オプション（検証）

Currency要素は、現地通貨又はCFS表示通貨のどちらを使用するか5年選択が行われることを示す。許容される入力は以下のとおり：

- GIR3101 - 現地
- GIR3102 - CFS

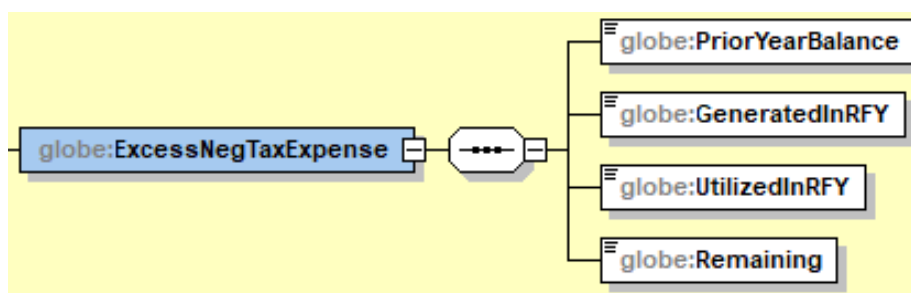
Top-Up Tax

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TopUpTax			xsd:integer	検証

TopUpTax要素は、国別トップアップ税額を示す。

[注3.3.1.f]

Excess Negative Tax Expense



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ExcessNegTaxExpense				検証

ExcessNegTaxExpense要素は、負の繰延税金費用超過額に関連する、PriorYearBalance、GeneratedInRFY、UtilizedInRF及びRemaining要素で構成される。

[注3.2.1.2.b]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
PriorYearBalance			xsd:integer	検証

PriorYearBalance要素には、過年度から負の繰延税金費用超過額の残高が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
GeneratedInRFY			xsd:integer	検証

GeneratedInRFY要素には、報告会計年度に生ずる負の税金費用超過額が含まれる。

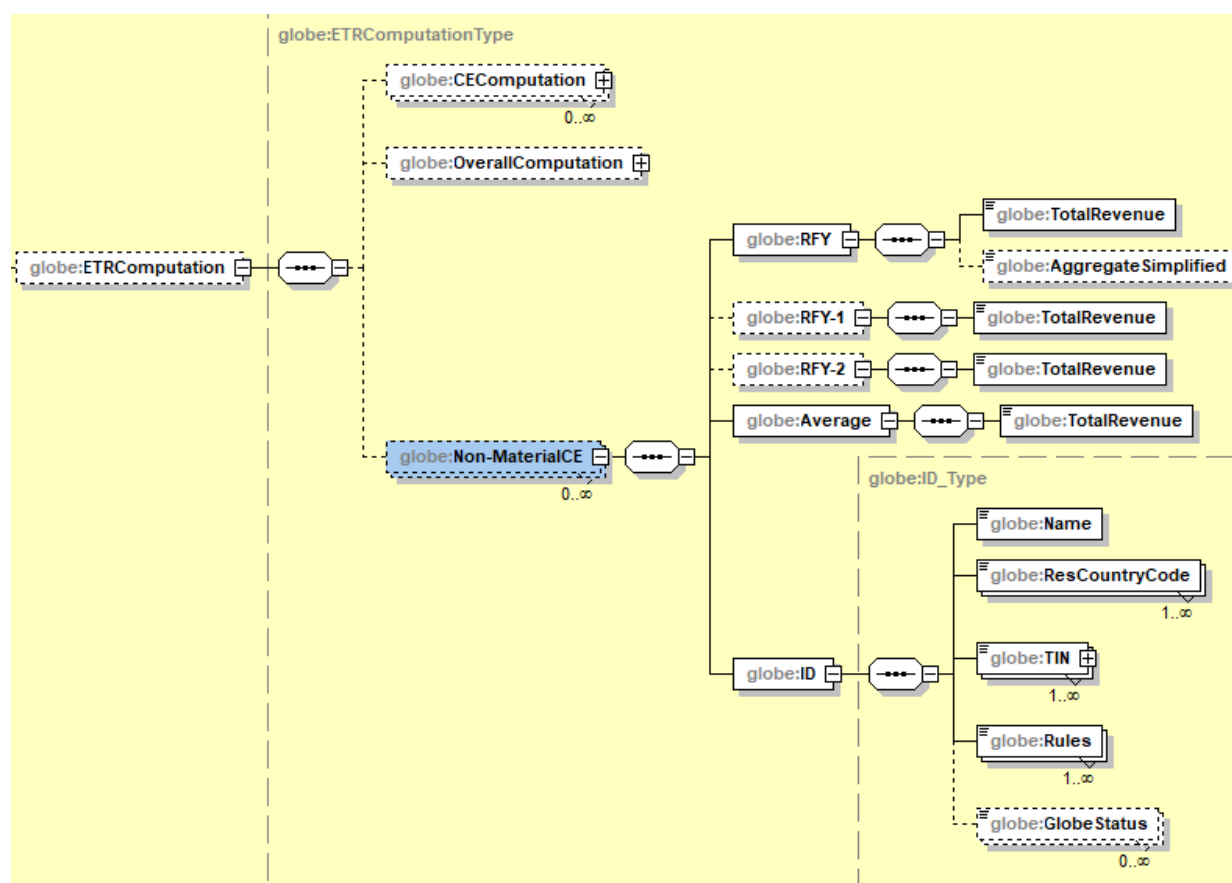
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UtilizedInRFY			xsd:integer	検証

UtilizedInRFY要素には、報告会計年度に使用される負の税金費用超過額が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Remaining			xsd:integer	検証

Remaining要素には、報告会計年度終了時点の負の税金費用超過額の残高が含まれる。

Non-Material CE



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Non-MaterialCE				オプション（必須）

Non-Material CE要素は、非重要構成事業体の簡素化計算を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RFY				検証

RFY要素は報告会計年度を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TotalRevenue			xsd:integer	検証

TotalRevenue要素は、報告可能会計年度の総収入を反映する。非重要構成事業体の簡素化計算が、2.2.1.1.1のオプション(a)、(b)又は(c)に基づいて利用される場合には、申告構成事業体は、その国又は地域に所在する全ての非重要構成事業体の、当会計年度、前会計年度（該当する場合）、2期前の会計年度（該当する場合）及びこれらの3会計年度の平均における、セーフ・ハーバー及びペナルティ・リリーフに関する文書に定義されている、総収入をそれぞれ報告しなければならない。

[注2.2.1.2.a.1(a-d)]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AggregateSimplified			xsd:integer	オプション（必須）

AggregateSimplified要素は、簡素化税額の総額を反映する。非重要構成事業体の簡素化計算が、2.2.1.1.1のオプション(b)に基づいて利用される場合には、申告構成事業体は、報告会計年度におけるその国又は地域に所在する全ての非重要構成事業体の、セーフ・ハーバー及びペナルティ・リリーフに関するドキュメントに定義されている、簡素化税額の総額を報告しなければならない。

[注2.2.1.2.a.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RFY-1				オプション（必須）

RFY-1要素は、前会計年度を示す（該当する場合）。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TotalRevenue			xsd:integer	検証

TotalRevenue要素は、報告可能会計年度の総収入を反映する。非重要構成事業体の簡素化計算が、2.2.1.1.1のオプション(a)、(b)又は(c)に基づいて利用される場合には、申告構成事業体は、その国又は地域に所在する全ての非重要構成事業体の、当会計年度、前会計年度（該当する場合）、2期前の会計年度（該当する場合）及びこれらの3会計年度の平均における、セーフ・ハーバー及びペナルティ・リリーフに関する文書に定義されている、総収入をそれぞれ報告しなければならない。

[注2.2.1.2.a.1(a-d)]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RFY-2				オプション（必須）

RFY-2要素は、2期前の会計年度を示す（該当する場合）。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TotalRevenue			xsd:integer	検証

TotalRevenue要素は、報告可能会計年度の総収入を反映する。非重要構成事業体の簡素化計算が、2.2.1.1.1のオプション(a)、(b)又は(c)に基づいて利用される場合には、申告構成事業体は、その国又は地域に所在する全ての非重要構成事業体の、当会計年度、前会計年度（該当する場合）、2期前の会計年度（該当する場合）及びこれらの3会計年度の平均における、セーフ・ハ

ーバー及びペナルティ・リリーフに関する文書に定義されている、総収入をそれぞれ報告しなければならない。

[注2.2.1.2.a.1(a-d)]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Average				検証

Average要素は3会計年度の平均を示す（該当する場合）。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TotalRevenue			xsd:integer	検証

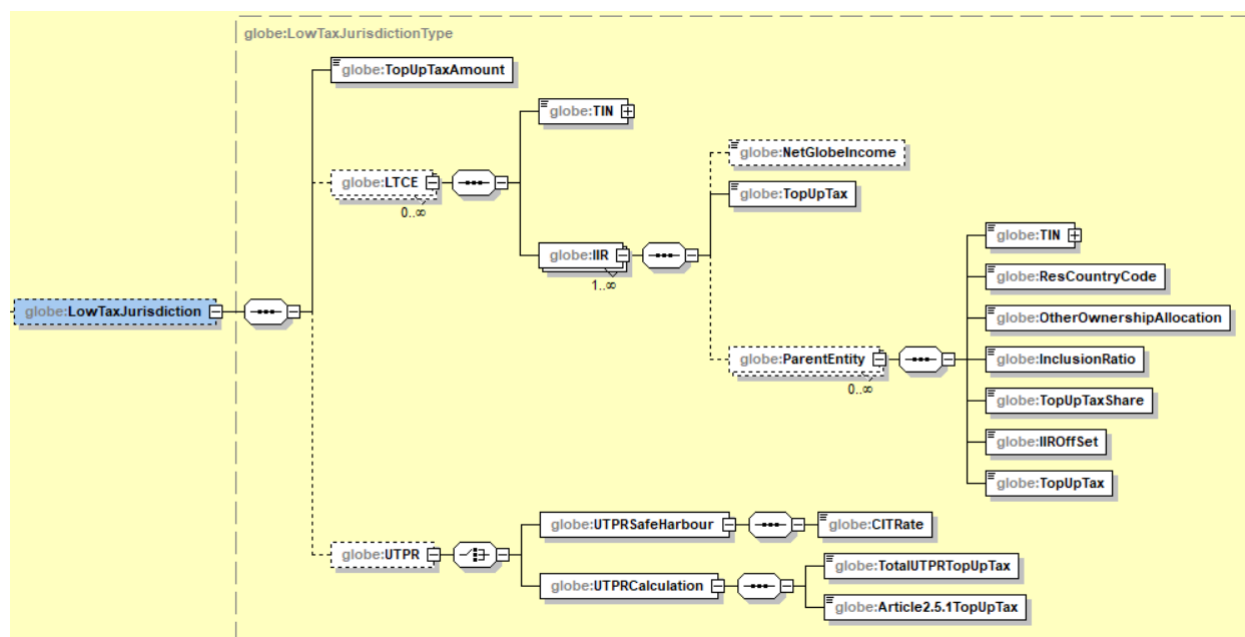
TotalRevenue要素は、3会計年度の平均の総収入を反映する。非重要構成事業体の簡素化計算が、2.2.1.1.1のオプション(a)、(b)又は(c)に基づいて利用される場合には、申告構成事業体は、その国又は地域に所在する全ての非重要構成事業体の、当会計年度、前会計年度（該当する場合）、2期前の会計年度（該当する場合）及びこれらの3会計年度の平均における、セーフ・ハーバー及びペナルティ・リリーフに関する文書に定義されている、総収入をそれぞれ報告しなければならない。

[注2.2.1.2.a.1(a-d)]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ID			globe:ID_Type	検証

ID要素は、構成事業体、JV、JV子会社及びUPEに関するGIR XMLスキーマに含まれる識別情報を定義する。<globe:ID_Type>要素はスキーマ全体で使用され、ID Typeセクションで完全に表示される。

Low Tax Jurisdiction



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
LowTaxJurisdiction			globe:LowTaxJurisdictionType	オプション（必須）

各軽課税国について、この要素は、QIIRが適用される各軽課税構成事業体（又はJVグループメンバー）に関して支払うべきトップアップ税額を識別し、各親事業体のトップアップ税額の配分割合を識別する。さらに、UTPRトップアップ税額がある場合には、その計算の詳細も提供する。これは、TopUpTaxAmount、LTCE及びUTPR要素で構成される。

Top-up Tax Amount

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TopUpTaxAmount			xsd:integer	検証

TopUpTaxAmount要素は、軽課税国に関するトップアップ税額の総額を反映する。

LTCE

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
LTCE				オプション（必須）

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN		1～200文字	globe:TIN_type	検証

TIN要素は、LTCE又はJVグループメンバーのTINを示す。

TINタイプは、TIN typeセクションに従って入力する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
IIR				検証

繰返し可能なIIR要素は、QIIRが適用される各LTCE（又はJVグループメンバー）に関して支払うべきトップアップ税額を識別し、各親事業体のトップアップ税額の配分割合を識別する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
NetGlobeIncome			xsd:integer	オプション（必須）

GlobeIncome要素は、LTCE又はJVグループメンバーのGloBE所得を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TopUpTax			xsd:integer	検証

TopUpTax要素は、LTCE又はJVグループメンバーのトップアップ税額を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ParentEntity				オプション（必須）

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TIN		1～200文字	globe:TIN_Type	検証

オプション（必須）のTIN要素は、親事業体のTIN（又は、TINが利用できない場合は、企業／会社登録コード／番号などの機能的同等物）を識別する。

TINタイプは、TINタイプセクションに従って入力する必要がある。

[注3.4.1.2.a]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ResCountryCode		2文字	iso:CountryCode_Type	検証

ResCountryCode要素は、MNEグループの親事業体がQIIRを適用する必要がある国又は地域を、ISO 3166-1 Alpha 2標準に基づく2文字のアルファベットの国コードの形式で示す。第10.3.5条が適用される場合には、申告構成事業体は、親事業体にQIIRの適用を求める国又は地域を報告しなければならない。

[注3.4.1.2.b]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
OtherOwnershipAllocation			xsd:integer	検証

OtherOwnershipAllocation要素は、関連する親事業体以外の所有者が有する所有持分に帰せられ

るGloBE所得の額が、第2.2.3条に従って決定されることを示す。

[注3.4.1.2.c]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
InclusionRatio		6文字	globe:percentage	検証

InclusionRatio要素は、親事業体の合算比率を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TopUpTaxShare			xsd:integer	検証

TopUpTaxShare要素は、親事業体のトップアップ税額の配分割合を示す。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
IIROffset			xsd:integer	検証

IIROffset要素は、IIRの相殺が、適格IIRに基づいて課される、所有持分連鎖の下位階層に位置するPOPE又は中間親事業体が負担するトップアップ税額であることを反映する。

[注3.4.1.3.b]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TopUpTax			xsd:integer	検証

TopUpTax要素は、親事業体が支払うべきトップアップ税額を示す。

UTPR

申告構成事業体は、報告会計年度において少なくとも1つの国又は地域に係るUTPRトップアップ税額がある、又は報告された繰越UTPRトップアップ税額がある場合には、この表に入力しなければならない。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UTPR				オプション（必須）

UTPR要素は、その国又は地域に関するUTPRトップアップ税額の合計を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UTPRSafeHarbour				検証（選択）

UTPRSafeHarbour要素は、移行期間UTPRセーフ・ハーバーの適用を反映する。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
CITRate		6文字	globe:percentage	検証

CITRate要素は、合意されたセーフ・ハーバーに従って、UPE国又は地域の法人税率を反映する。

[注2.2.1.3.b.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UTPRCalculation				検証（選択）

[注3.4.2.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TotalUTPRTopUpTax			xsd:integer	検証

TotalUTPRTopUpTax要素は、その国又は地域に関するUTPRトップアップ税額の合計を示す。

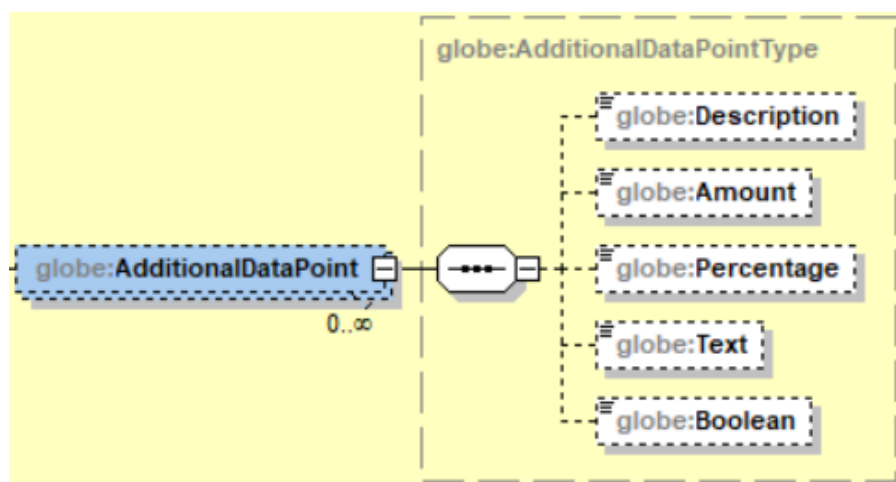
3.4.2.2で報告された全ての金額の合計（第2.5.1条で考慮されるトップアップ税額）は、軽課税国に所在する各LTCE及びJVグループメンバー並びに3.4.2.2で報告された金額を有する各無国籍構成事業体について報告しなければならない。トップアップ税額計算が行われる全てのLTCE（又はJVグループメンバー）に関してQIIRが適用されない場合には、第2.5.1条において考慮されるトップアップ税額は、計算された国別トップアップ税額となる。

[注3.4.2.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Article2.5.1TopUpTax			xsd:integer	検証

Article2.5.1TopUpTaxは、第2.5.1条において考慮されたトップアップ税額を反映する。

Additional Data Point



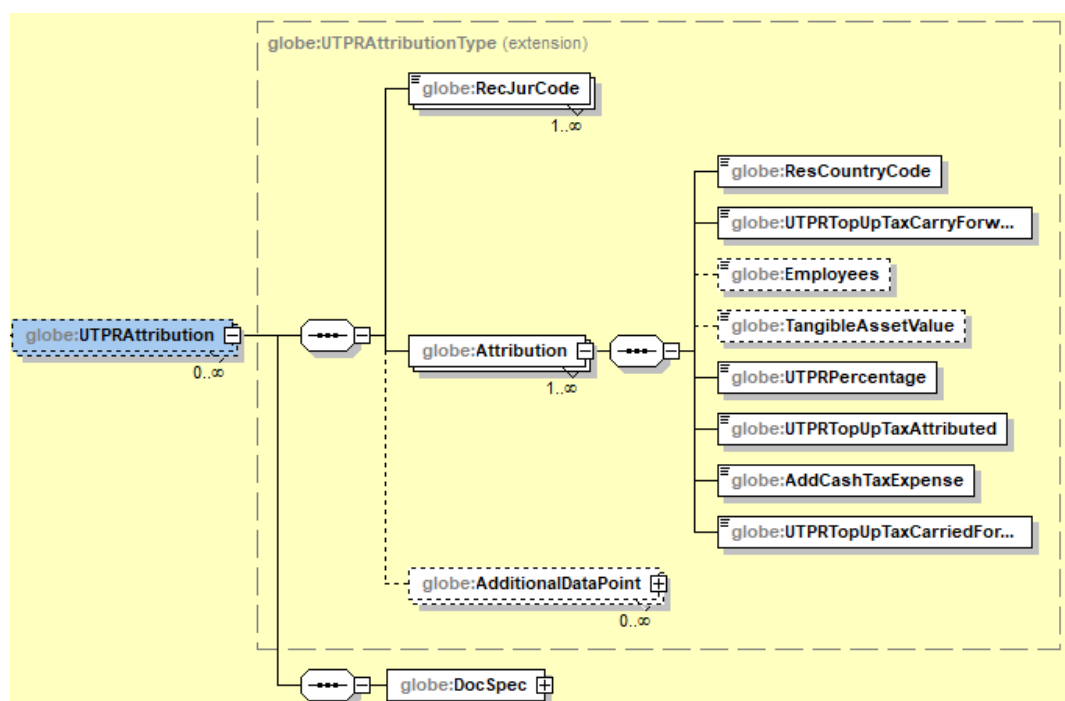
要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdditionalDataPoint				オプション

繰返し可能なAdditionalDataPoint要素は、Description、Amount、Percentage及びText要素で構成される。各要素と対応する値は後述されており、承認された政府のガイダンスに基づいて、そこで提供された指示に従ってのみ入力する必要がある。

この複雑な要素に関する詳しいガイダンスは、ユーザー・ガイドの冒頭にある。

UTPR Attribution

この繰返し可能なセクションには、UTPRが適用される場合の、関連する国又は地域間でのトップアップ税額の帰属に関する情報が含まれている。



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UTPRAttribution			globe:UTPRAttributionType	オプション（必須）

Receiving Jurisdiction Code

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
RecJurCode		2文字	iso:CountryCode_Type	検証

繰返し可能なRecJurCodeは、情報交換のため、関連するUTPRAttributionセクションの受信先の国又は地域を示す。MNEグループがGIRのローカル・ファイリングを意図している場合には、自国の国コードをこの要素に入力しなければならない。

申告構成事業体は、第8.1.2条に基づいて、情報交換を通じて構成事業体の申告義務を満たすことを意図している国又は地域を識別しなければならない。

[注1.1.6]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Attribution				検証

繰返し可能なAttribution要素は、UTPRに基づくトップアップ税額の帰属を示す。

[注3.4.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
ResCountryCode		2文字	iso:CountryCode_Type	検証

ResCountryCode要素は、MNEグループのUTPR国又は地域を、ISO 3166-1 Alpha 2標準に基づく2文字のアルファベットの国コードの形で識別する。

[注3.4.3.1]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UTPRTopUpTaxCarryForward			xsd:integer	検証

UTPRTopUpTaxCarryForward要素は、過去会計年度に国又は地域に配分されたUTPRトップアップ税額が、その国又は地域に所在する構成事業体に係る同等の追加の現金税金費用となっていない場合には、第2.4.2条に従って繰り越される金額が3.4.3.2で報告されなければならないことを反映する。

[注3.4.3.2]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
Employees			xsd:integer	オプション（必須）

Employees要素は、恒久的施設（フロースルー事業体である恒久的施設を含む。）に配分された従業員数が、それらの恒久的施設が所在する国又は地域のUTPRパーセンテージを計算する際に考慮されなければならないことを示す。

[注3.4.3.3]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
TangibleAssetValue			xsd:integer	オプション（必須）

TangibleAssetValue要素は、PE（フロースルー事業体である恒久的施設を含む。）に配分された有形資産の簿価が、それらのPEが所在する国又は地域のUTPRパーセンテージを計算する際に考慮されなければならないことを示す。

[注3.4.3.4]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UTPRPercentage		1～6文字	globe:percentage	検証

UTPRPercentage要素は、第2.6.3条を適用した結果、3.4.3.5のUTPRパーセンテージがUTPR国又は地域についてゼロとなる場合には、その国又は地域に所在する構成事業体の従業員数と有形

資産が合計（すなわち、配分キーの計算式の分母）から除外されることを示す。この合計（及び分母）からの除外は、報告会計年度において全てのUTPR国又は地域のUTPRパーセンテージがゼロである場合には適用されない（第2.6.4条）。

[注3.4.3.3及び3.4.3.4（合計）]

UTPRパーセンテージは、第2.6.1条に従って計算される。3.4.3.2においてUTPR国又は地域に係る繰越UTPRトップアップ税額がある場合には、報告会計年度において全てのUTPR国又は地域のUTPRパーセンテージがゼロでない限り（第2.6.3条）、その国又は地域のUTPRパーセンテージはゼロとする（第2.6.4条）。この欄に報告されるUTPRパーセンテージは、第2.6.4条の適用後に計算されたUTPRパーセンテージでなければならない。

[注3.4.3.5]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UTPRTopUpTaxAttributed			xsd:integer	検証

UTPRTopUpTaxAttributed要素は、UTPR国又は地域間に帰せられるUTPRトップアップ税額の合計が、表3.4.3で識別される各国又は地域に関する各UTPRトップアップ税額の合計であることを示す。

[注3.4.3.6（合計）]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AddCashTaxExpense			xsd:integer	検証

AddCashTaxExpense要素は、UTPR国又は地域におけるCEが負担する追加の現金税金費用が、通常の税法に基づいて支払うべき税額に加え、UTPRに基づいて支払うべき税額であることを反映している。

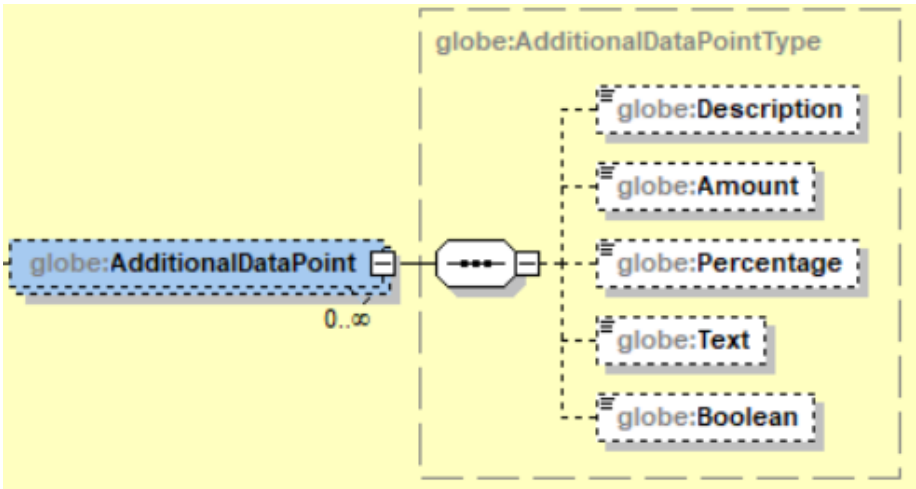
[注3.4.3.7]

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
UTPRTopUpTaxCarriedForward			xsd:integer	検証

UTPRTopUpTaxCarriedForward要素は、繰り越されて残ったUTPRトップアップ税額が、報告会計年度のUTPR国又は地域に帰せられるUTPRトップアップ税額と、3.4.3.7で報告されたUTPR国又は地域におけるCEが負担した追加の現金税金費用との間の正の差額であることを示す。

[注3.4.3.8]

Additional Data Point



要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
AdditionalDataPoint				オプション

繰返し可能なAdditionalDataPoint要素は、Description、Amount、Percentage及びText要素で構成される。各要素と対応する値は後述されており、承認された政府のガイダンスに基づいて、そこで提供された指示に従ってのみ入力されるべきである。

この複雑な要素に関する詳しいガイダンスは、ユーザー・ガイドの冒頭にある。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DocSpec			stf.docspec_type	検証

DocSpecは、送信されるGIRメッセージ内の特定のレポートを識別する。これにより、修正が必要なレポートを識別することができる（詳しいガイダンスについては、後述のCorrectionsセクションを参照のこと）。

Corrections

序文

送信元の国又は地域が不正確な情報に気付いた場合、修正が加えられる必要がある。特定の会計年度に係る情報交換の前にエラーが発見される限り、このセクションに定める修正は必要ない。

しかし、GIR情報の交換後にエラーが発見された場合には、このセクションに定められているガイダンスに従って、スキーマの一部に対する調整が行われる必要がある。

修正目的の報告を容易にするために、GIR XMLスキーマには、Filing Info、General Section、Summary、Jurisdiction Section及びUTPR Attributionという5つの修正可能なタイプがある。

技術的説明

このセクションでは、元のデータと同じ方法で処理できる修正データのファイルを送信することにより、修正を加える方法について説明する。このセクションで言及する修正には、レコードの削除も含まれる。

修正する要素を識別するために、修正可能な要素にはDocSpec_Typeの要素が含まれ、この要素には修正に必要な情報が含まれる。

DocSpecType

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DocSpec			stf:docspec_type	検証

DocSpecは、送信されるGIRメッセージ内の特定のレポートを識別する。これにより、修正が必要なレポートを識別することができる。DocSpec要素は次の要素から構成される。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DocTypeIndic			stf:OECDDocTypeIndic_EnumType	検証

メッセージには、新規レコード（OECD1）又は修正／削除（OECD2及びOECD3）のいずれかを入れることができるが、新規レコードと修正／削除レコードの両方を入れることはできない。Filing Info要素が送信済のとき、再送信（OECD0）は、Filing Info要素についてのみ使用することができる。

この要素は、提出するデータのタイプを指定する。

使用可能なエントリは、次のとおり：

- OECD0 = 再送信データ
- OECD1 = 新規データ
- OECD2 = 修正されたデータ
- OECD3 = データの削除
- OECD10 = 再送信テスト・データ
- OECD11 = 新規テスト・データ
- OECD12 = 修正されたテスト・データ
- OECD13 = テスト・データの削除

コードOECD10～OECD13は、合意されたテスト期間中、又はテストに関する二国間の合意に基づく場合にのみ使用すること。これは、権限ある当局がテスト・データと稼働開始後のデータを混合しないことを確実にするためである。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
DocRefID		1～200文字	stf:StringMin1Max200_Type	検証

DocRefIDは、ドキュメント（1つのレコード及びその全ての子データ要素）に対する一意の識別子である。修正（又は削除）を含む要素には、今後の参照のために新たな一意のDocRefIDが必要である。

要素	属性	サイズ	入力データ型	要件
CorrDocRefID		1～200文字	stf:StringMin1Max200_Type	オプション

CorrDocRefIDは、修正／削除される要素のDocRefIDを参照する。これは常に、送信されたレコードの最新のリファレンス（DocRefID）を参照しなければならない。

送信されたレコードの最新のリファレンス（DocRefID）は、レコードが送信された最新のメッセージの一部でなければならない。

この方法により、各修正が以前のバージョンを完全に取り替えるため、一連の修正又は変更を処理できる。

MessageRefIDとDocRefIDの一意性

メッセージとレコードが確実に識別され、修正されるために、MessageRefIDとDocRefIDは、空

間的にも時間的にも一意でなければならない（同じ参照識別子を有する他のメッセージ又はレコードが存在してはならない）。

MessageRefID識別子には、特定のメッセージの識別を可能にするために送信者が使用するあらゆる情報を含めることができるが、送信元の国又は地域の国コードから始めて、次に報告可能期間の年、次に受信先の国又は地域、そして一意の識別子の順に記載しなければならない。

例：NZ2026LU123456789

このMessageRefIDは、送信元の権限ある当局の国がニュージーランドであり、GIR情報に関連する年が2026であり、受信先の権限ある当局がルクセンブルグであり、一意の識別子が「123456789」であることを示している。報告可能期間の年は、「ReportingPeriod」要素で報告される値と整合するよう、常に報告対象期間の最終日として参照される必要がある。

DocRefIDの一意の識別子は、一意のGIRレコードを識別するために送信元の権限ある当局によって使用される。これは、送信元の国又は地域の国コード、次に報告可能期間の年、そして一意の識別子の順で構成される。

例：NZ2026286abc123xyz

このDocRefIDは、送信元の国がニュージーランドであり、GIR情報に関連する年が2026であり、一意の識別子が「286abc123xyz」であることを示している。

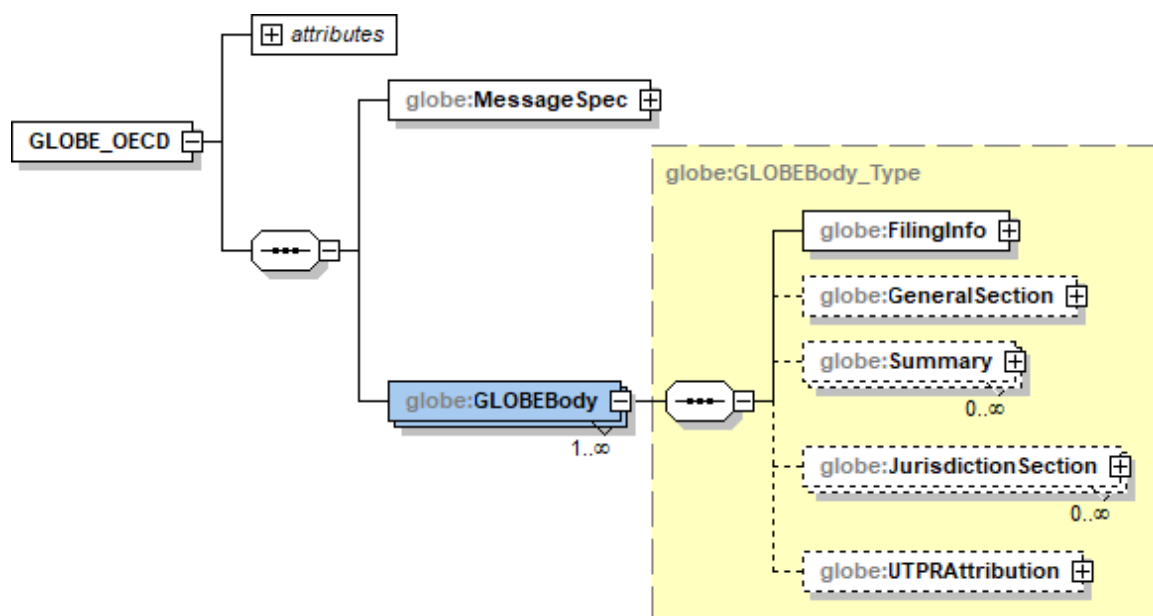
MessageSpec、修正及び取消し

修正メッセージには、後で再び修正できるように、自身の一意のMessageRefIDが必要となる。メッセージ全体に関しては、DocSpecIndicと同等の要素はない。

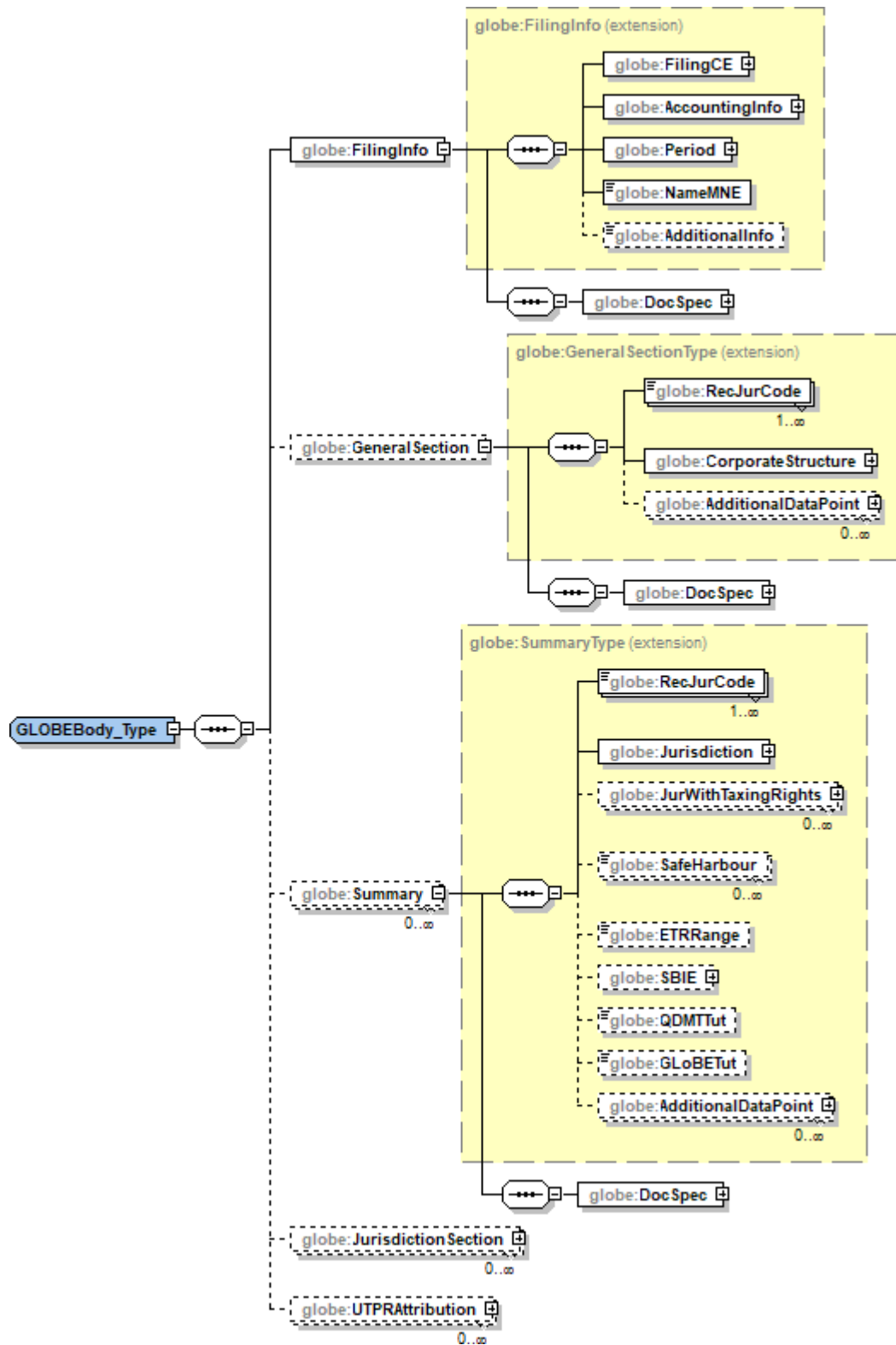
メッセージ全体を取り消すために、MessageSpec内で使用できる要素はない。この状況では、その代わりに、修正メッセージを送信して、誤りのあるメッセージの全てのレコードを削除する必要がある。

付録A

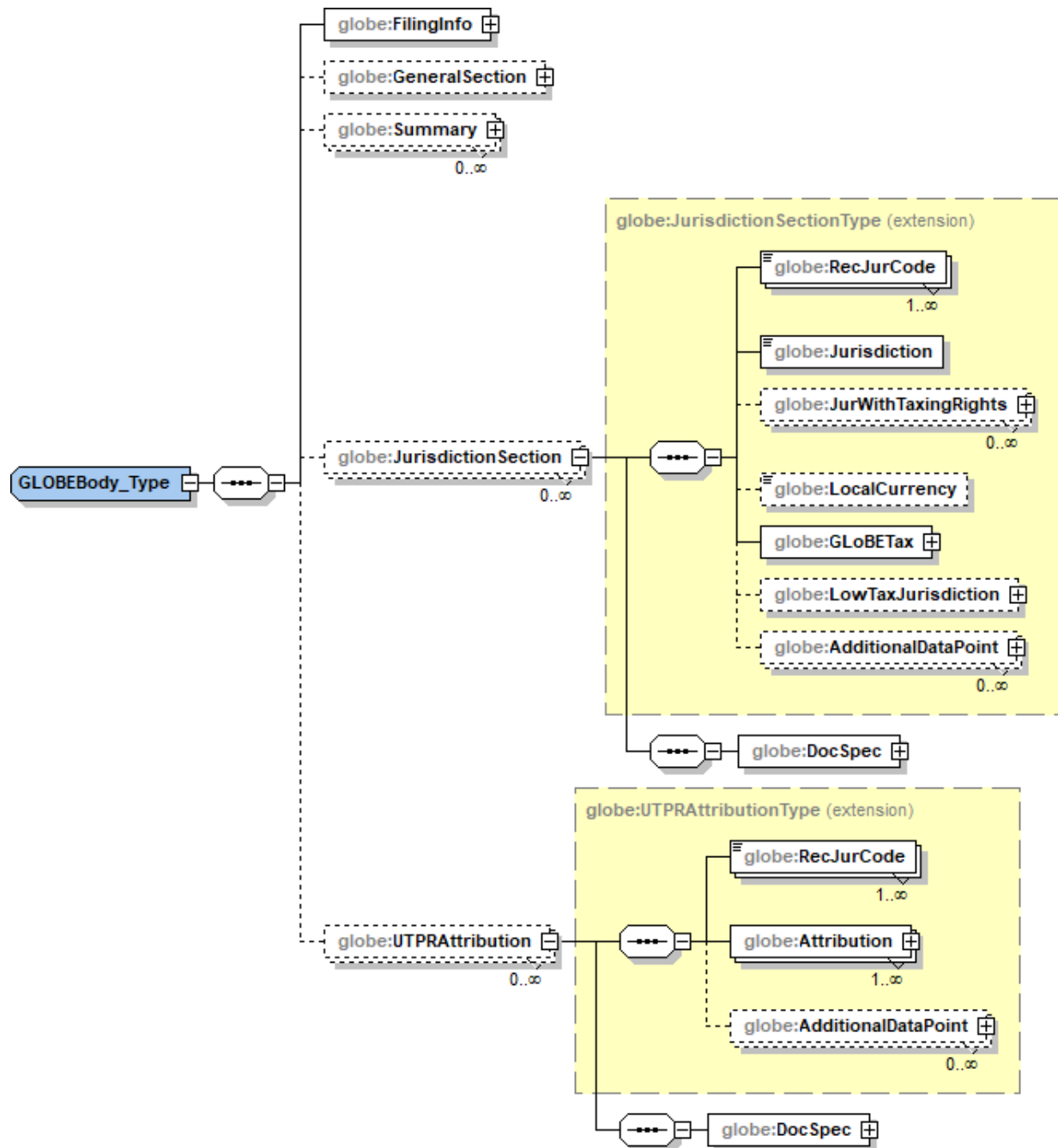
Globe Main Structure



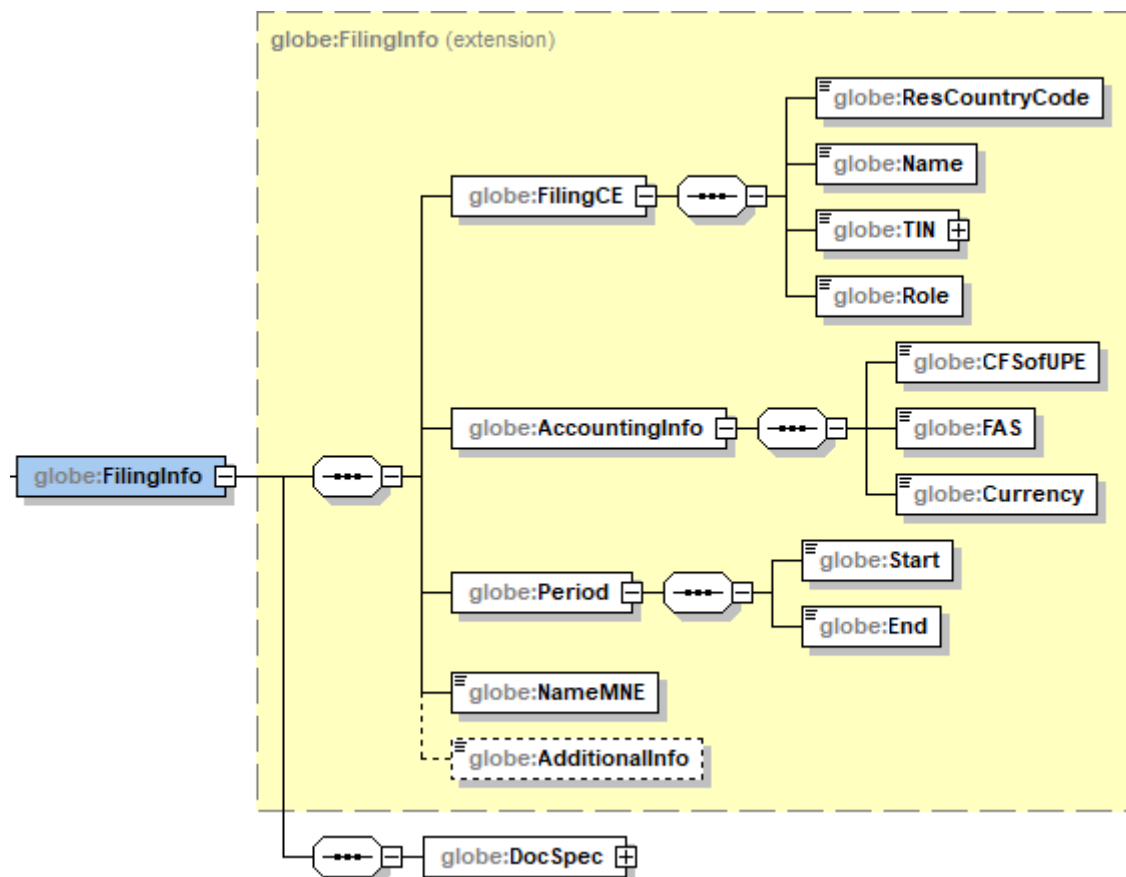
Globe Body (part 1)



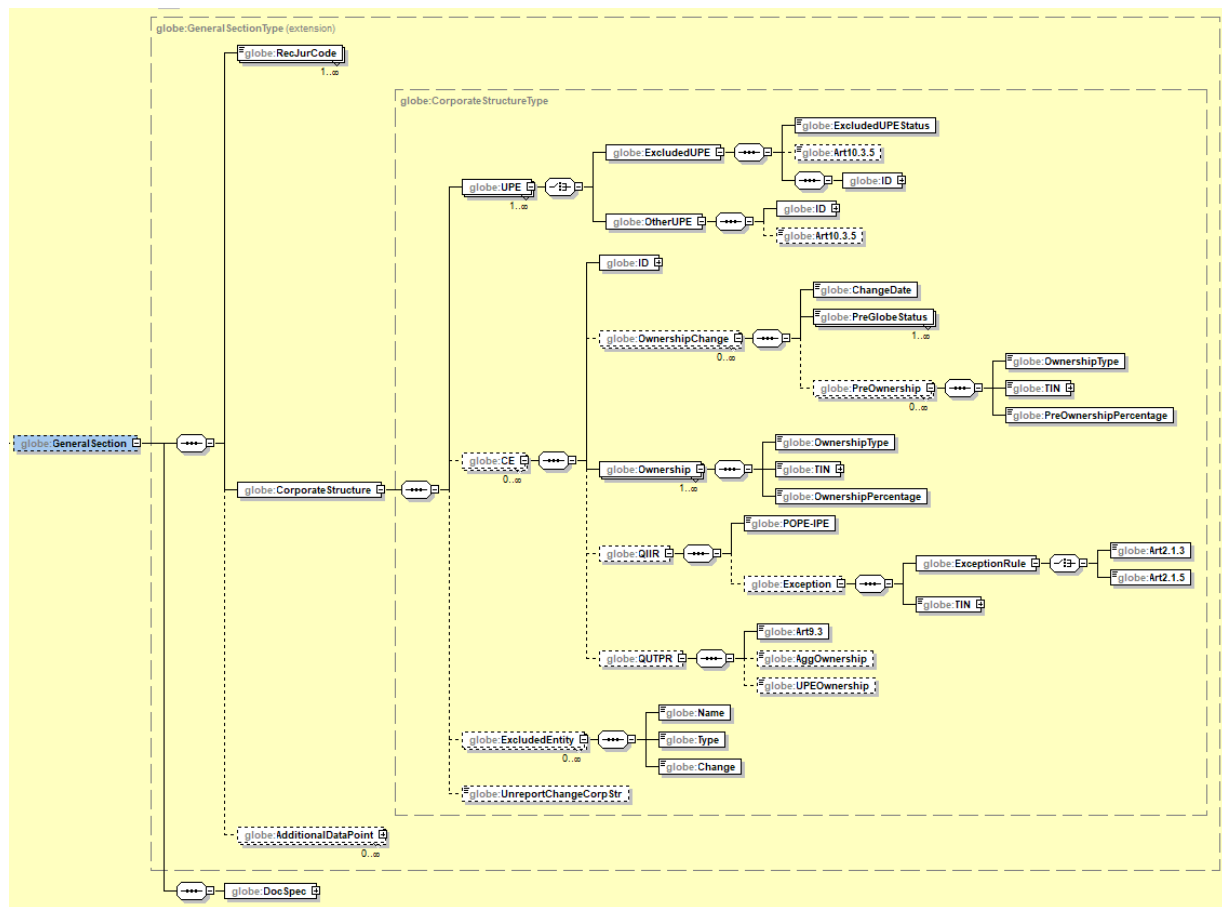
Globe Body (part 2)



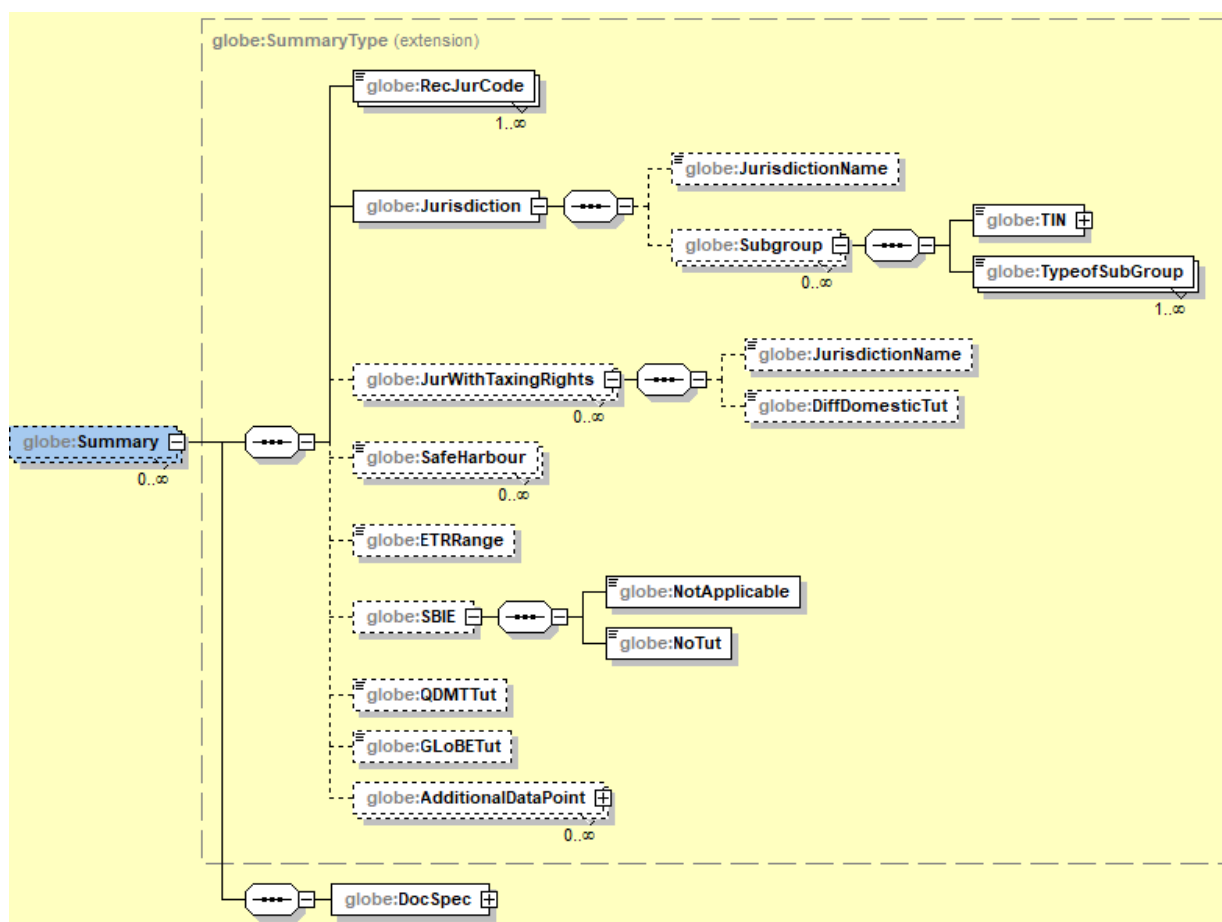
Globe Body > Filing Info



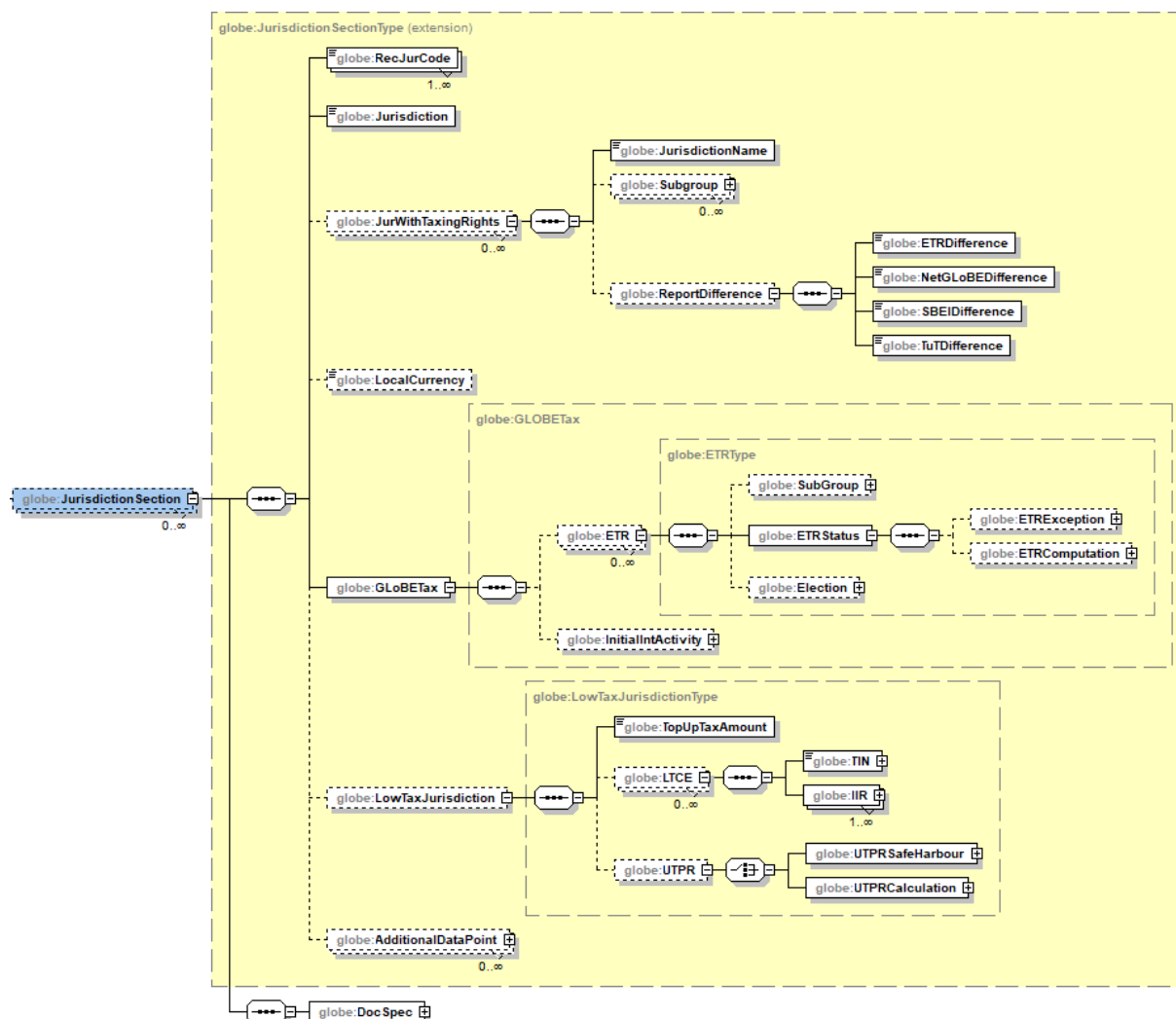
Globe Body > General Section



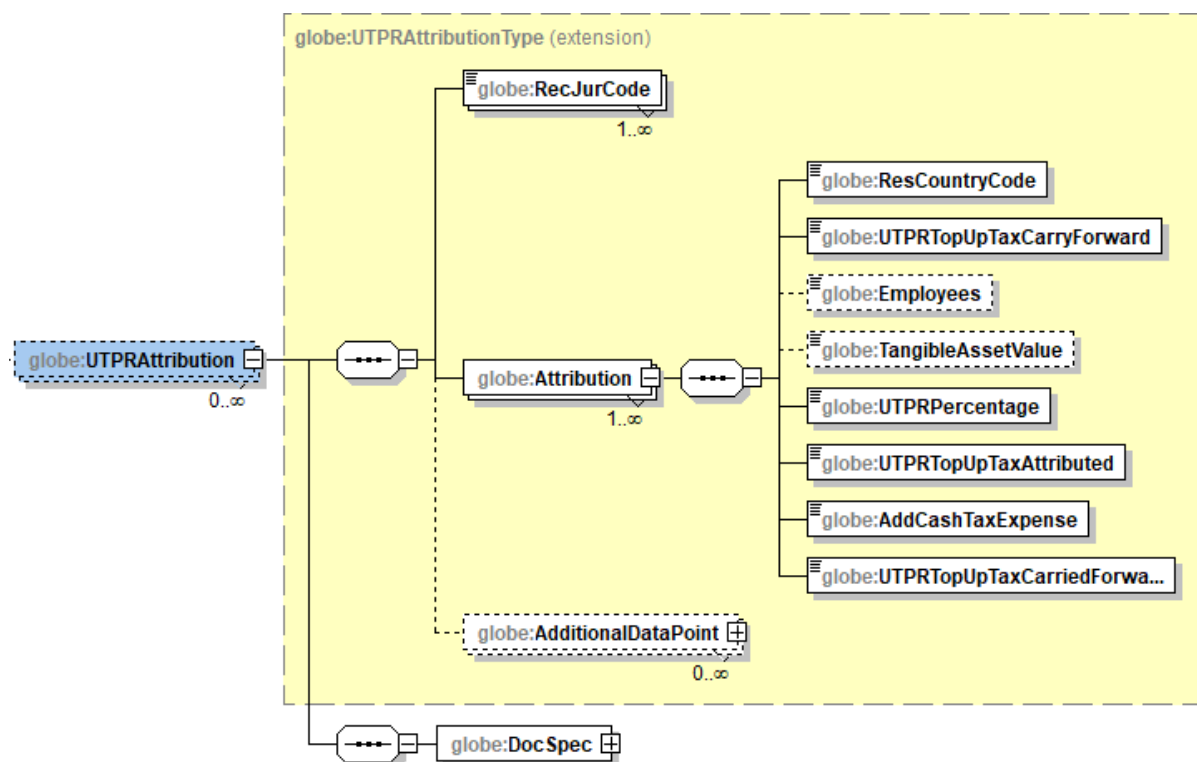
Globe Body > Summary



Globe Body > Jurisdiction Section

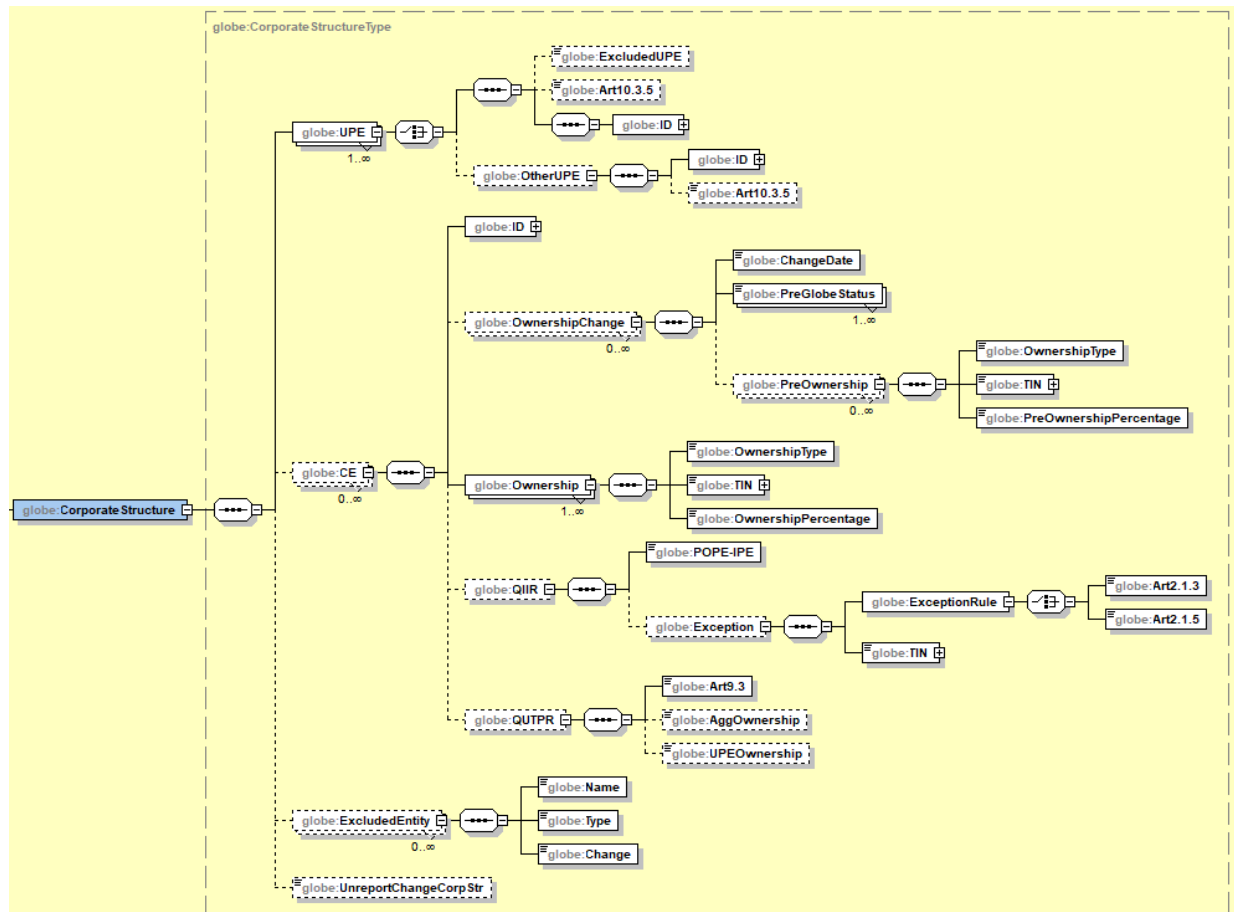


Globe Body > UTPR Attribution



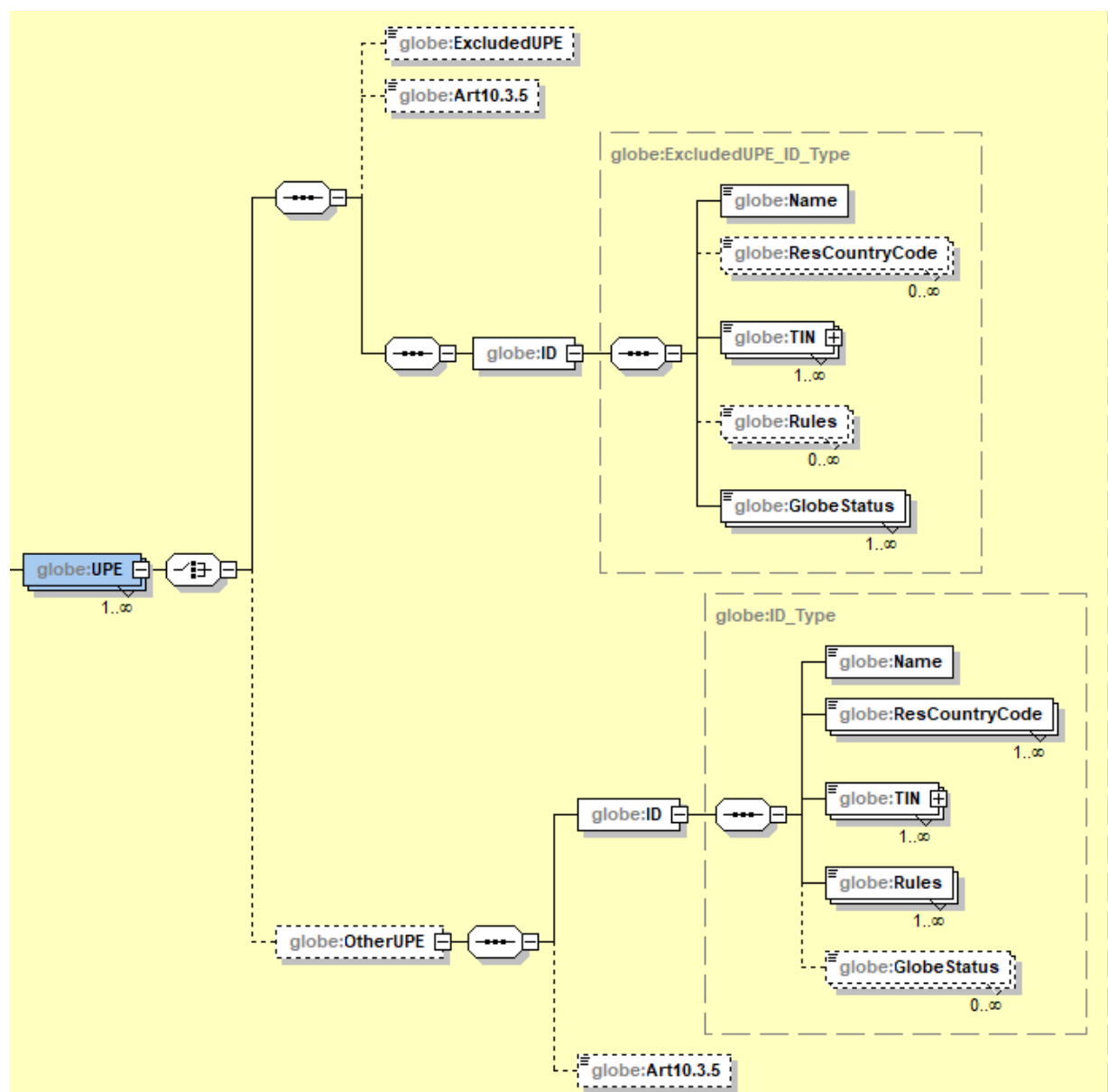
General Section > Corporate Structure

Globe Body > General Section > Corporate Structure



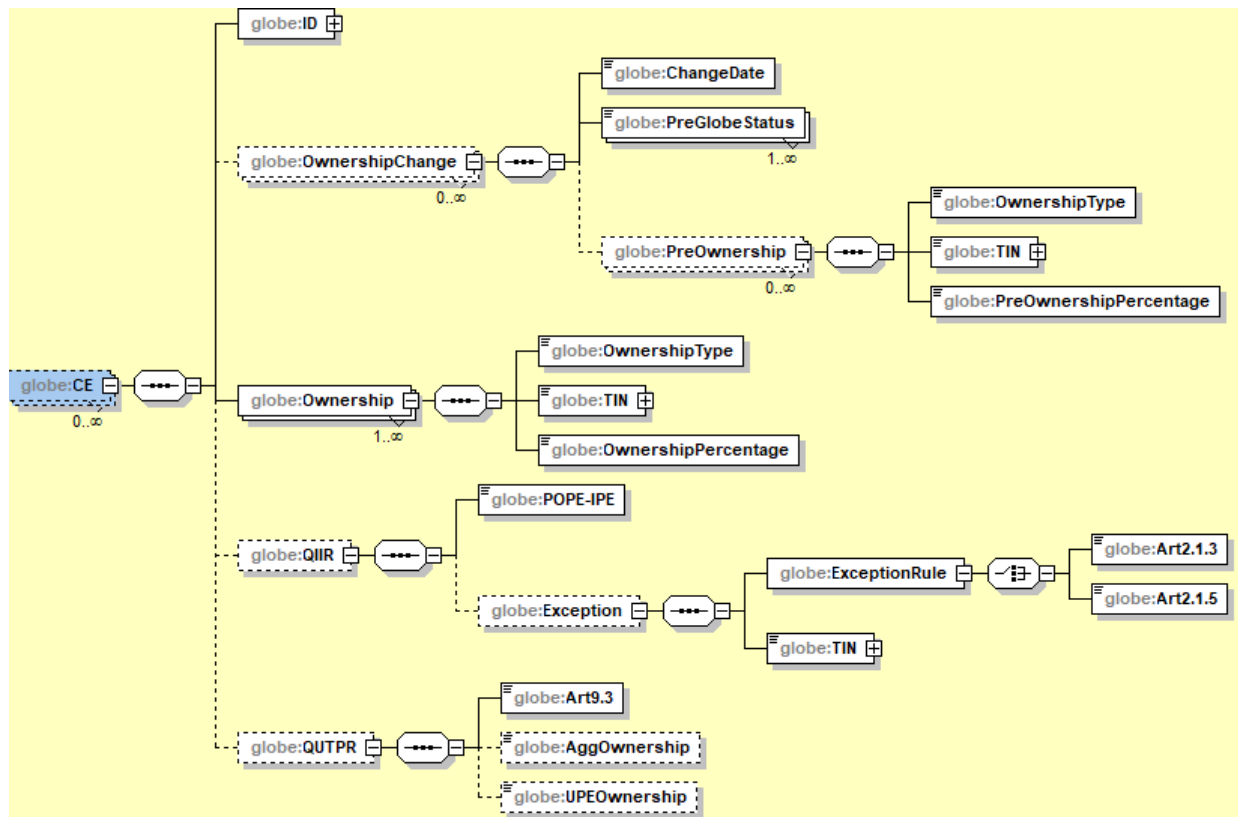
Corporate Structure > UPE

Globe Body > General Section > Corporate Structure > UPE



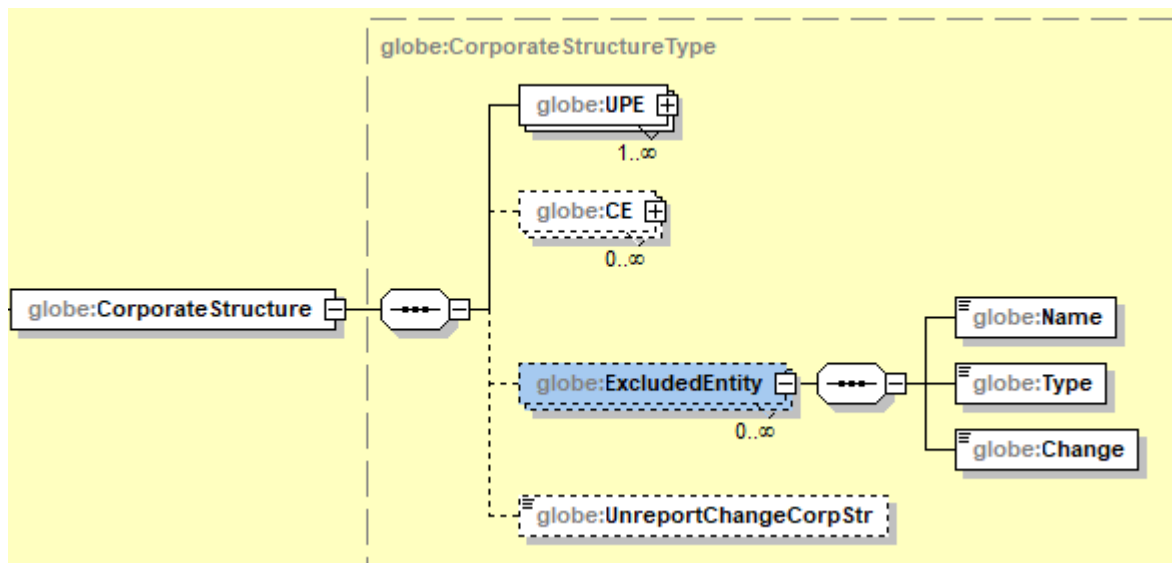
Corporate Structure > CE

Globe Body > General Section > Corporate Structure > CE



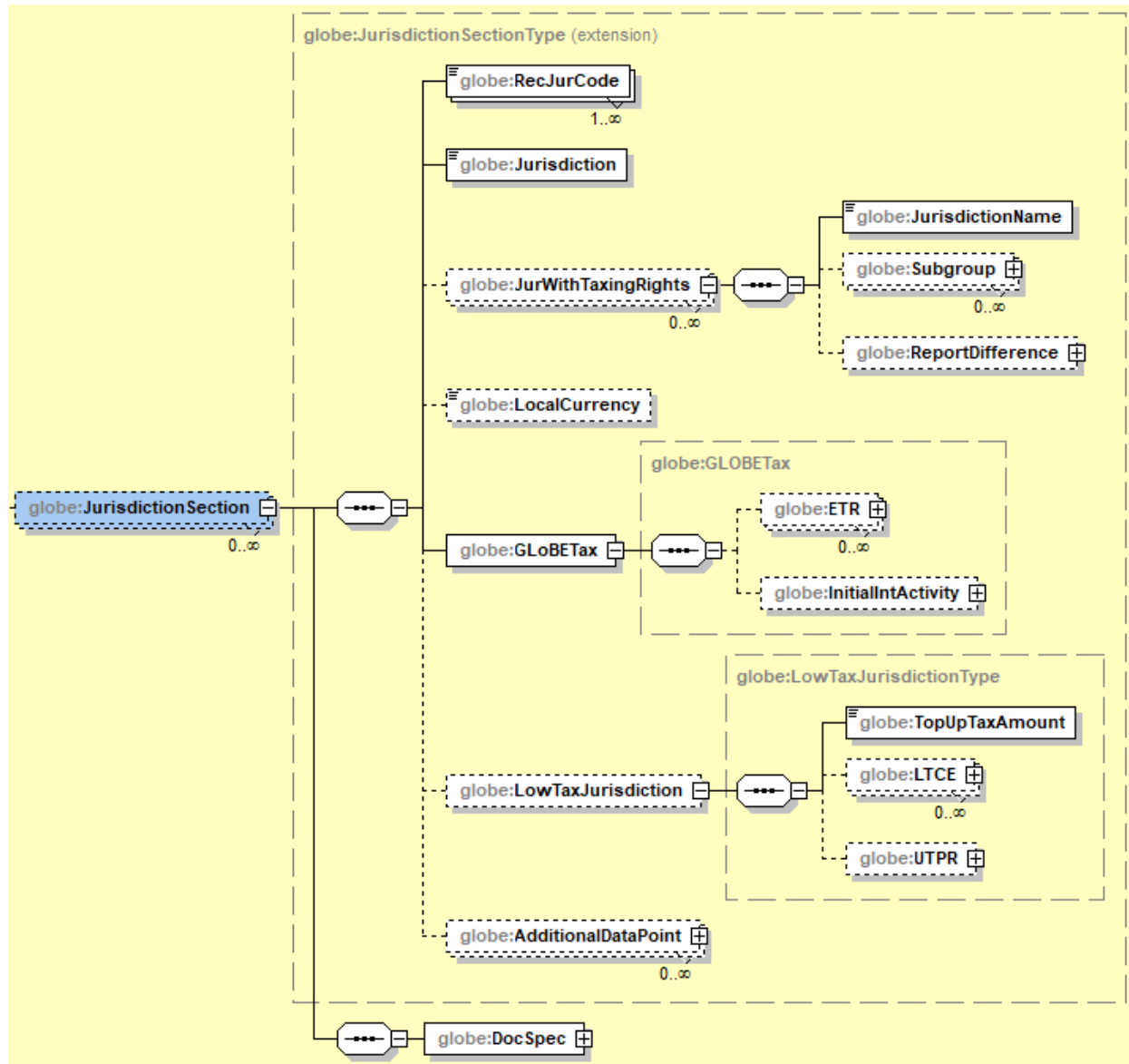
Corporate Structure > Excluded Entity

Globe Body > General Section > Corporate Structure > Excluded Entity



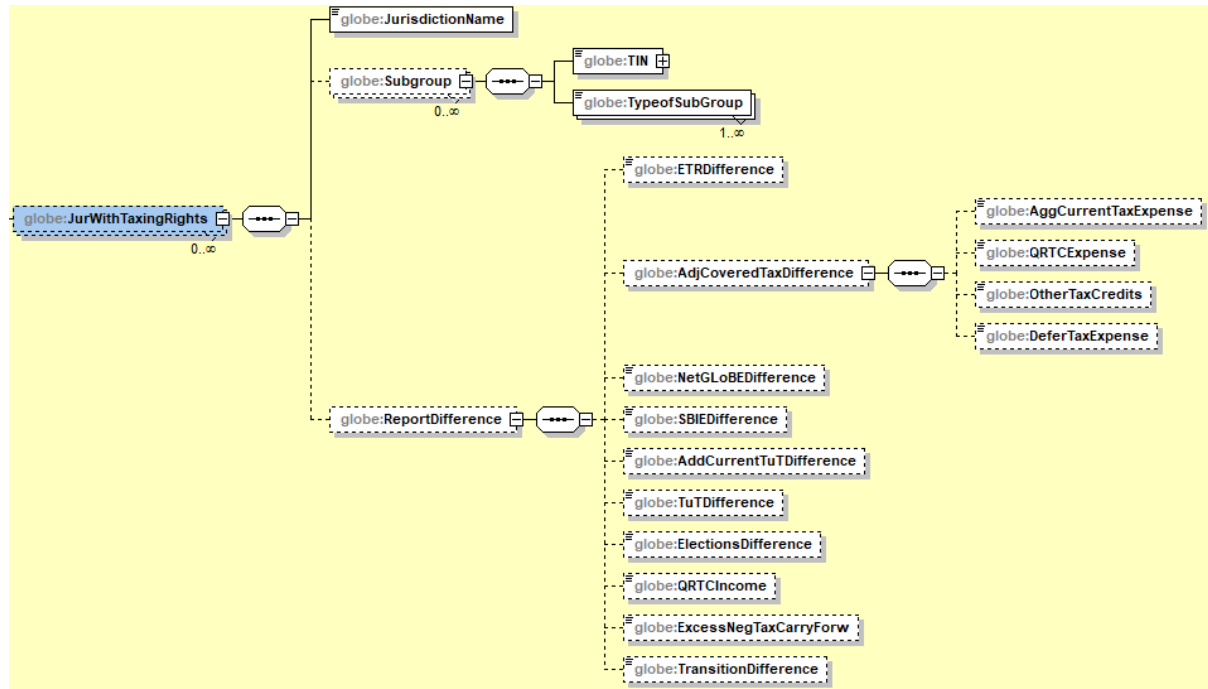
Jurisdiction Section

Globe Body > Jurisdiction Section



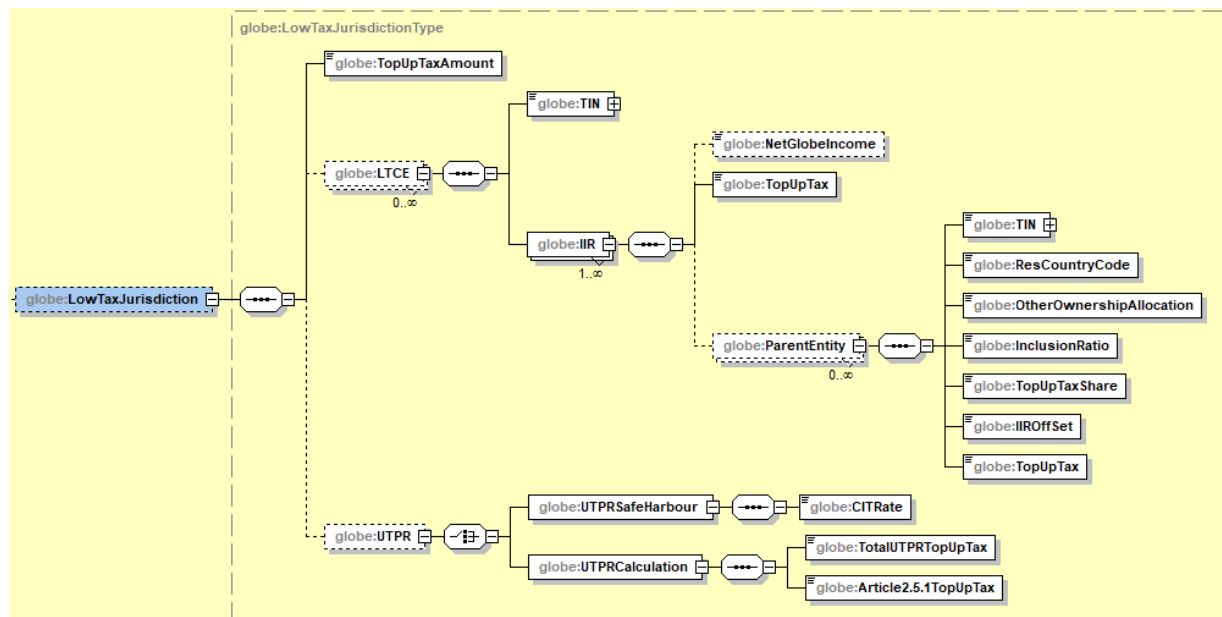
Jurisdiction Section > JurWithTaxingRights

Globe Body > Jurisdiction Section > JurwithTaxingRights



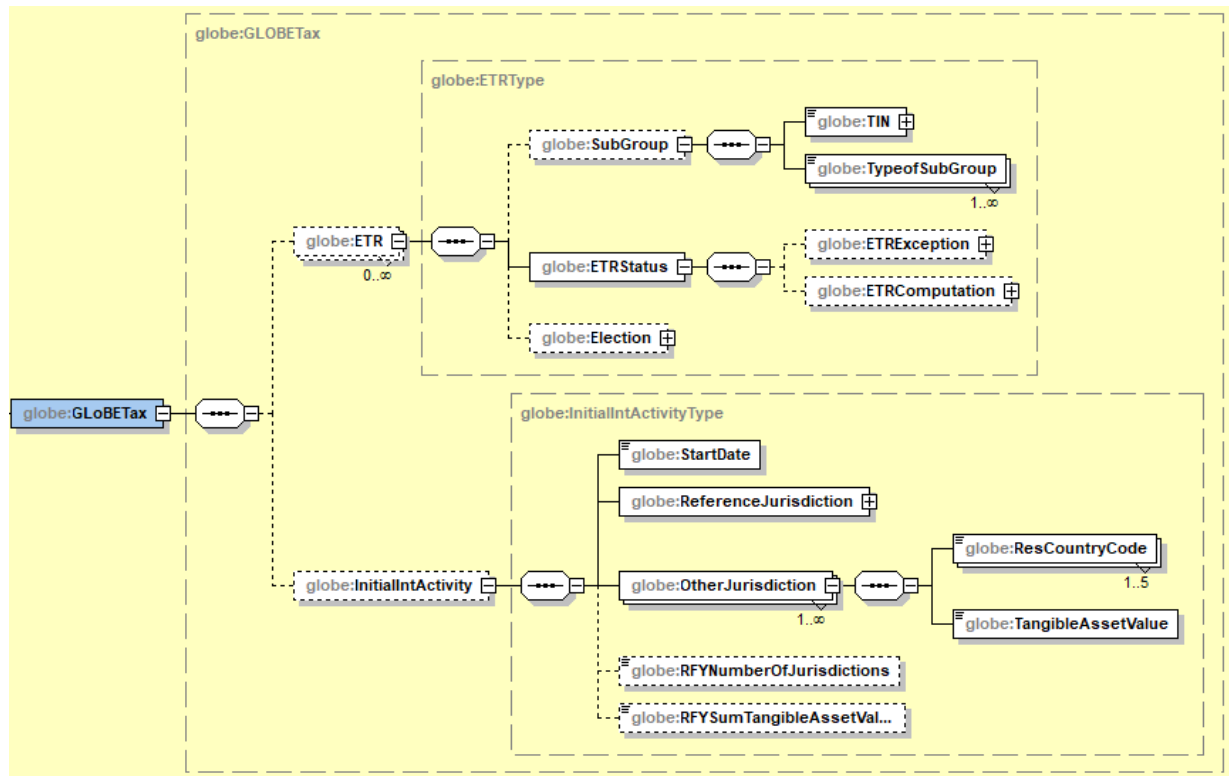
Jurisdiction Section > Low Tax Jurisdiction

Globe Body > Jurisdiction Section > Low Tax Jurisdiction



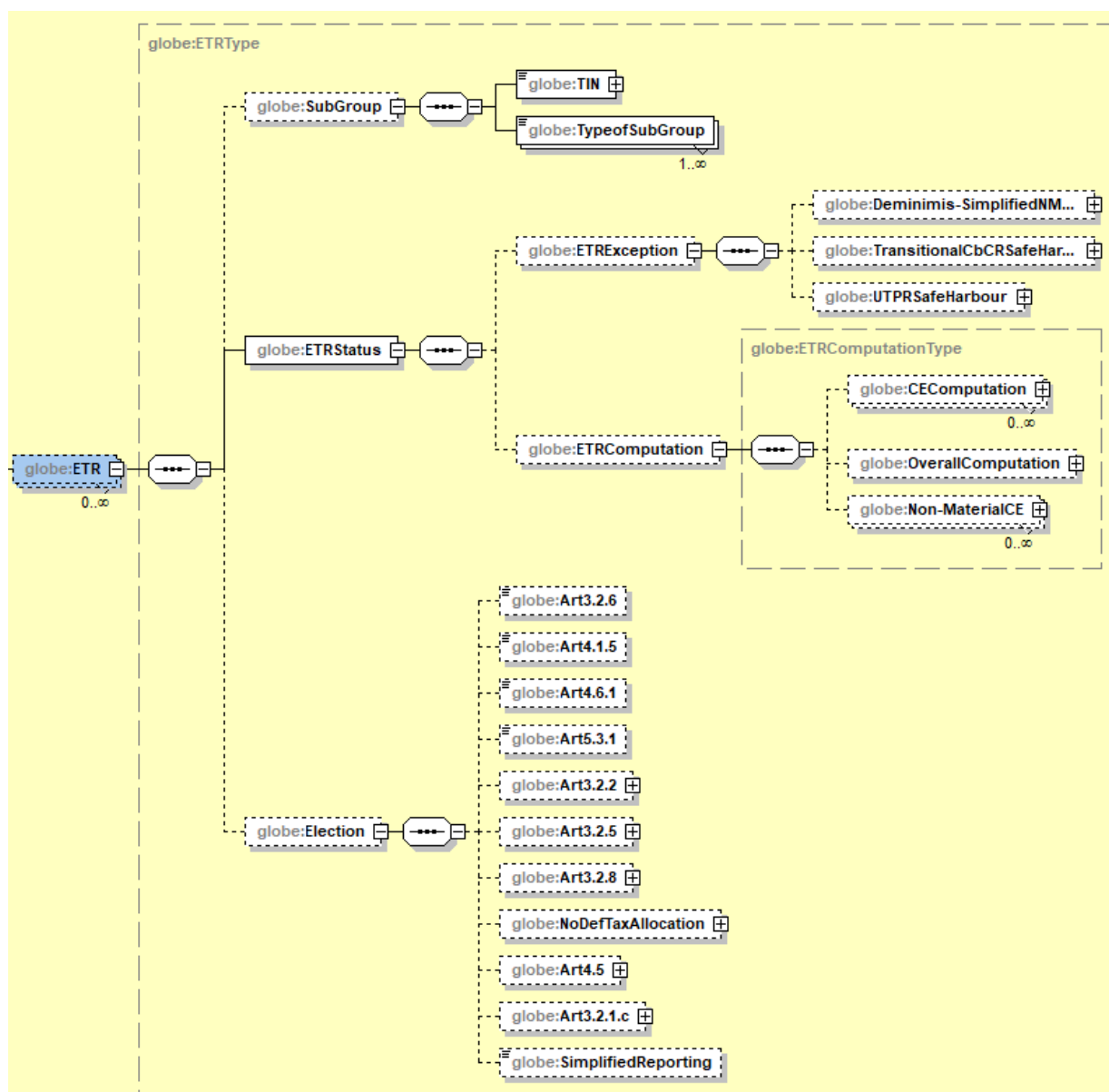
Jurisdiction Section > Globe Tax

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax



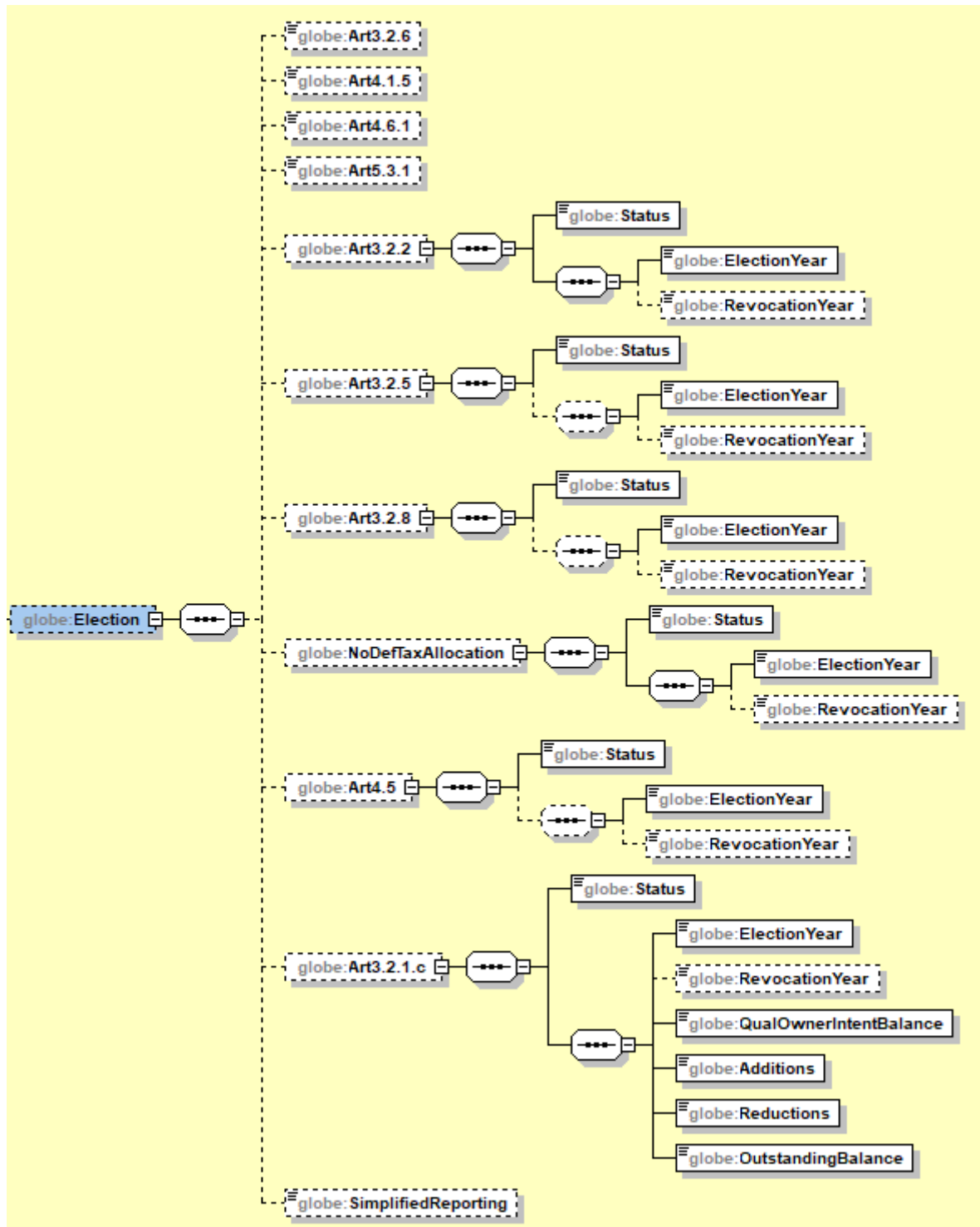
Globe Tax > ETR

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR



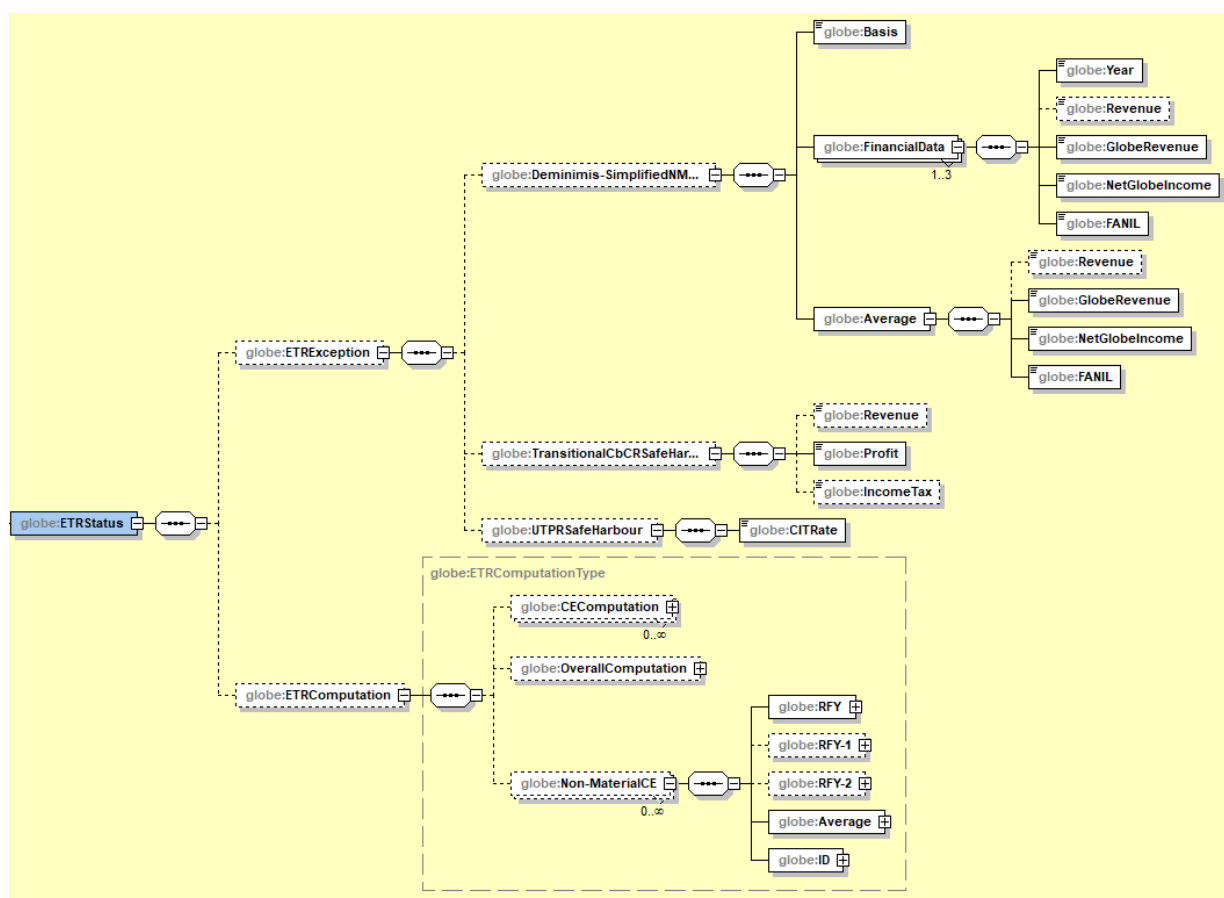
ETR > Election

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > Election



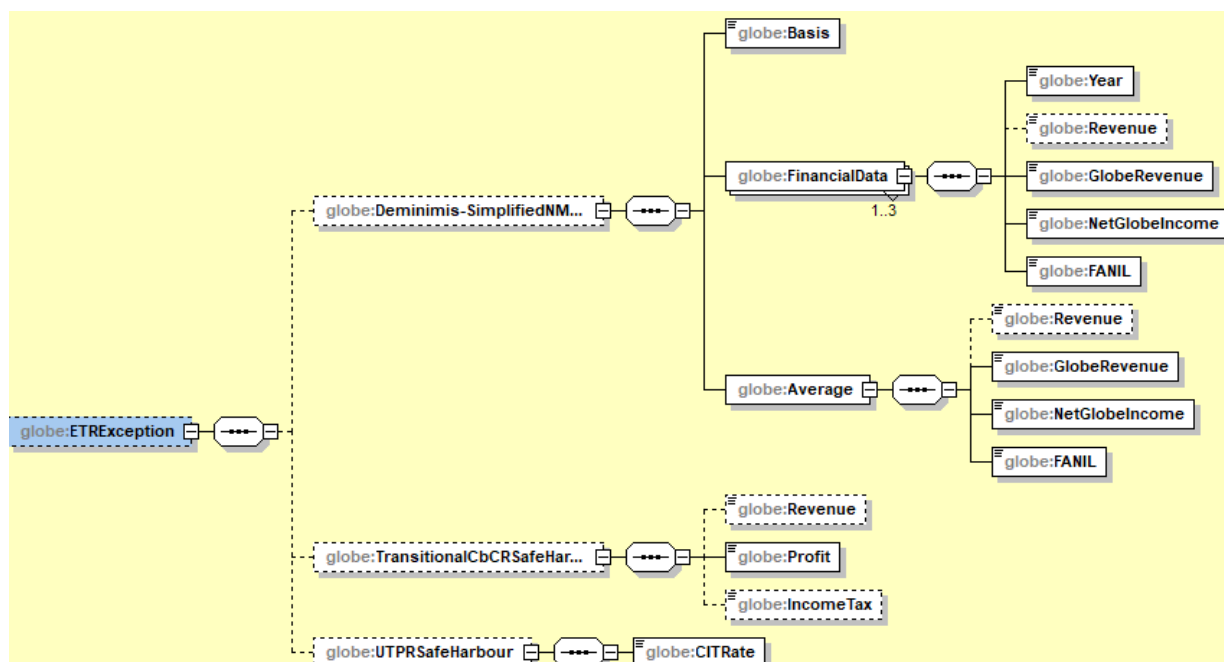
ETR > ETR Status

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status



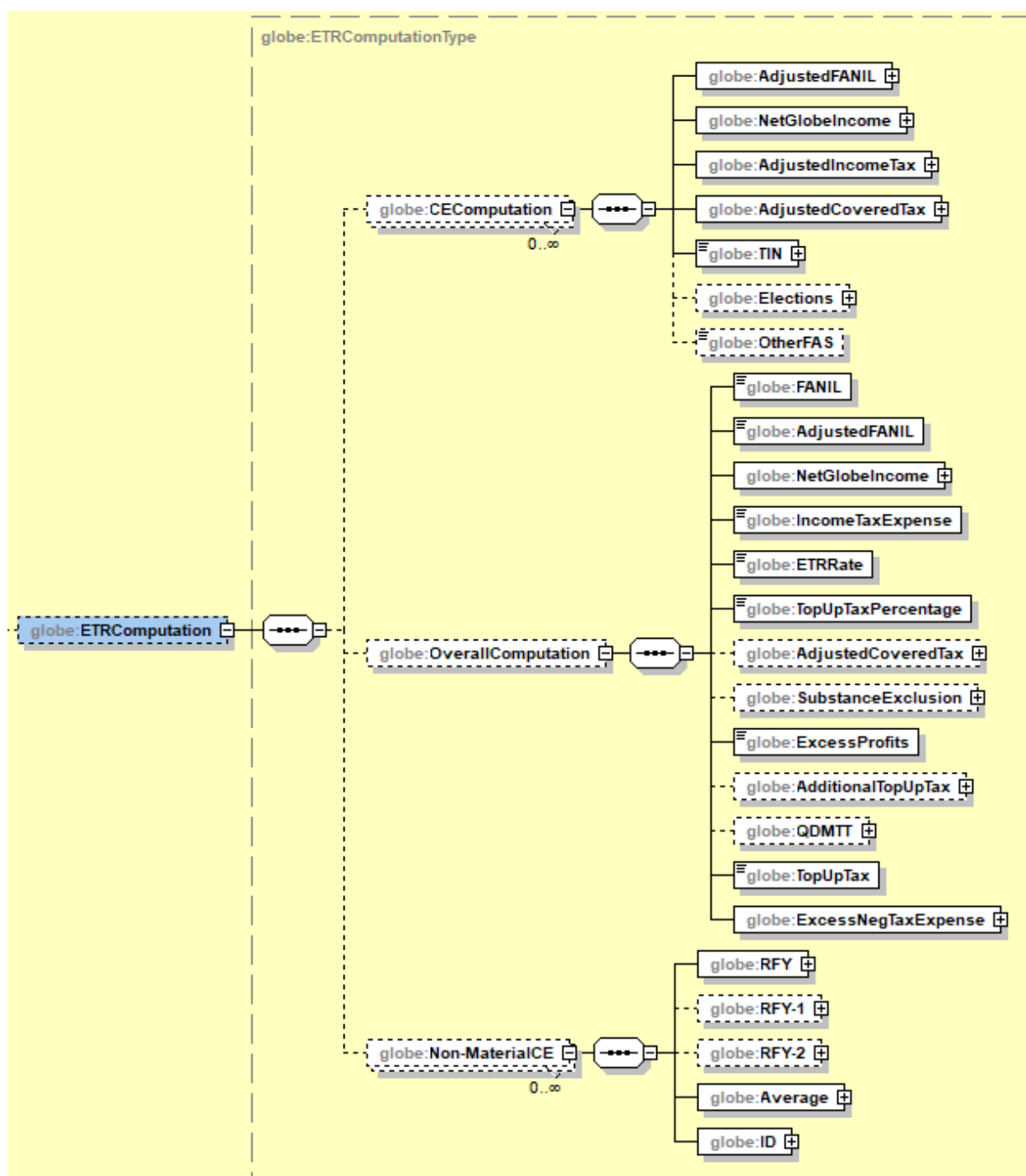
ETR Status > ETR Exception

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Exception



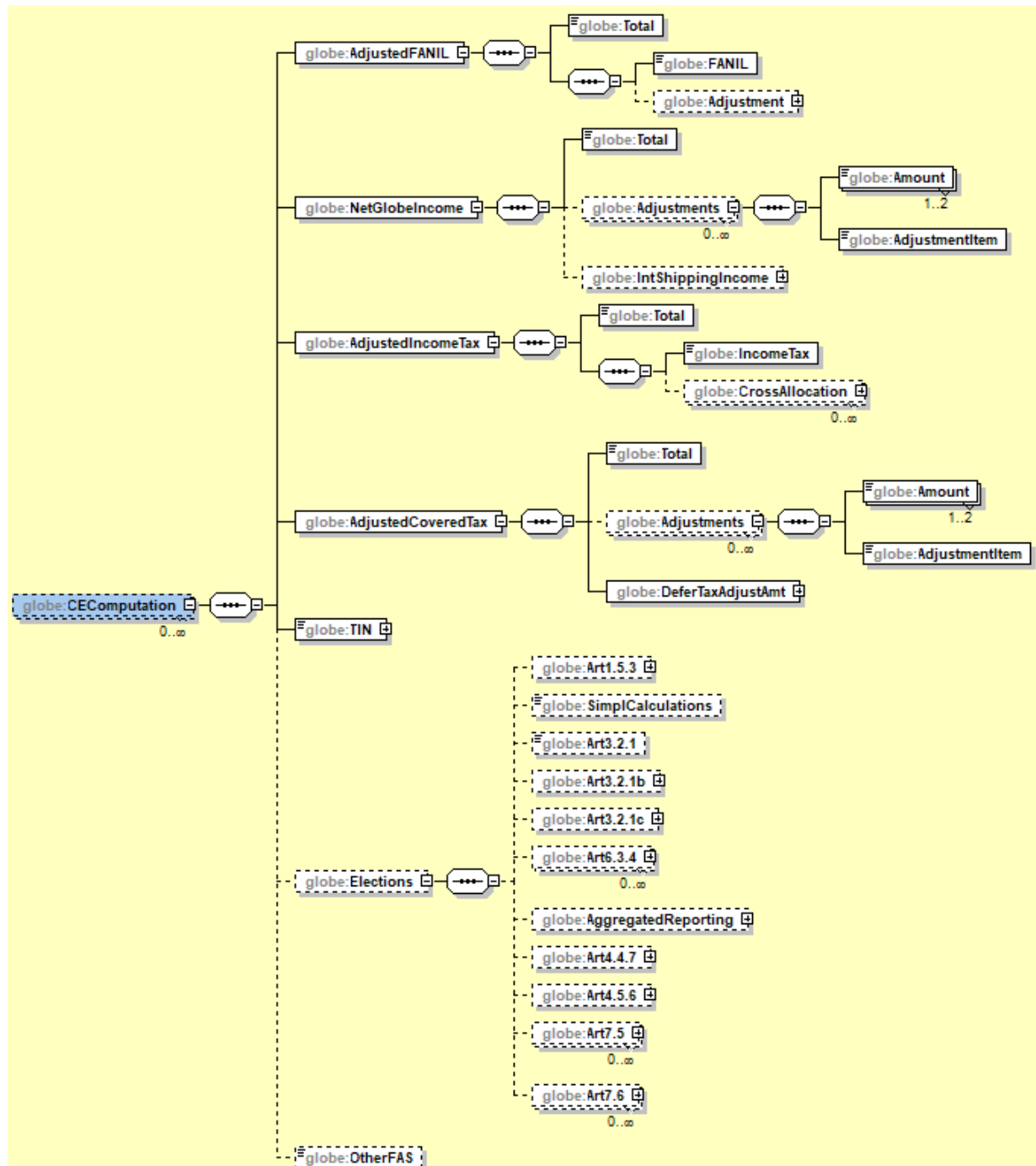
ETR Status > ETR Computation

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation



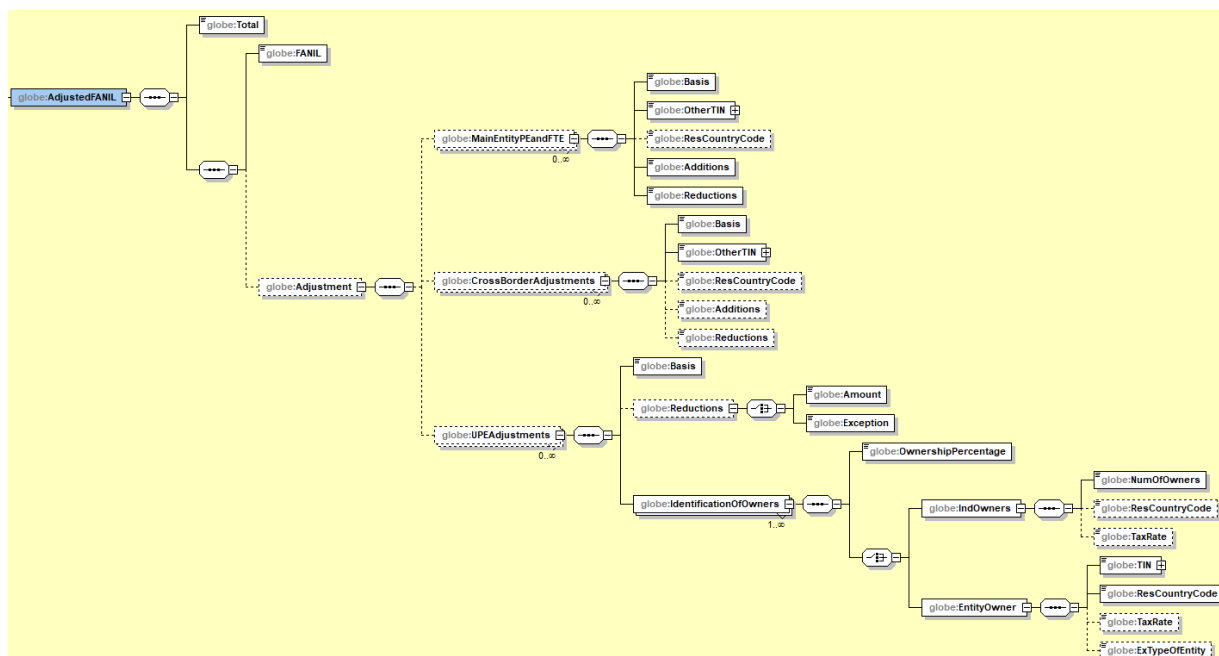
ETR Computation > CE Computation

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation > CE Computation



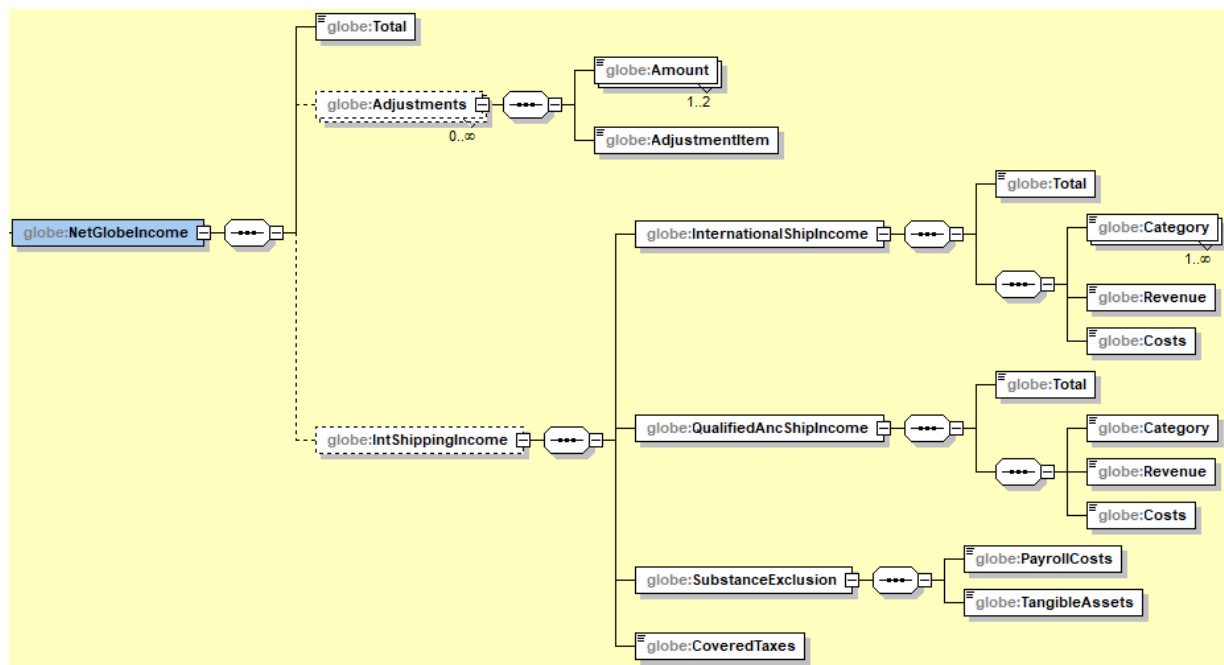
CE Computation > Adjusted FANIL

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation > CE Computation > Adjusted FANIL



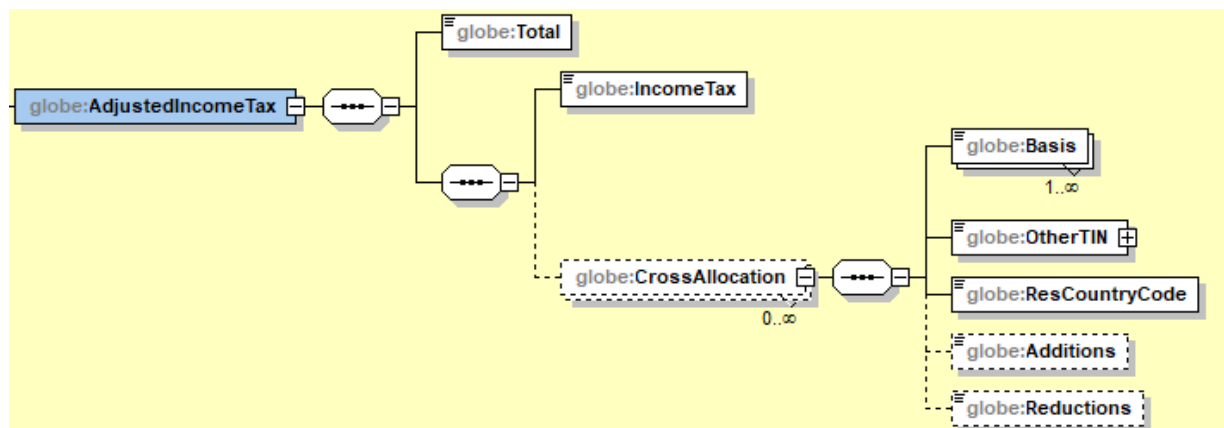
CE Computation > Net Globe Income

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation > CE
Computation > Net Globe Income



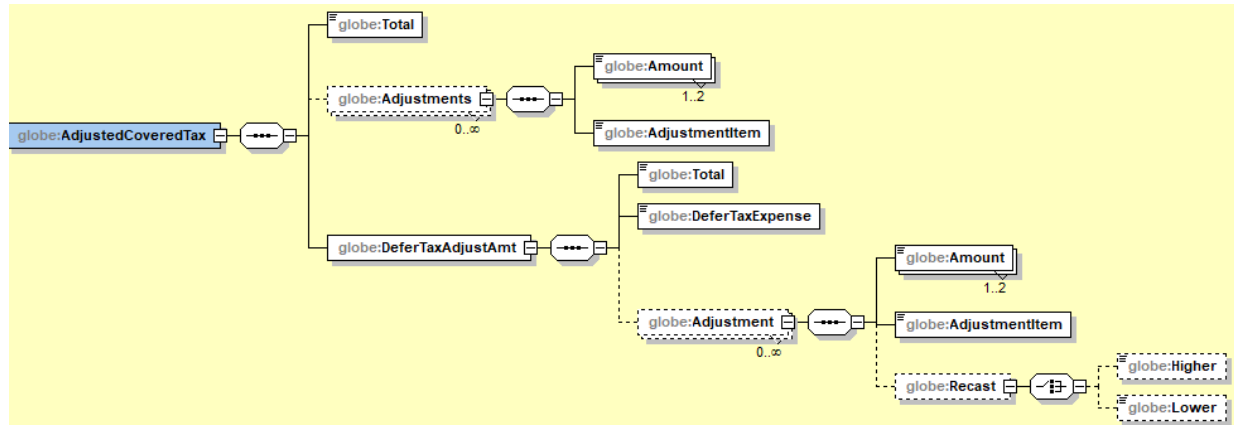
CE Computation > Adjusted Income Tax

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation > CE Computation > Adjusted Income Tax



CE Computation > Adjusted Covered Tax

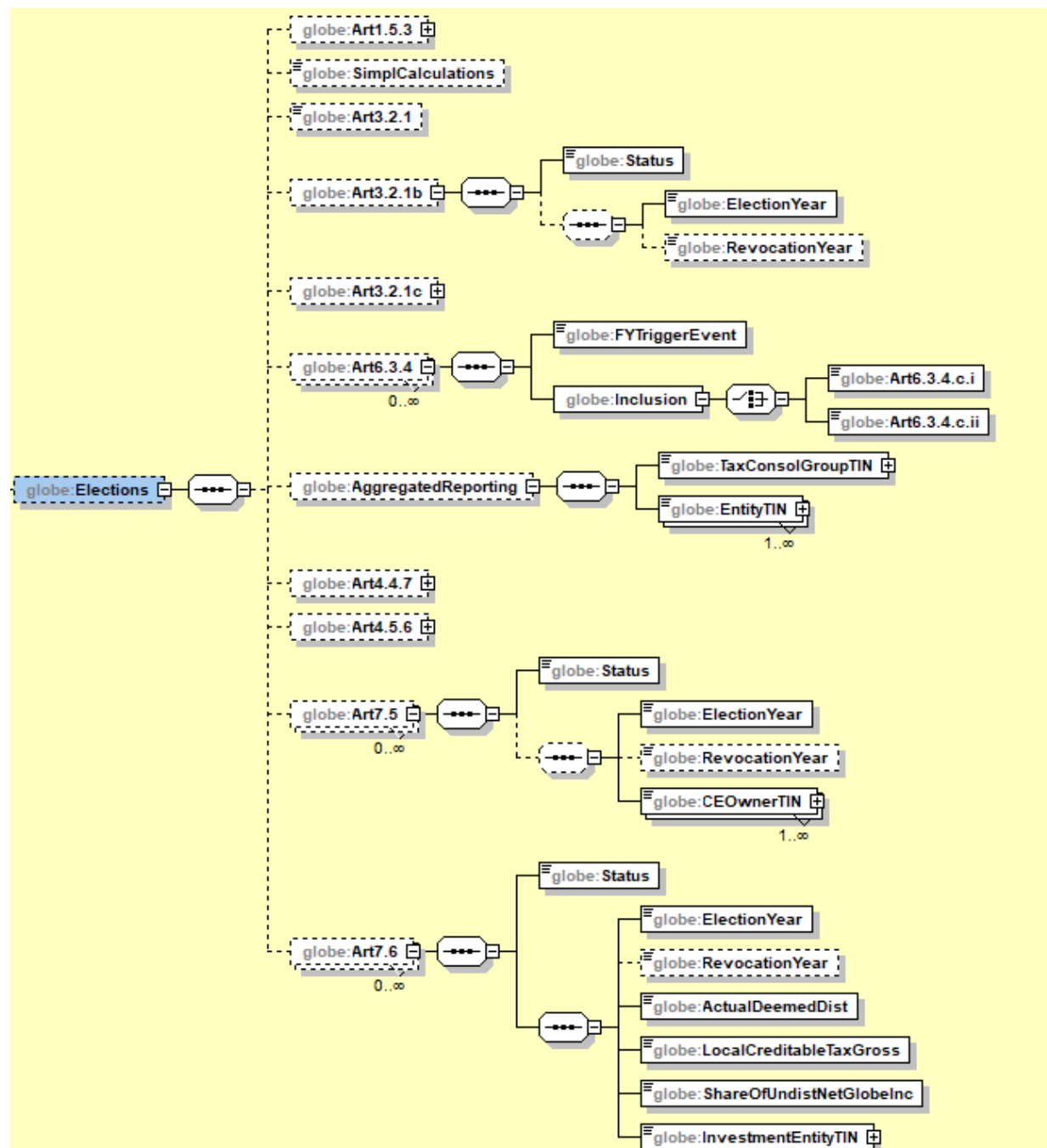
Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation > CE
Computation > Adjusted Covered Tax



CE Computation > Elections

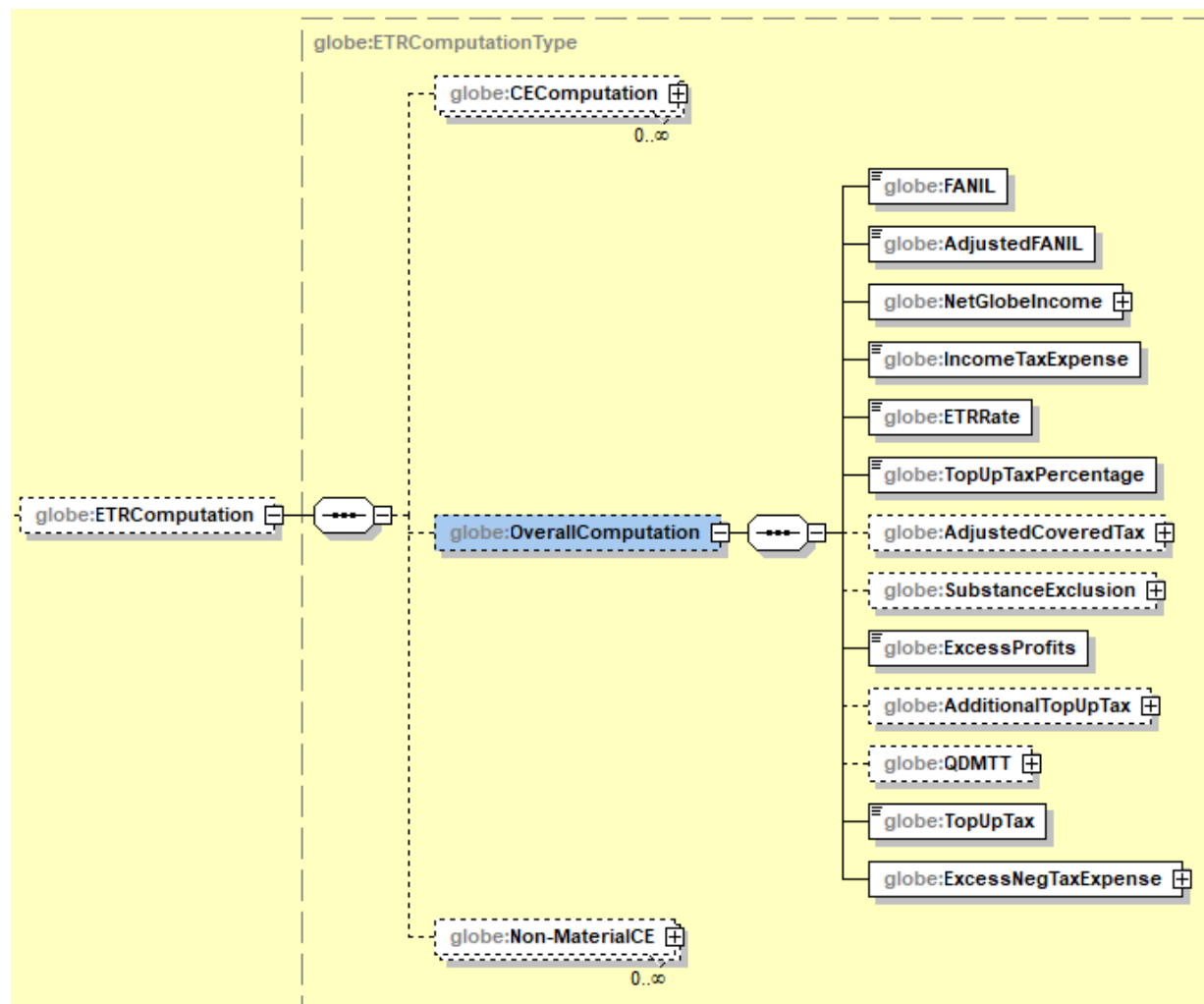
Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation > CE Computation > Elections

注：要素Art1.5.3の下位のサブ要素は、Art3.2.1b、Art3.2.1c、Art4.4.7及びArt4.5.6についても同様。



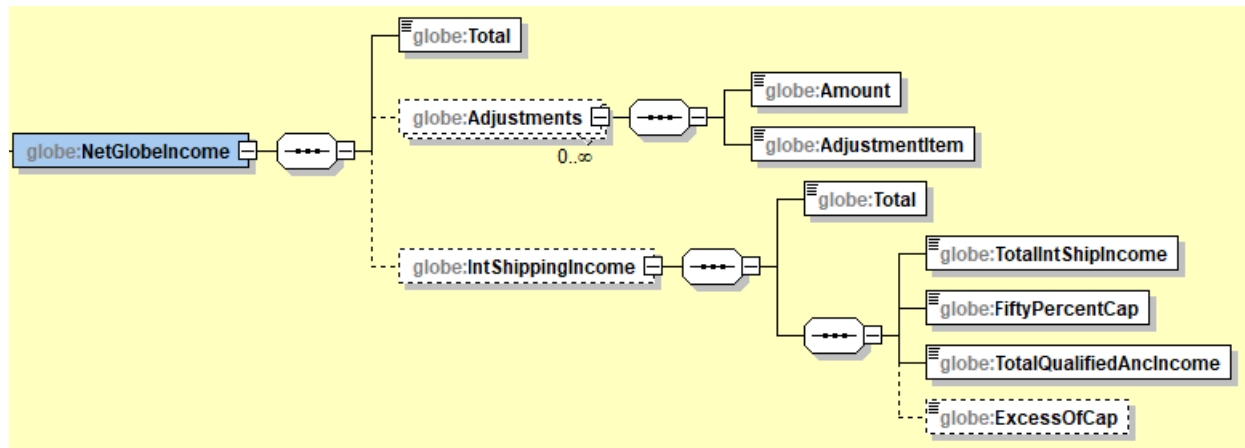
ETR Computation > Overall Computation

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation > Overall Computation



Overall Computation > Net Globe Income

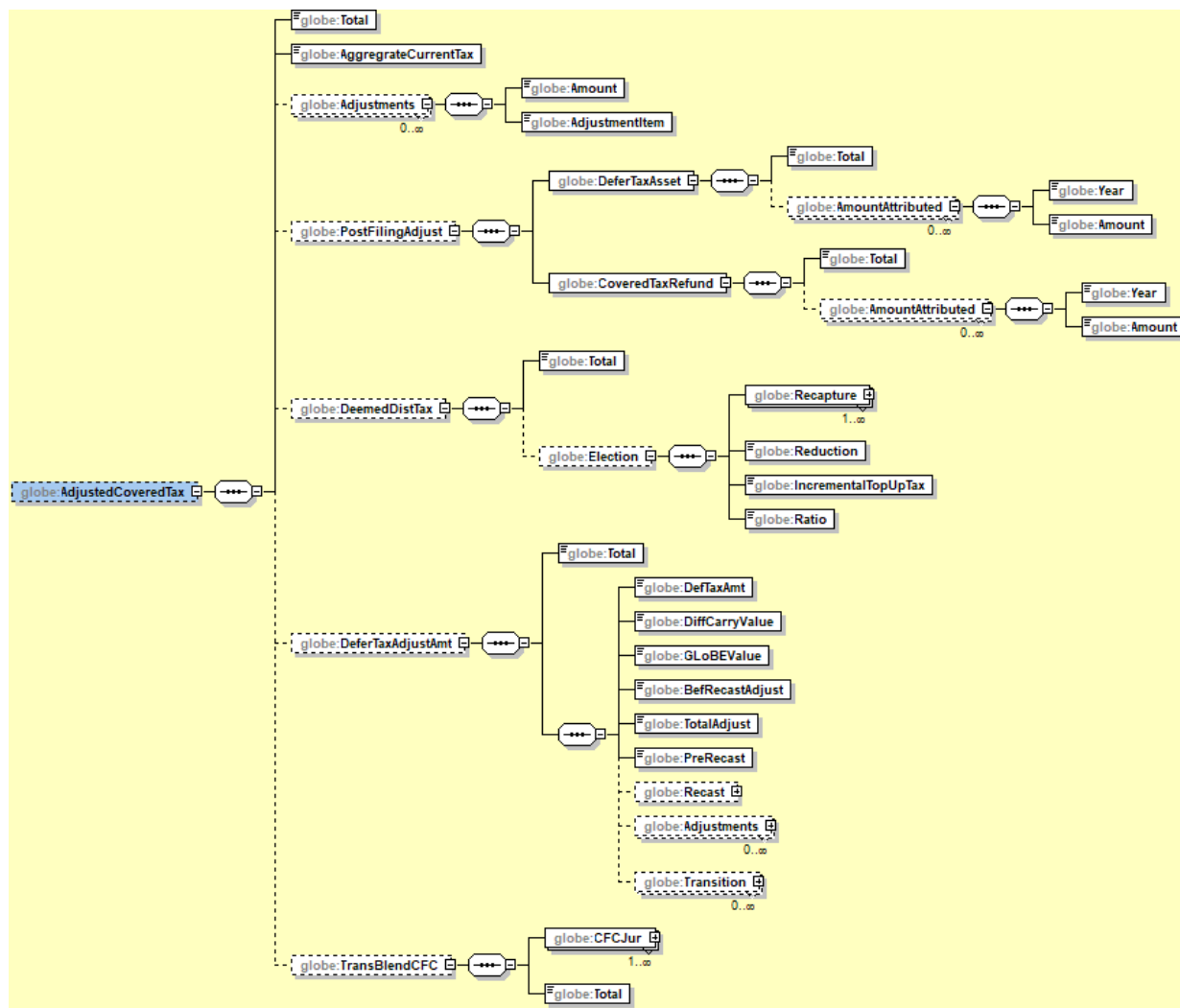
Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation >
Overall Computation > Net Globe Income



Overall Computation > Adjusted Covered Tax

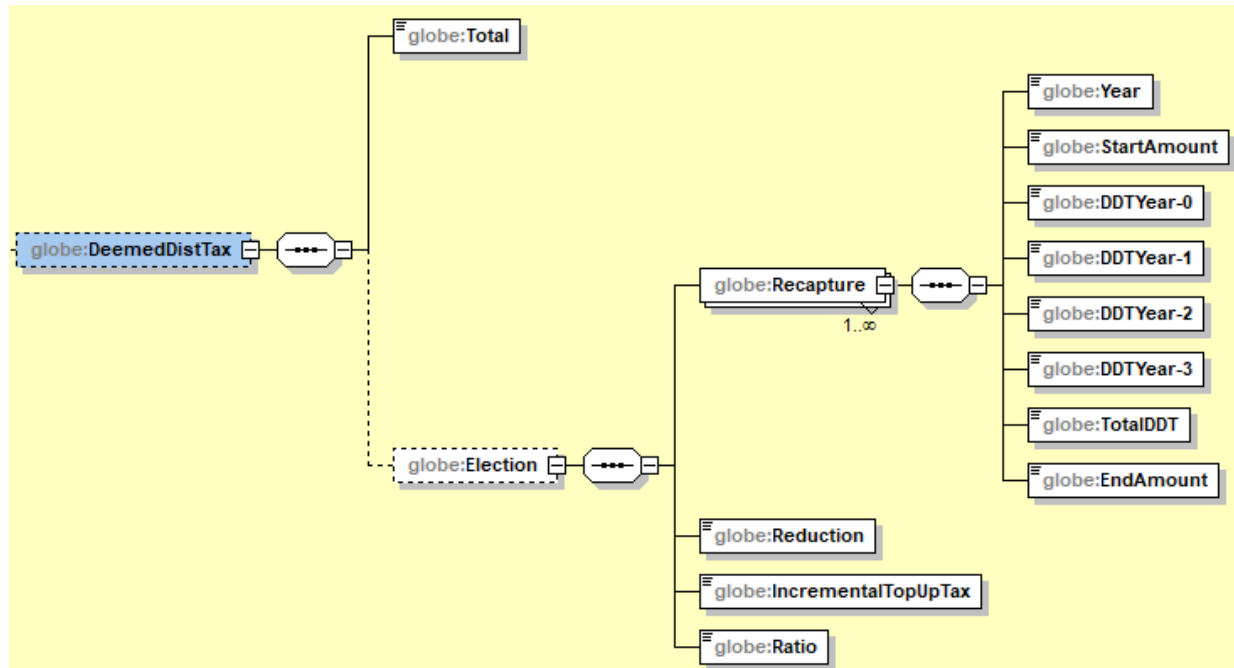
Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation >

Overall Computation > Adjusted Covered Tax



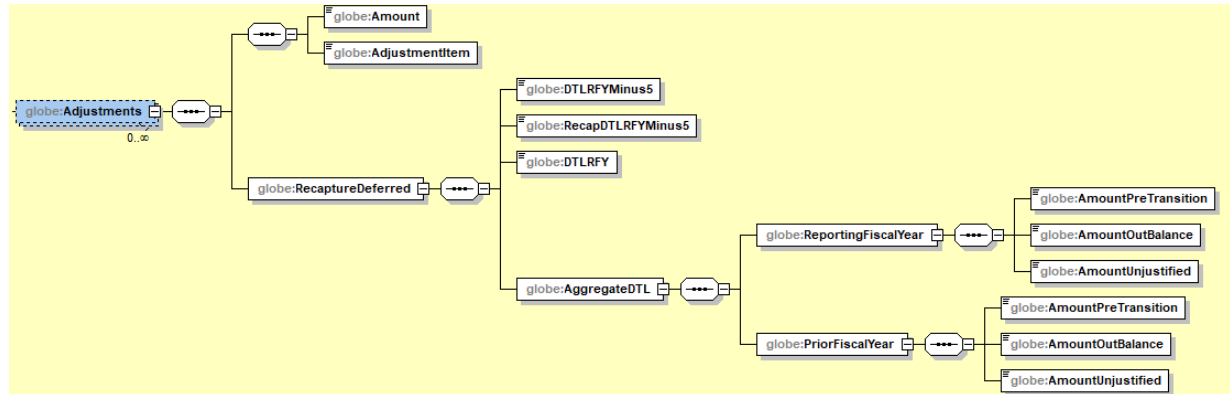
Adjusted Covered Tax > DeemedDistTax

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation > Overall Computation > Adjusted Covered Tax > DeemedDistTax



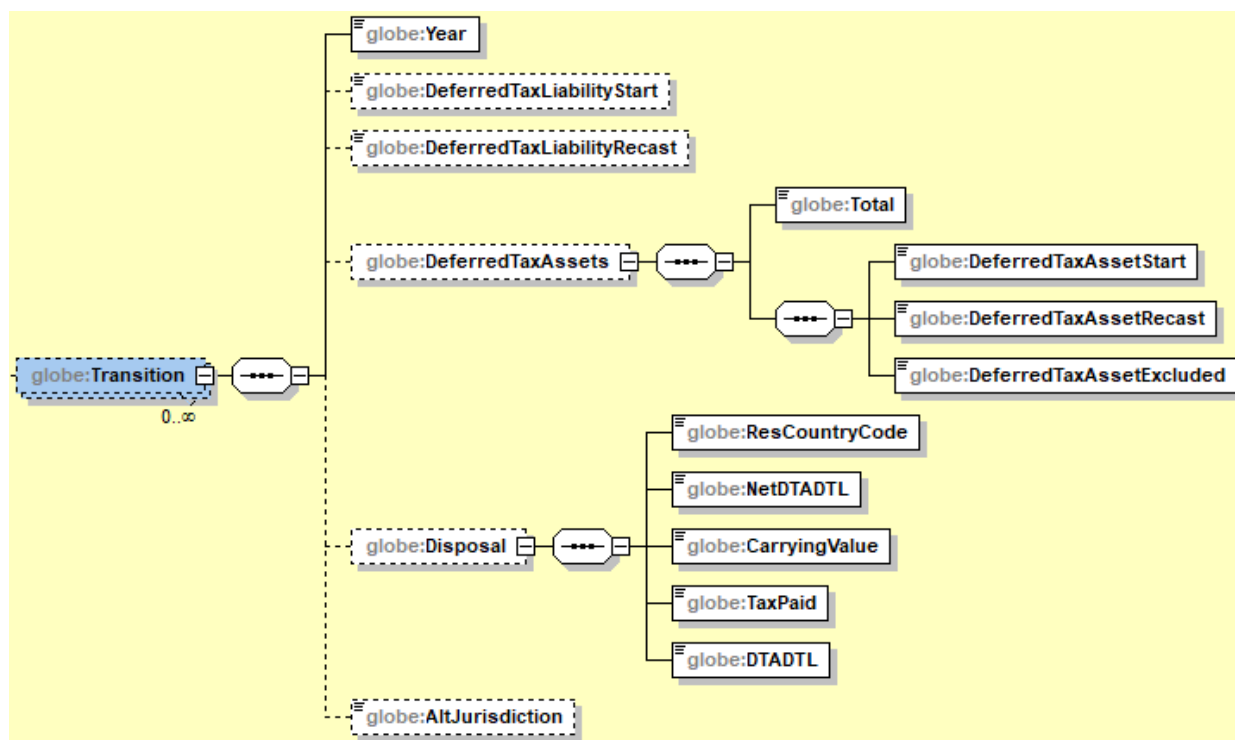
Adjusted Covered Tax > Defer Tax Adjust Amt > Adjustments

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation > Overall Computation > Adjusted Covered Tax > Defer Tax Adjust Amt > Adjustments



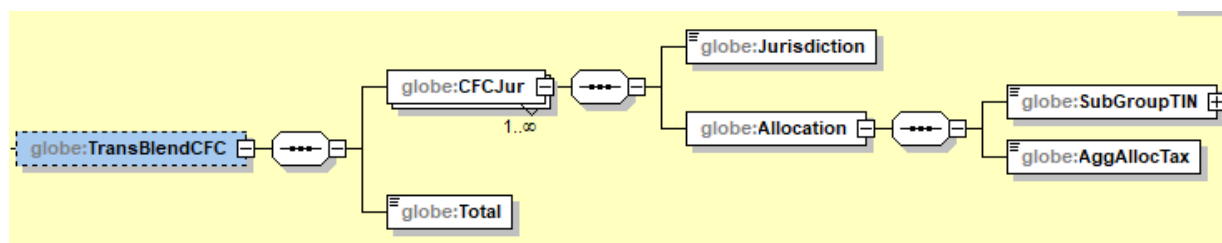
Adjusted Covered Tax > Defer Tax Adjust Amt > Transition

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation > Overall Computation > Adjusted Covered Tax > Defer Tax Adjust Amt > Transition



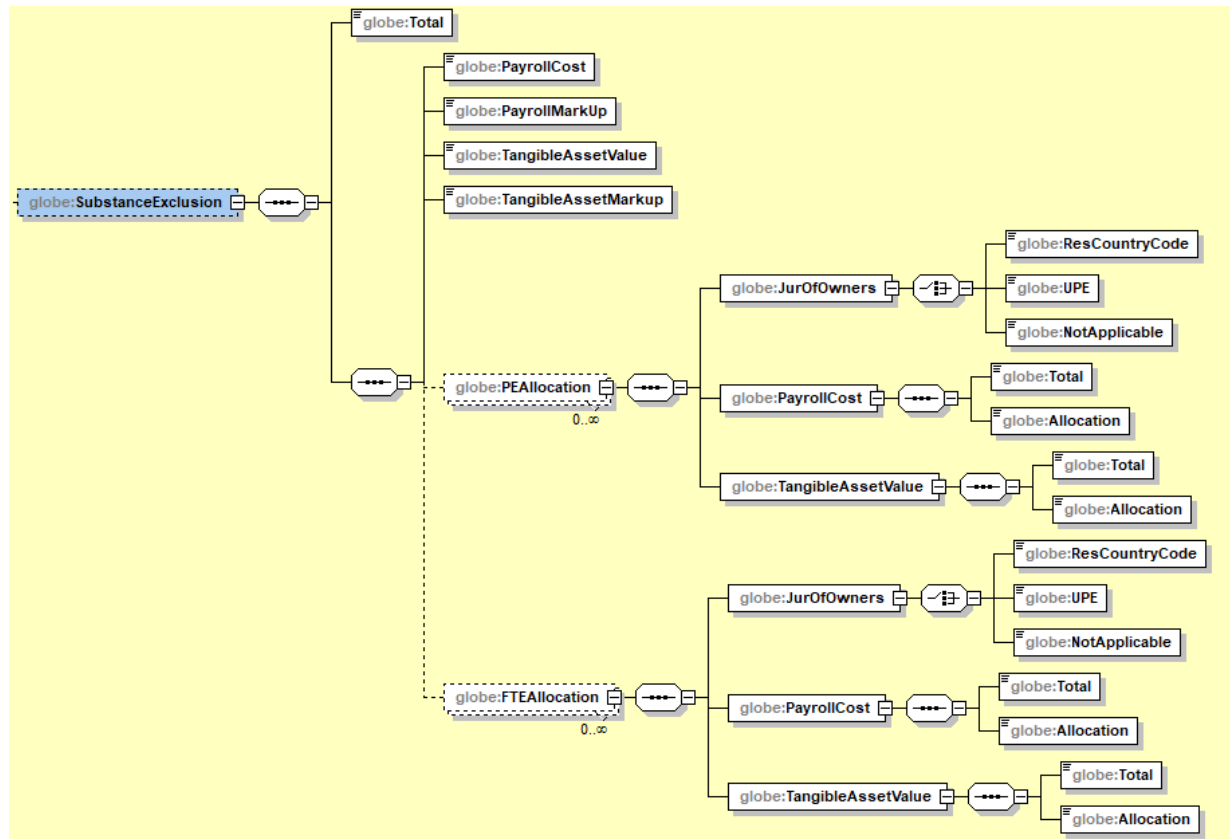
Adjusted Covered Tax > TransBlendCFC

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation > Overall Computation > Adjusted Covered Tax > TransBlendCFC



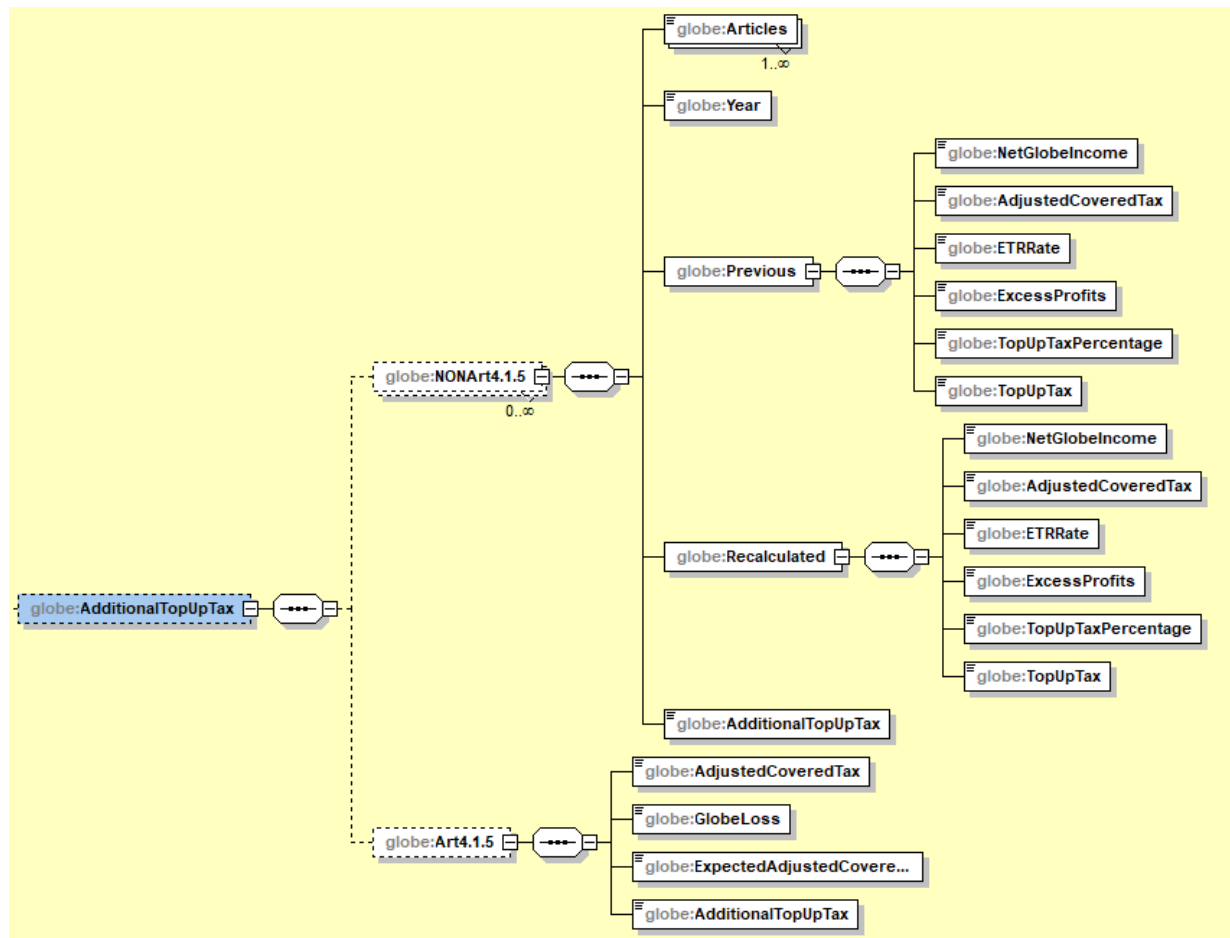
Overall Computation > Substance Exclusion

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation >
Overall Computation > Substance Exclusion



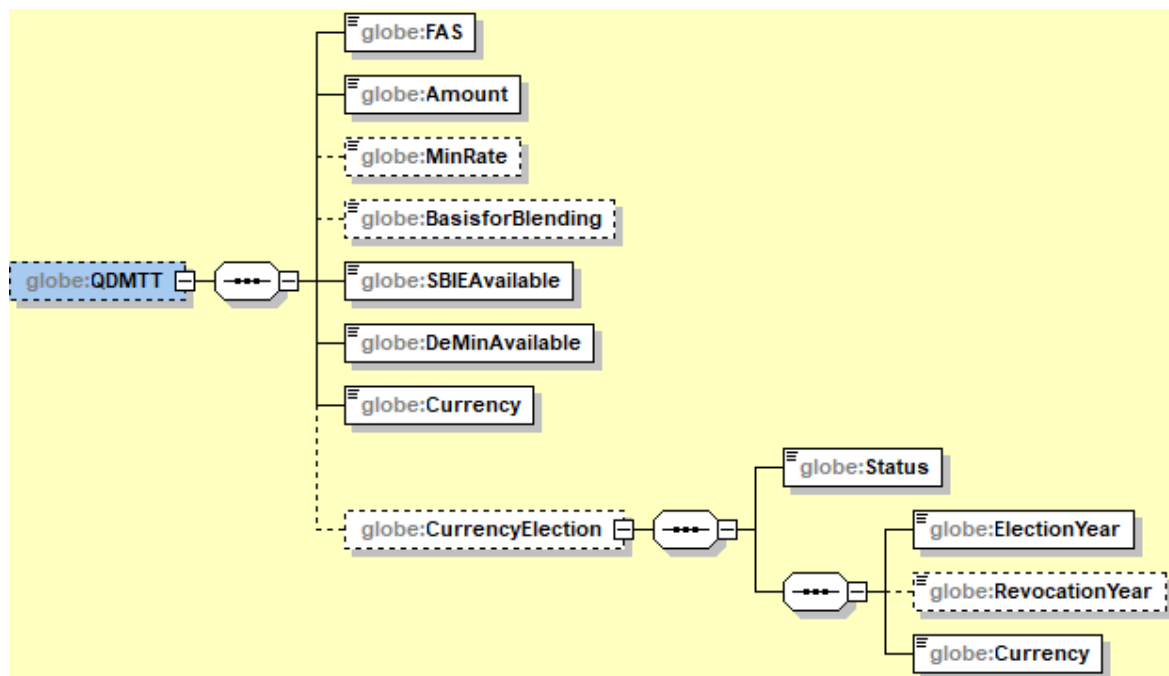
Overall Computation > Additional Top Up Tax

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation >
Overall Computation > Additional Top Up Tax



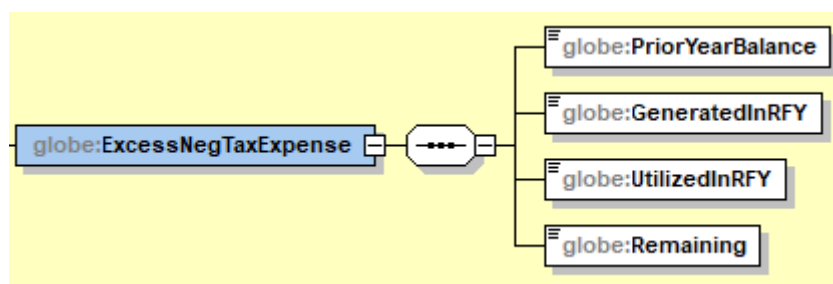
Overall Computation > QDMTT

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation > Overall Computation > QDMTT



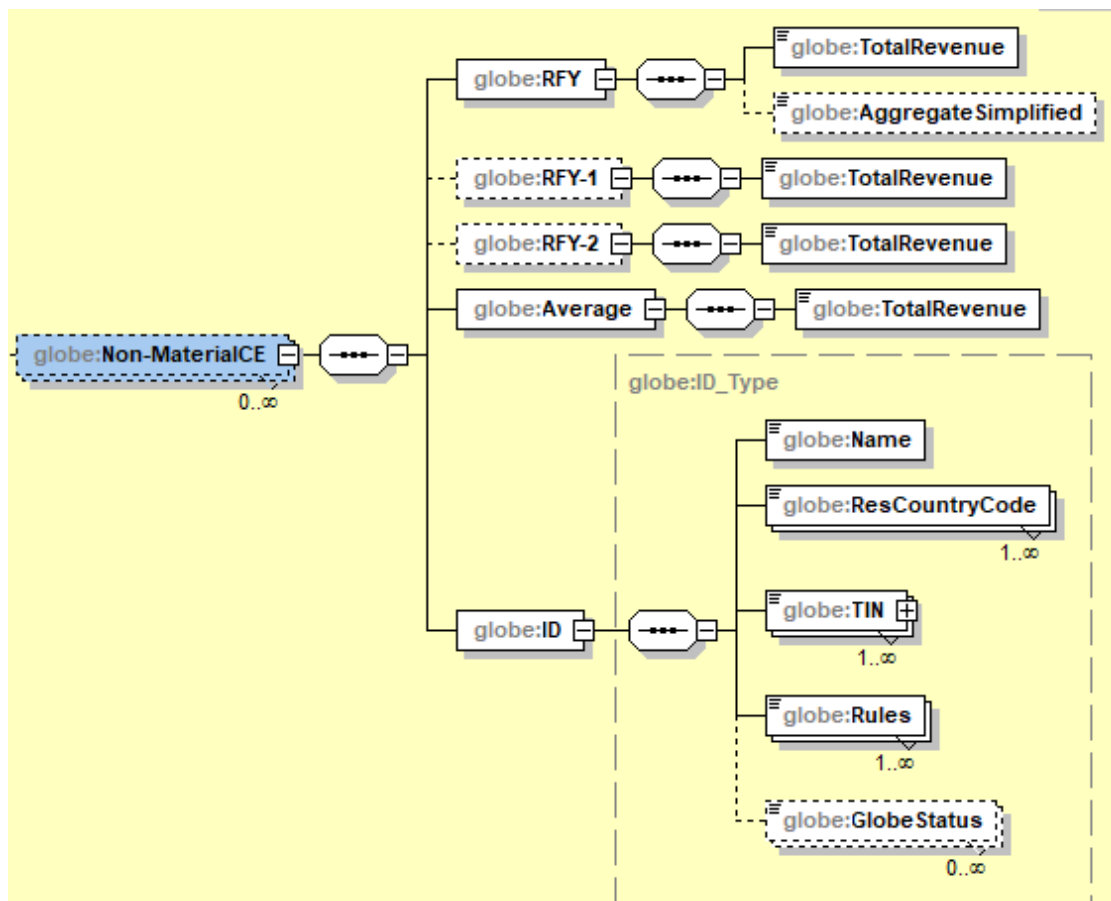
Overall Computation > ExcessNegTaxExpense

Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation > Overall Computation > ExcessNegTaxExpense

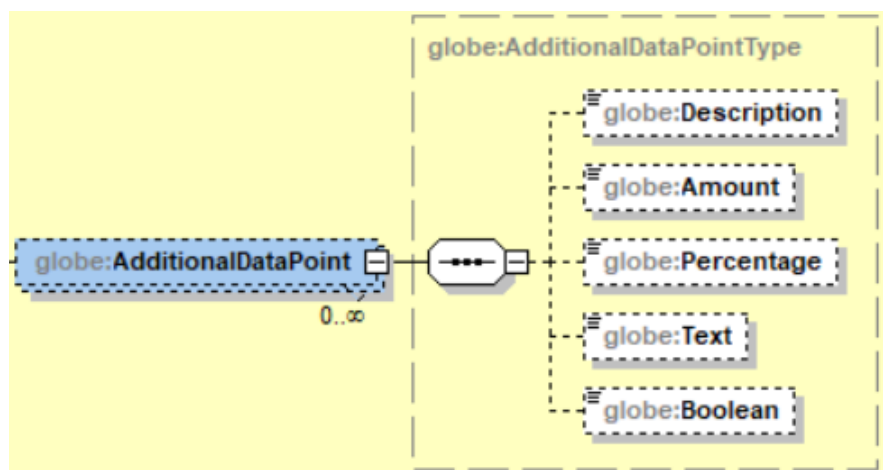


ETR Computation > Non-MaterialCE

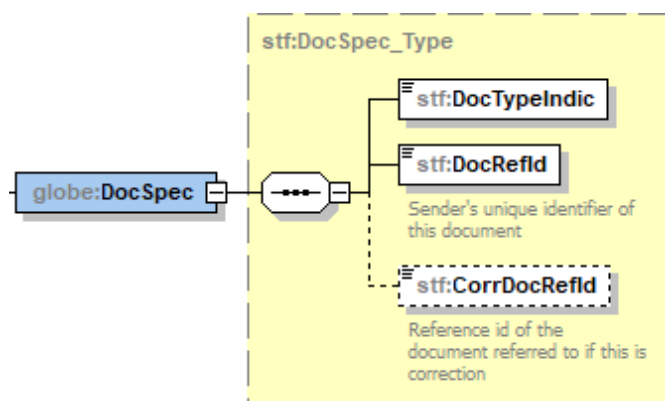
Globe Body > Jurisdiction Section > Globe Tax > ETR > ETR Status > ETR Computation > Non-Material CE



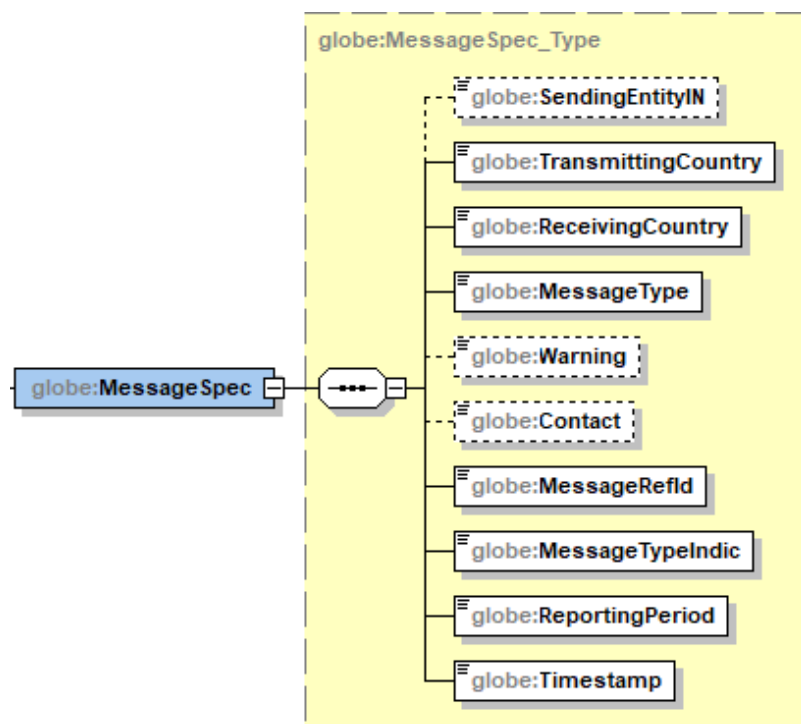
Global Element > Additional Data Point



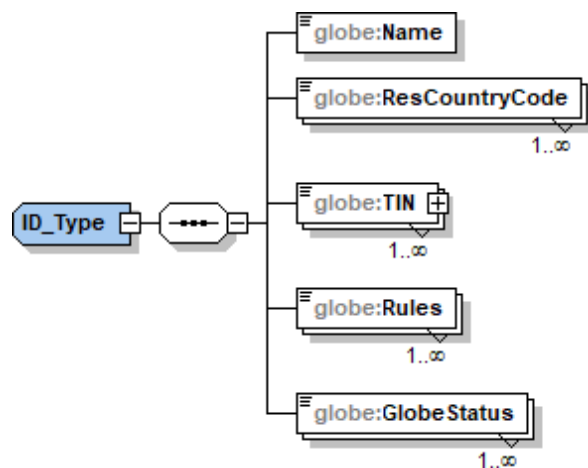
Global Element > DocSpec



Global Element > MessageSpec



Global Element > ID_Type



Global Element > ExcludedUPE_ID_Type

この反復においては、Rules要素はオプションであり、Globe Status要素は検証である。

